



ロクラク II・コントローラ

取扱説明書



- このたびは日本デジタル家電 ロクラク をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- 付属されております本アプリケーションを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになった後はいつも手元においてご使用ください。
- 本書は「ロクラク」の本体の接続及び設定については触れておりません。必ず「ロクラク」本体付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続及び設定を行ってください。



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>

使用許諾契約書

本使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、お客様と(株)日本デジタル家電との間の契約です。下記のソフトウェア製品(以下「本ソフトウェア」といいます)をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約のすべての条件に同意されたこととなります。本契約の条件に同意できない場合は、ご使用にならないでください。

第1条 使用权の許諾

(株)日本デジタル家電は、本契約記載の条件に従い、本ソフトウェアに関し、日本国内における以下の非独占的かつ譲渡不可能な権利をお客様に対して許諾します。

1. 本ソフトウェアを、1 台のハードウェアへインストールする権利。ただし、お客様が本ソフトウェアを他のハードウェアへ移管する場合には、本ソフトウェアを移管前のハードウェアから完全に消去することを条件とします。
2. 本ソフトウェアの保存のみを目的として、1コピーに限り本ソフトウェアのバックアップ・コピーを作成する権利。

第2条 著作権等

1. 本ソフトウェア及びマニュアルに関する著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は(株)日本デジタル家電へ独占的に帰属します。
2. お客様は、(株)日本デジタル家電の書面による事前の承認を得ることなく、本ソフトウェア及びマニュアルを第三者へ賃貸、貸与、販売または譲渡できないものとし、かつ、本ソフトウェア及びマニュアルに担保権を設定することはできないものとします。
3. お客様は、本ソフトウェアにつき、リパース・エンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできないものとします。お客様の改造に起因して本ソフトウェアに何らかの障害が生じた場合、(株)日本デジタル家電は当該損害に関して一切の責任を負わないものとします。

第3条 保証及び責任の限定

1. (株)日本デジタル家電は、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア、マニュアルもしくは第4条に定義されるサポートサービスに関して一切の保証を

行いません。また、(株)日本デジタル家電は、本ソフトウェア及びマニュアルの機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェア又はマニュアルの物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

2. お客様が期待する成果を得るためのソフトウェア・プログラム(本ソフトウェアを含むがこれに限られない)の選択、導入、使用および使用結果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。本ソフトウェア又はマニュアルの使用もしくはサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して(株)日本デジタル家電は一切の責任を負いません。

第4条 契約の解除

1. お客様が本契約に違反した場合、(株)日本デジタル家電は本契約を解除することができます。この場合、お客様は、本ソフトウェア及びマニュアルを一切使用することができません。
2. お客様は、本ソフトウェア、マニュアル及びそのすべての複製物を破棄することにより本契約を終了させることができます。この場合、ライセンス対価は返還いたしません。
3. 本契約が終了するか又は解除された場合、お客様は、本ソフトウェア、マニュアル及びそのすべての複製物を(株)日本デジタル家電へ返却するか又は破棄するものとします。

第5条 一般条項

1. お客様は、(株)日本デジタル家電の書面による事前の承諾を得ることなく、本ソフトウェアを日本国外へ持ち出すことはできないものとします。
2. 本契約は、本ソフトウェアの使用許諾に関し、本契約の締結以前にお客様と(株)日本デジタル家電との間になされたすべての取り決めに優先して適用されます。
3. 本契約は、日本国法に準拠するものいたします。本契約に起因する紛争の解決については、東京地方裁判所が第一審としての専属的管轄権を有するものとします。

必ずお読みください

- 大切な記録の場合には、必ず事前にためし録りをし、正常に記録されていることを確認して下さい。
- 大切な記録映像に対して映像編集を行う場合には、記録映像ファイルのコピーを作成してから映像編集を行うことをお勧めいたします。
- 万一、不具合により記録されなかった場合や、映像編集が失敗した場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権上、権利者に無断では使用できません。

付属品

付属品をお確かめ下さい。

- インストール用 CD-ROM

テクニカルサポート

ユーザー登録

ご登録頂くと、お役に立つ各種情報のご案内などを随時お届けしておりますので、是非ご登録いただきますようお願い致します。

ご登録の際、必要事項の記入漏れなどがあった場合、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

テクニカルサポート・サービス

サービス窓口のご案内

テクニカルサポートサービスは、登録ユーザーのみご利用いただけます。お問い合わせする前に「Q&A (p.105)」等をご覧ください。それでも問題を解決できない場合には、E-mail を利用してのサポートを行っておりますので、下記メールサポート窓口までお問い合わせ頂けますようお願い致します。

また、インターネットホームページ上に、ユーザーサポートページを設けておりますので、下記 URL にてご覧下さい(ユーザーサポートページは随時充実を図ってまいりますので是非ご利用ください)。

メールサポート

下記のメールアドレスまでお問い合わせ頂けますようお願い致します。

E-mail アドレス help@rokuraku.com

FAX サポート

インターネット環境をお持ちで無い方は、下記の必要事項をご記入頂き、当社サービス窓口までお問い合わせください。

電話サポート

インターネット環境をお持ちで無い方は、下記の必要事項をご記入頂き、当社サービス窓

口までお問い合わせ下さい。

FAX 又は電話にてサポート窓口をご利用いただく場合には、下記事項が必要となる場合があります。お問い合わせの前にご確認願います。

- ・記入日
- ・氏名(ユーザ登録名)
- ・電話番号及び FAX 番号
- ・住所
- ・登録番号
- ・製品名及びバージョン
- ・お使いのパソコン環境(メーカー名、製品名及びバージョン、OS のバージョン、CPU 及びメモリ搭載容量等)
- ・表示されたメッセージ
- ・問題が発生した場合の詳しい状況

今後とも、株式会社 日本デジタル家電の製品をご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

テクニカルサポート・サービス窓口

E-mail アドレス help@rokuraku.com

電話番号  0120-498-798
(修理サポート係をご指定ください)

FAX 番号 03-5308-5081

サービス時間 10:00 ~ 17:00
(土曜・日曜・祝祭日を除く)

URL <http://www.rokuraku.com>

目次

はじめに	6
ロクラク ・コントローラについて	6
本書の構成について	6
本書の表記について	7
動作環境	7
機能紹介	8
接続・インストールガイド	12
「ロクラク」と PC との接続について	12
ロクラク ・コントローラのインストール	13
ロクラク ・コントローラのアンインストール	17
基本操作	19
起動方法、終了方法	19
メイン画面の説明	21
「ロクラク 」との接続・切断方法	23
メニューの使い方	26
ツールバーメニューの使い方	30
ダイアログバーの使い方	32
ロクラク ・コントローラ 操作方法	33
一覧表示方法 [サムネイルタイプ]と[リストタイプ]	33
ディレクトリを設定する	35
「ロクラク 」のファイルを PC に保存する	37
PC に保存した映像ファイルを「ロクラク 」へ送る	40
「ロクラク 」から複数ファイルを PC に一括受信する	44
PC に保存した複数のファイルを一括して「ロクラク 」へ送る	50
「ロクラク 」から受信したファイルを PC で再生する	55
「ロクラク 」から受信中断したファイルを修復する	57

ロクラク リモートコントローラで「ロクラク」ファイルを再生する	60
1. ロクラク リモートコントローラの表示の仕方	60
2. ロクラク リモートコントローラの各ボタンの機能	61
3. 「ロクラク」のファイルを再生する	62
4. 「ロクラク」のファイルをトリック再生する	62
5. リモート操作する「ロクラク」のファイルを変更する	63
6. 「ロクラク」に録画をする	64
「ロクラク」のファイル名を変更する	67
「ロクラク」のファイルの保護設定を変更する	68
「ロクラク」のファイルを削除する	69
「ロクラク」のファイルをコピーする	70
「ロクラク」の2つのファイルを結合する	72
「ロクラク」のファイルを編集する	74
1. ファイル編集ダイアログの表示の仕方	74
2. ファイル編集ダイアログの各ボタンの意味	75
3. マーカーの選択方法	77
4. マーカーの設定方法	78
5. マーカーの削除方法	81
6. ファイルの切詰	82
7. ファイルの分割	83
8. ファイルの指定範囲削除(カット)	84
9. ファイルの指定範囲移動	85
10. マーカー位置全分割	87
複数の「ロクラク」のファイルを1つのファイルに結合する	89
「ロクラク」の録画予約を確認、設定する	94
1. 録画予約一覧ダイアログを表示する	94
2. 録画予約を追加する	95
3. 録画予約を削除する	101
4. 録画予約を変更する	102
「ロクラク」の入力映像をパススルーする	103

付録 105

Q & A	105
用語解説	109

はじめに

ロクラク ・コントローラについて

このたびは、ロクラク ・コントローラをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

ロクラク ・コントローラは、Windows 環境で、「ロクラク 」との記録映像(ファイル)転送と「ロクラク 」をリモート制御するためのソフトウェアです。

「ロクラク 」本体の接続方法及び設定方法については、お買い上げ頂いた「ロクラク 」本体に付属している取扱説明書をご覧になり、正しく接続及び設定を行ってください。

本書の構成について

本書は 6 つの節で構成しています。

- ・はじめに

本節です。

- ・機能紹介

ロクラク ・コントローラで行うことができる機能を紹介します。

- ・接続・インストールガイド

「ロクラク 」と PC との接続方法についてと、ロクラク ・コントローラのインストール方法、インストールする上での注意事項、アンインストール方法について記載しています。必ずお読みください。

- ・基本操作

ロクラク ・コントローラをお使いいただく上で、起動や終了、「ロクラク 」との接続や切断、ウィンドウの移動方法、メニューの操作方法を説明しています。

- ・ロクラク ・コントローラ操作方法

ロクラク ・コントローラの各機能の操作方法について説明しています。

- ・付録

ロクラク ・コントローラでの解らないことや、ロクラク ・コントローラでよく使われる用語の解説などを記載しています。

本書の表記について

- ・特にことわり書きのない場合、Windows 98SE、 Windows ME、 Windows 2000、 Windows XP を Windows と表記しています。
- ・特にことわり書きのない場合、Windows 搭載 DOS/V コンピュータを PC と表記します。
- ・特にことわり書きのない場合、PC / Windows 環境上において、「ロクラク 」との記録映像ファイル転送や「ロクラク 」のリモート制御機能を提供する本ソフトウェアを、ロクラク ・コントローラと表記します。

動作環境

パソコン	DOS/V
対応 OS	Windows 98SE 日本語版 Windows Me 日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版
CPU	MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアに依存
メインメモリ	MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアに依存
必要なソフト	MPEG2 ビデオ再生ソフトウェア (市販の MPEG2 ビデオ再生ソフトウェア)

- 表記している対応機種以外での動作保証は致しかねます。
- Windows は、Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- その他一般に会社名、及び商品名は各社の商標または登録商標です。
- 仕様は予告なく変更されることがあります。

機能紹介

ロクラク・コントローラは、「ロクラク」の記録映像ファイルを PC に転送したり、PC から記録映像ファイルを「ロクラク」に転送したりする機能に加え、「ロクラク」を PC からリモート制御することができるソフトウェアです。さらに、ロクラク・コントローラでは行うことができなかった「録画予約」機能や「映像編集」機能、「複数一括転送」機能を搭載しています。

ここでは、ロクラク・コントローラが行うことができる主な機能を紹介します。詳しい操作方法につきましては、「基本操作」「ロクラク・コントローラ操作方法」をご覧ください。

●「ロクラク」と PC との間でファイルの転送を手助けします。

「ロクラク」で録画した映像ファイル。「ロクラク」の中だけでは終わらせない、PC とのデータのやりとりが可能な機能を用意しました。記録映像の PC へのバックアップから、PC 上で再生できるデータ形式への変換まで行うことができます。また、PC で保存しているロクラク用映像ファイルを再び「ロクラク」へ転送することも可能です。

「ロクラク」と PC 間のデータ転送も USB2.0 に対応し、高速転送が可能。PC とデータがやりとりできることで様々な可能性が広がります。

主な機能は以下の通りです。

・「ロクラク」録画済み映像記録ファイルを PC に転送する機能(p.37)

「ロクラク」の録画済み記録映像ファイルを、本ソフトウェアをお使いの PC に転送して、指定したフォルダに保存することができます(PC に転送した記録映像ファイルは、「ロクラク」の記録映像のバックアップとしてご利用いただいたり、PC 上で再生してご覧頂いたりすることができます)。

・PC に保存した「ロクラク」映像記録ファイルを「ロクラク」に転送する機能(p.40)

上記 PC に保存しておいた「ロクラク」記録映像ファイルを「ロクラク」に転送して、「ロクラク」上で再生してご覧いただけます。

・「ロクラク」録画済み記録映像ファイルをストリーム変換する機能¹ (p.55)

PC に転送した「ロクラク」の録画済み記録映像ファイルを、MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアにて再生可能な形式に、ストリーム変換します。

また、「ロクラク」から PC に転送中に、同時にストリーム変換を行い、転送が終了した後にお客様がお手持ちのビデオ再生ソフトウェアで再生を行うこともできます(p.35)。

¹ ストリーム変換後の映像ファイルは、MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアによっては、画像が乱れる場合があります。また、「ロクラク」録画済み記録映像ファイル(録画設定のパラメータ)によっては、MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアが未対応のために、再生できない場合があります。「ロクラク」にて編集したファイルを再生する場合、画像が乱れる場合があります。

・複数の「ロクラク」録画済み映像記録ファイルを順次に PC に転送する機能(p.44)

PC に転送したい複数の「ロクラク」録画済み映像記録ファイルを順番に連続して PC に転送して、指定した PC のフォルダに保存することができます。

・PC に保存した複数の「ロクラク」映像記録ファイルを順次に「ロクラク」に転送する機能(p.50)

PC に転送して保存しておいた複数の「ロクラク」記録映像ファイルを順番に連続して「ロクラク」に転送する機能です。転送が終了すると、「ロクラク」上で再生してご覧いただけます。

・「ロクラク」録画済み映像記録ファイルを PC に転送中に、転送中断したファイルを修復する機能(p.57)

「ロクラク」の録画済み映像記録ファイルが、PC に転送中に転送を中断した時や、なんらかの理由でファイル後半部が失われてしまった時(このようなファイルを破損ファイルと呼びます)に、「ロクラク」上で再生が可能なようにファイルを修復する機能です。PC に保存されている「ロクラク」用ファイルの中で破損ファイルがないかどうかを検査し、修復することもできます。

この機能によって修復を行ったファイルは、「ロクラク」に転送をすることができます。また、「ロクラク」上で再生してご覧いただけます。²

² 修復したファイルは、修復前にファイルに存在したデータを「ロクラク」で再生できるように修復するものです。中断されたことによって受信できなかったデータなど、修復するファイルに無いデータは修復されません。また、ファイルの修復は、中断などによってデータが掛けて再生不可能なファイルの最後の部分(0.5 秒以内)を削除することがあります。このため、修復後のファイルサイズが小さくなる事がありますが、問題はありません。

●「ロクラク」を PC からリモート操作することができます。

リモコン操作より簡単に「ロクラク」を制御できる、様々な機能を用意致しました。

再生、巻戻し、早送りなどの基本的な再生機能はもちろん、再生中に再生位置を好きな場所に変更させることもできます。

また、「ロクラク」に保存された記録映像ファイルに対して設定変更や映像の編集を行ったり、録画予約を設定したりすることができます。

主な機能は以下の通りです。

・「ロクラク」再生機能³ (p.62)

「ロクラク」の録画済み記録映像ファイルをリモート制御により再生します。

・「ロクラク」トリック再生機能³ (p.62)

「ロクラク」をリモート制御にて再生操作した後で、再生映像の早送り、巻戻し、スロー、スチル、一時停止の 5 種類のトリック再生を行えます。さらに、表示中のスライドバーを操作することにより、任意の場所へ再生位置を変更することができます。

・「ロクラク」録画機能(p.64)

「ロクラク」に接続された外部入力映像を、リモート制御により録画する機能です。「ロクラク」外部入力端子に映像機器(ビデオカメラなど、VHS ビデオ / DVD / レーザーディスクの場合、録画防止機能(コピーガード)が掛かっている映像は録画できません)からの映像・音声出力を接続してください。ロクラク・コントローラから「ロクラク」に接続されたアンテナ入力からのテレビ(地上波)放送番組映像を選択するように設定することはできません。

・「ロクラク」記録映像ファイル編集機能³ (p.67)

「ロクラク」の録画済み記録映像ファイルの設定変更や映像の編集を行うことができます。行うことができるのは、ファイル名変更(p.67)、ファイル保護設定(p.68)、ファイル削除(p.69)、ファイルコピー(p.70)、ファイル結合(p.72)、ファイル編集(分割、切詰、カット、移動)(p.74)、複数ファイルの結合(p.89)です。

・「ロクラク」録画予約設定機能(p.94)

「ロクラク」に設定された予約の一覧を表示して、予約を追加したり、既に設定された予約を変更したり、予約を削除することができます。

³ 「ロクラク」再生機能、トリック再生機能により映像をご覧になる場合や、記録映像ファイル編集機能をご使用になる場合は、「ロクラク」のビデオ・オーディオ出力端子をテレビに接続して下さい。

- **カスタマイズ可能なウィンドウで自分の好みに合わせた使い方ができます。**

本アプリケーションは、ウィンドウ、ツールバーメニュー、ダイアログバーによるデータ表示を実現しています。操作方法も Windows 標準ですので、違和感無くお使いいただけます。お好みの位置・大きさやメニューの表示方法で「ロクラク」を楽々コントロール。

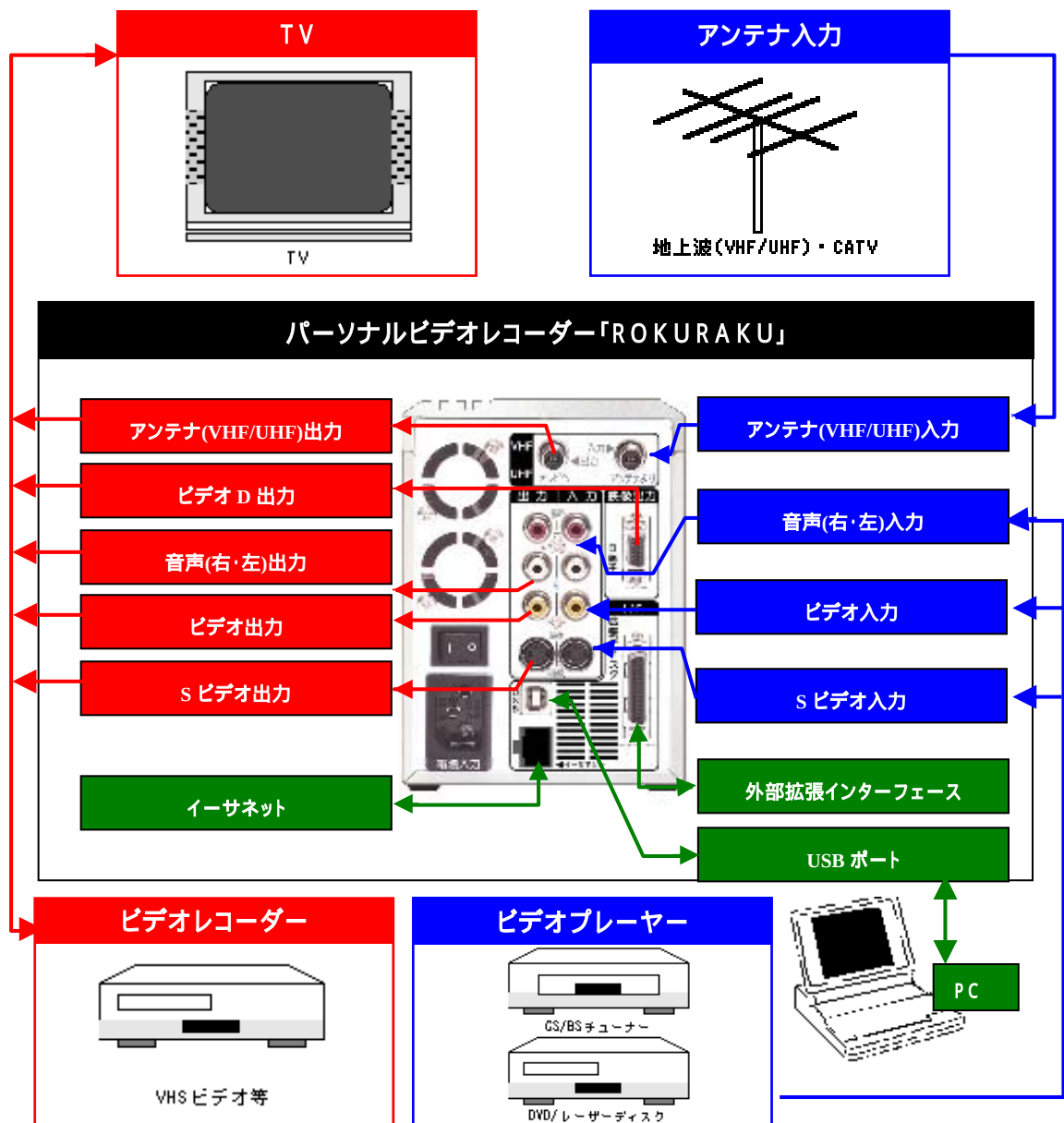
詳しいカスタマイズ方法は、「基本操作」(p.19)を参照してください。

接続・インストールガイド

「ロクラク」とPCとの接続について

ロクラク・コントローラで「ロクラク」を操作するためには、ロクラク・コントローラと「ロクラク」をUSBケーブルにて接続する必要があります。ロクラク・コントローラをインストールしたPCと「ロクラク」とを以下のように接続してください。

詳細につきましては、『「ロクラク」取扱説明書』をご確認の上、接続を行ってください。



警告 電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると火災・感電の原因となります。

注意 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お願い 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。

接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ロクラク II コントローラのインストール

本ソフトウェアのインストール手順を説明します。以下に記載された手順でロクラク II コントローラをインストールしてください。

ロクラク II コントローラのインストールに関してのご注意

安全のため、他の実行中プログラムをすべて終了してから、インストール作業を行ってください。

1. Windows を起動します。
2. 「ロクラク II」本体付属の CD-ROM を CD ドライブに挿入します。
3. CD-ROM の中にある、ロクラク II コントローラ用セットアッププログラム[setup.exe]をクリック(お使用の環境によってはダブルクリック)してください。
4. インストール準備画面が表示されます。

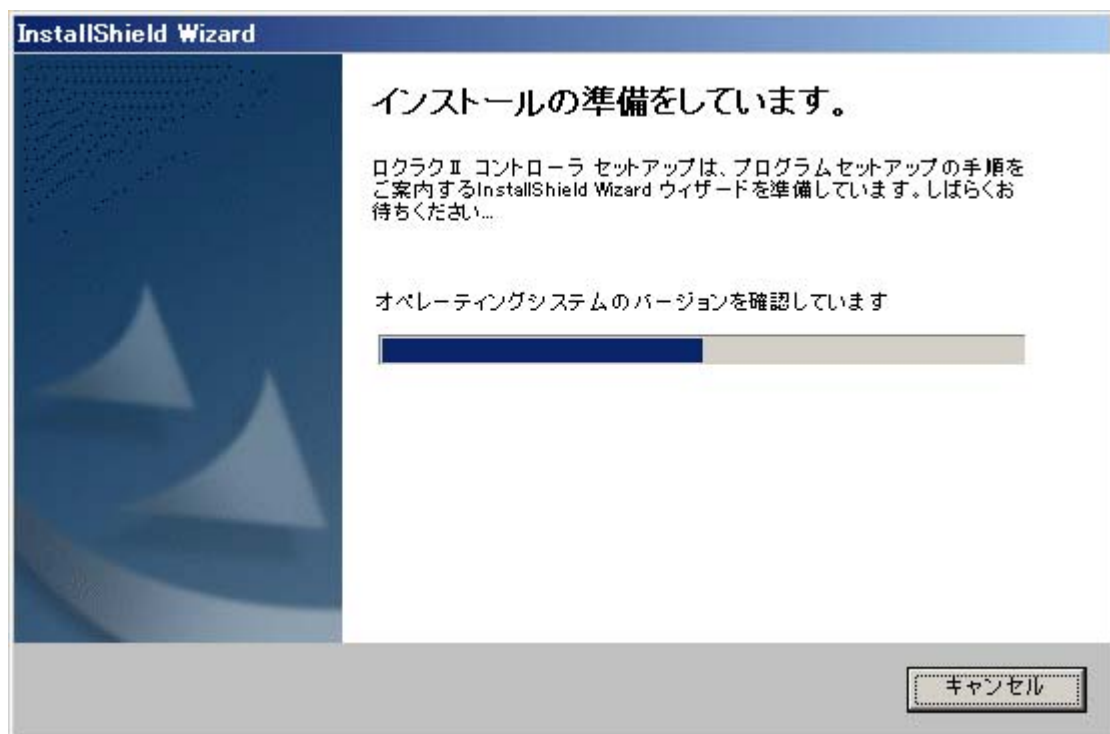


図 1 インストール準備

5. 「ロクラク コントローラ用 InstallShield ウィザードへようこそ」という画面が表示されます。【次へ】ボタンを押してください。

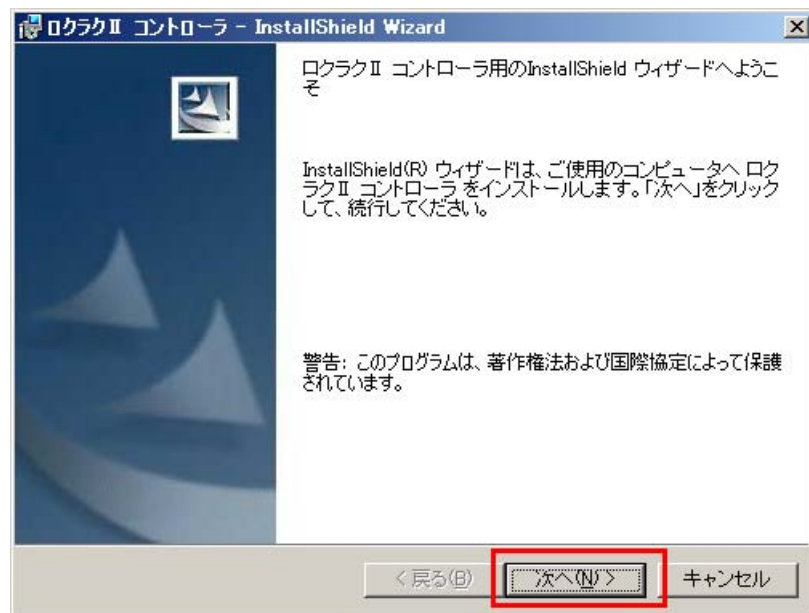


図 2 ロクラク コントローラ インストール

6. ロクラク コントローラをお使いいただくための使用許諾契約書が表示されます。よくお読みになった上で、同意される場合は、「使用許諾契約書の条項に同意します」をクリックして【次へ】ボタンを押してください(同意できない場合は、本アプリケーションはご使用いただけません。【キャンセル】ボタンを押して、インストールを終了してください)。

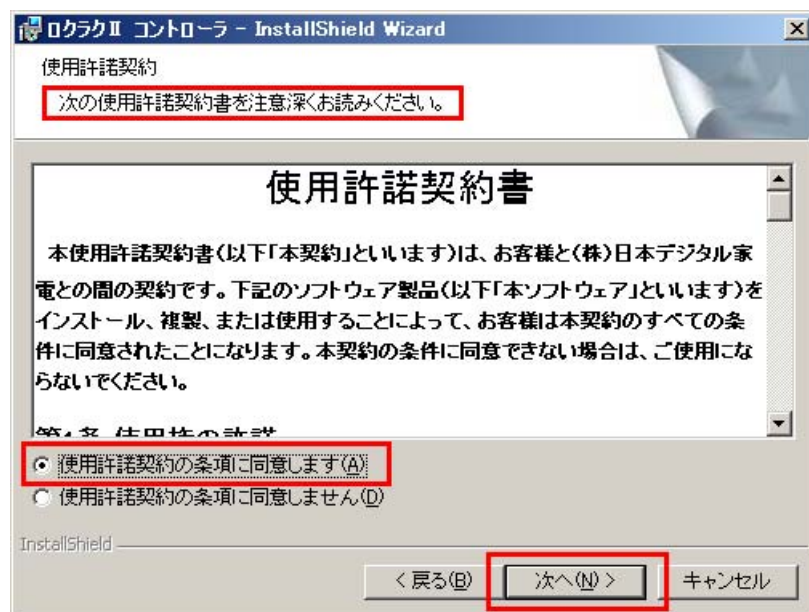


図 3 使用許諾契約書

7. ユーザ情報を入力する画面が表示されます。「ユーザ名」および「所属」を入力して、【次へ】ボタンを押してください。⁴

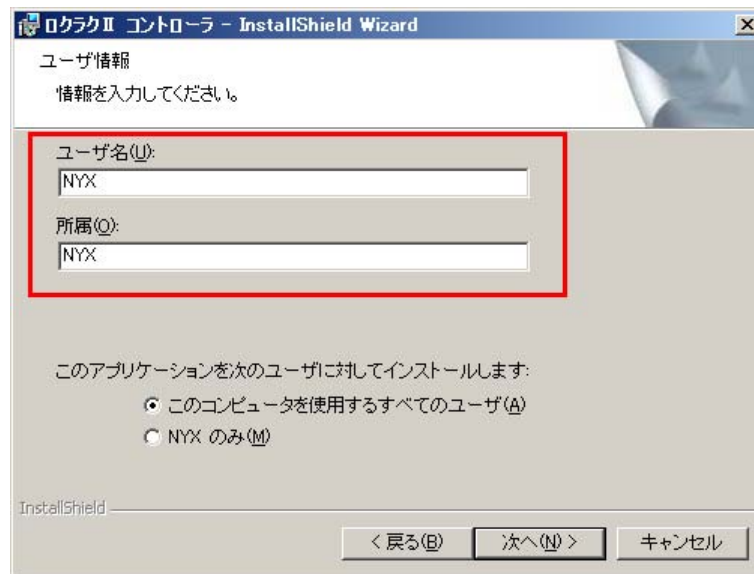


図 4 ユーザ情報入力

8. ロクラクII コントローラのインストール先フォルダが表示されます。表示されているフォルダでよろしければ、【次へ】ボタンを押してください(変更する場合には、【変更】ボタンを押して、インストール先のフォルダを指定してください)。

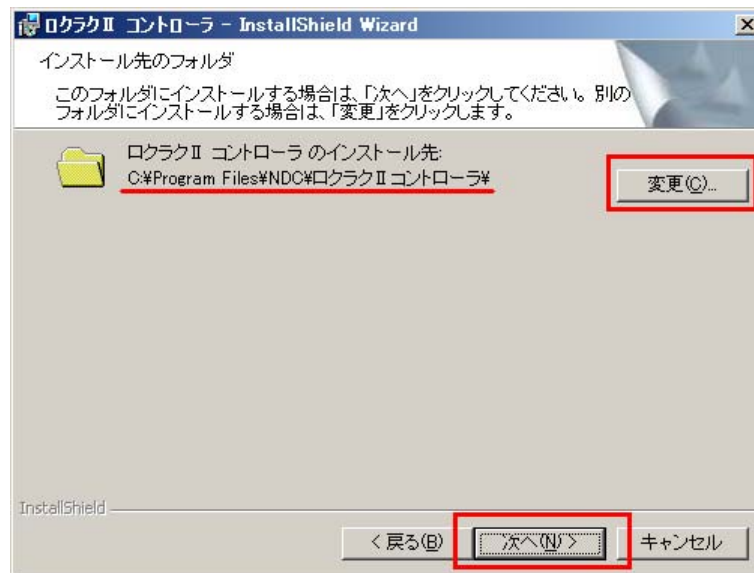


図 5 インストール先フォルダ確認・変更

⁴ Windows のバージョンによっては、「このアプリケーションを次のユーザに対してインストールします」と表示される部分があります。本アプリケーションをインストールする PC を複数のユーザが使用されている場合、本アプリケーションを全ユーザが使用できるようにするか、インストール時にログインしているユーザのみが使用できるようにするかを選択することができます。

9. インストールの準備が整いましたので、確認画面が表示されます。もう一度、インストール内容をご確認の上、【インストール】ボタンを押してください。

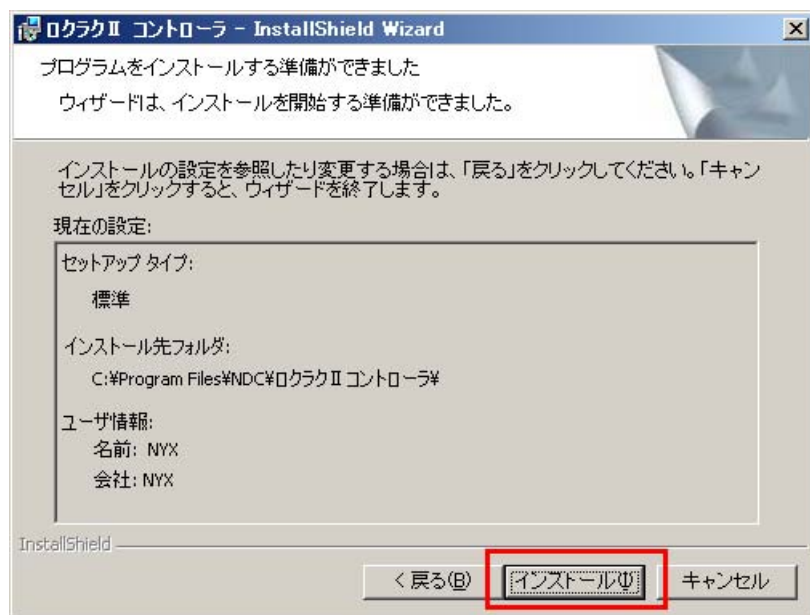


図 6 インストール 最終確認

10. PC にロクラク ・コントローラがインストールされます。インストールが完了すると、完了画面が表示されますので、【完了】ボタンを押してください。

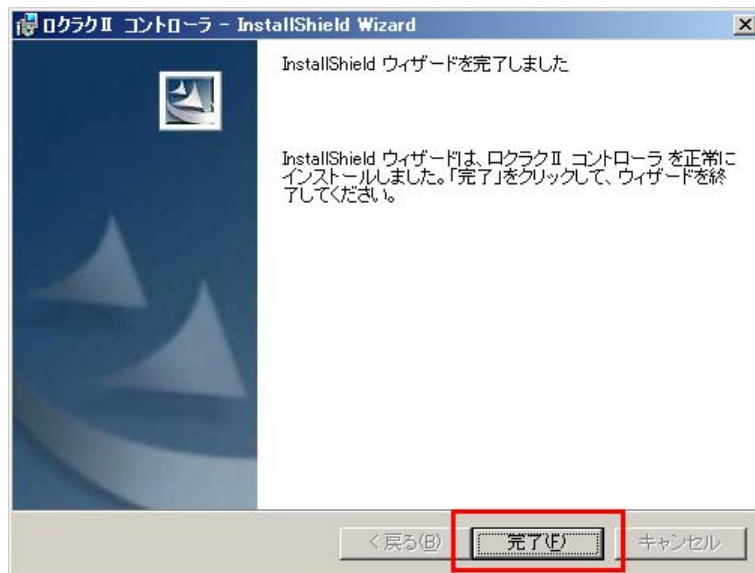


図 7 インストール完了

以上で、インストール作業は終了です。ロクラク ・コントローラの起動の仕方は、「起動するには」(p19)をお読みください。

ロクラク ・コントローラのアンインストール

バージョンの入れ換えなどで、ロクラク ・コントローラをシステムから削除(アンインストール)する場合には、以下の手順で行います(記載している画面画像は Windows2000 の画面画像です。また、お使いの PC の環境により、記載しています画面画像と異なる場合があります)。

1. スタートメニューから「設定」をクリックし、さらに「コントロールパネル」をクリックして下さい。

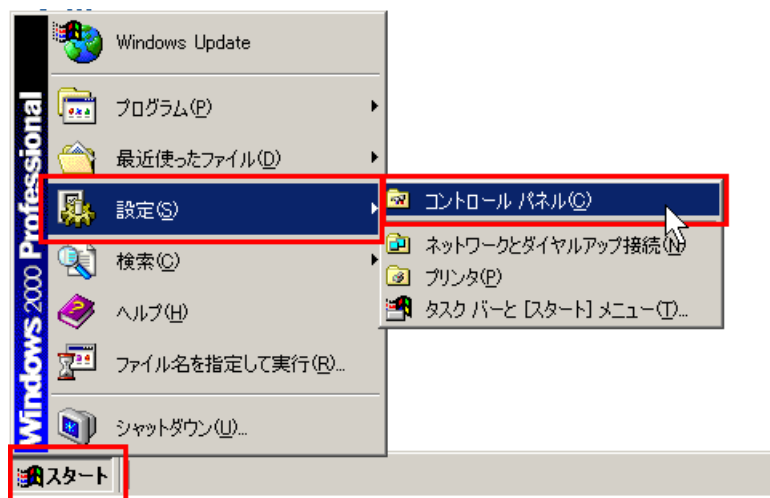


図 8 「コントロールパネル」メニュー選択

2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。

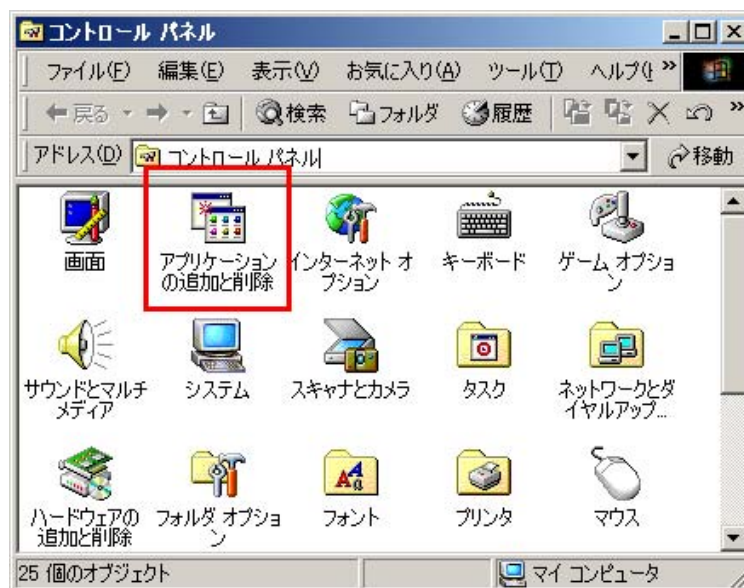


図 9 アプリケーションの追加と削除

3. 「プログラムの変更と削除(追加と削除)」で「ロクラク コントローラ」を選択して、[削除]または[追加と削除]をクリックしてください。

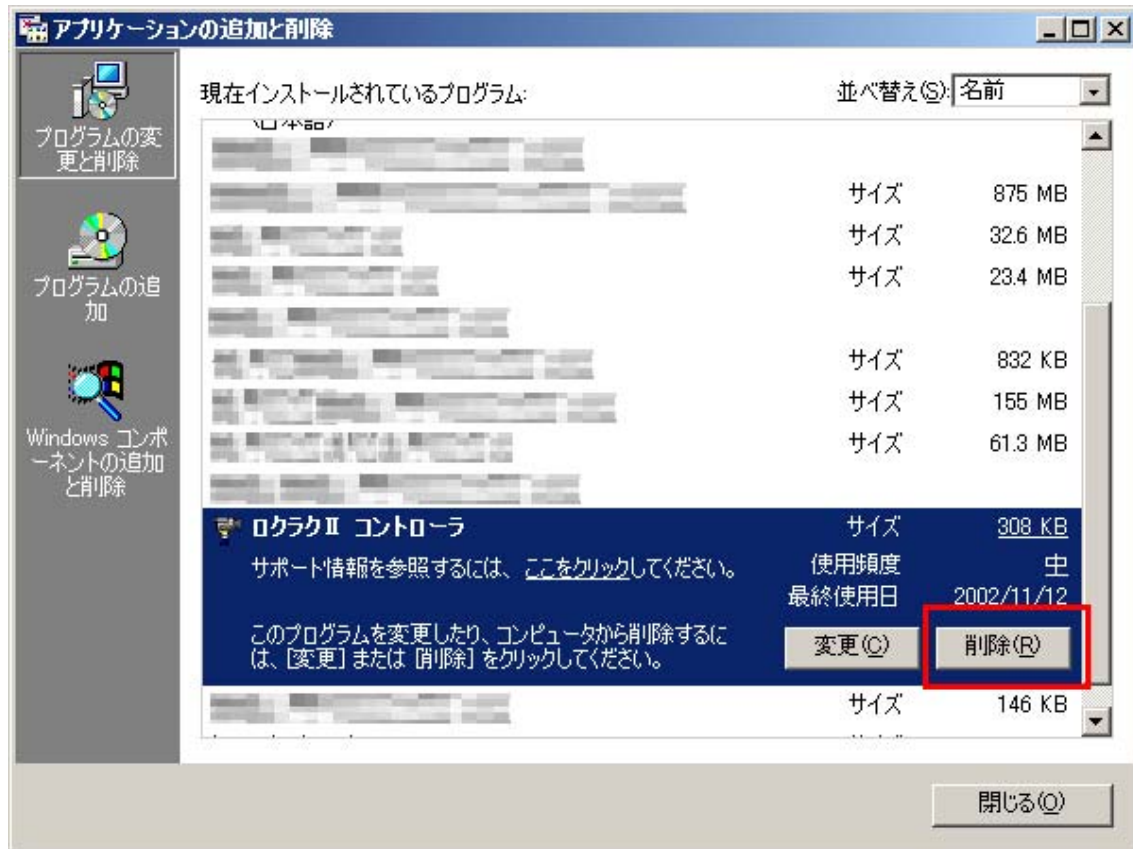


図 10 アプリケーションの追加と削除

4. 確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンを押すと、アンインストールが開始されます。

基本操作

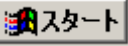
ロクラク・コントローラをお使いいただく上で、本ソフトウェアの起動と終了、「ロクラク」との接続や切断、メニューやツールバーメニューの使い方について操作方法を説明します。本節で説明する項目は以下の通りです。

- ・ 起動方法、終了方法
- ・ メイン画面の説明
- ・ 「ロクラク」との接続・切断方法
- ・ メニューの使い方
- ・ ツールバーメニューの使い方
- ・ ダイアログバーの使い方

各メニューの機能につきましては、「ロクラク・コントローラの操作方法」(p.26)にて説明しておりますので、そちらをお読みください。

起動方法、終了方法

1. 起動するには

Windows のスタートメニュー( スタート)から[プログラム]の[ROKURAKU]の「ロクラク・コントローラ」をクリックすることにより、ロクラク・コントローラが起動します。

また、デスクトップにショートカットを作成すると、スタートメニューから、「ロクラク・コントローラ」を選択する手間が省けます。デスクトップにショートカットを作成する場合は、以下のようにします。

Windows のスタートメニューで、[プログラム]の[ROKURAKU]の「ロクラク・コントローラ」を右クリックします。すると、次のようなメニュー(左側のみ)が表示されます。

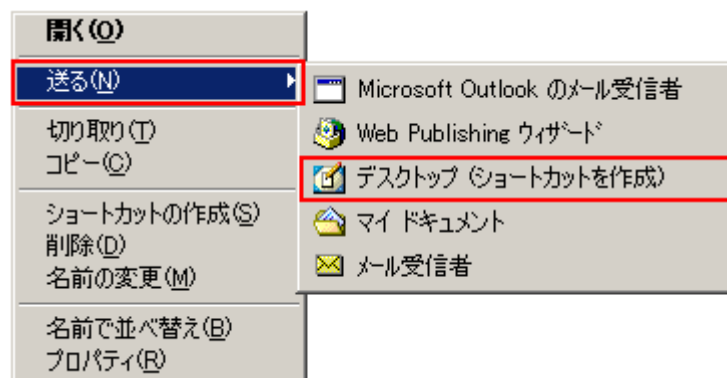
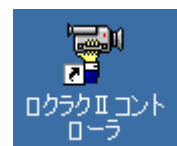


図 11 ショートカットの作成

その中の「送る」をクリックすると、更に右側のメニューが表示されますので、その中の「デスクトップ(ショートカットを作成)」をクリックしてください。デスクトップに右のようなアイコンが作成されれば成功です。次回からはこのアイコンをクリック(お使いの環境によってはダブルクリック)すれば、ロクラク II コントローラが起動します。



2. 終了するには

アプリケーションの「接続」メニュー()をクリックして、一番下にある「ロクラク II コントローラの終了」()をクリックすると終了します。また、右上の×マーク()をクリックすることでも終了します。もし、「ロクラク II」と接続中であれば、切断してから(p.25)、終了させてください。

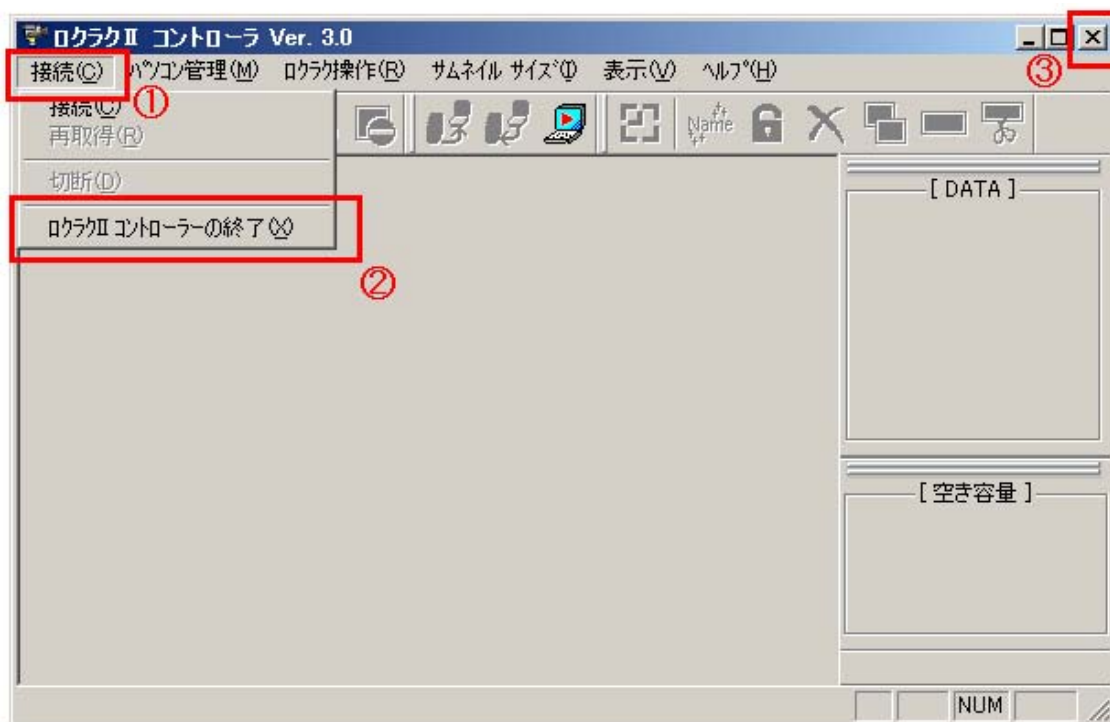


図 12 ロクラク II コントローラの終了

メイン画面の説明

ロクラク・コントローラはメイン画面に表示されているメニューを選択することにより、「ロクラク」とPCの間で記録映像の転送を行ったり、リモートコントロールを行ったりします。ここでは、メイン画面の構成や、機能について説明します。

アプリケーションを起動させると、ロゴが表示された後、下図のメイン画面が表示されます。

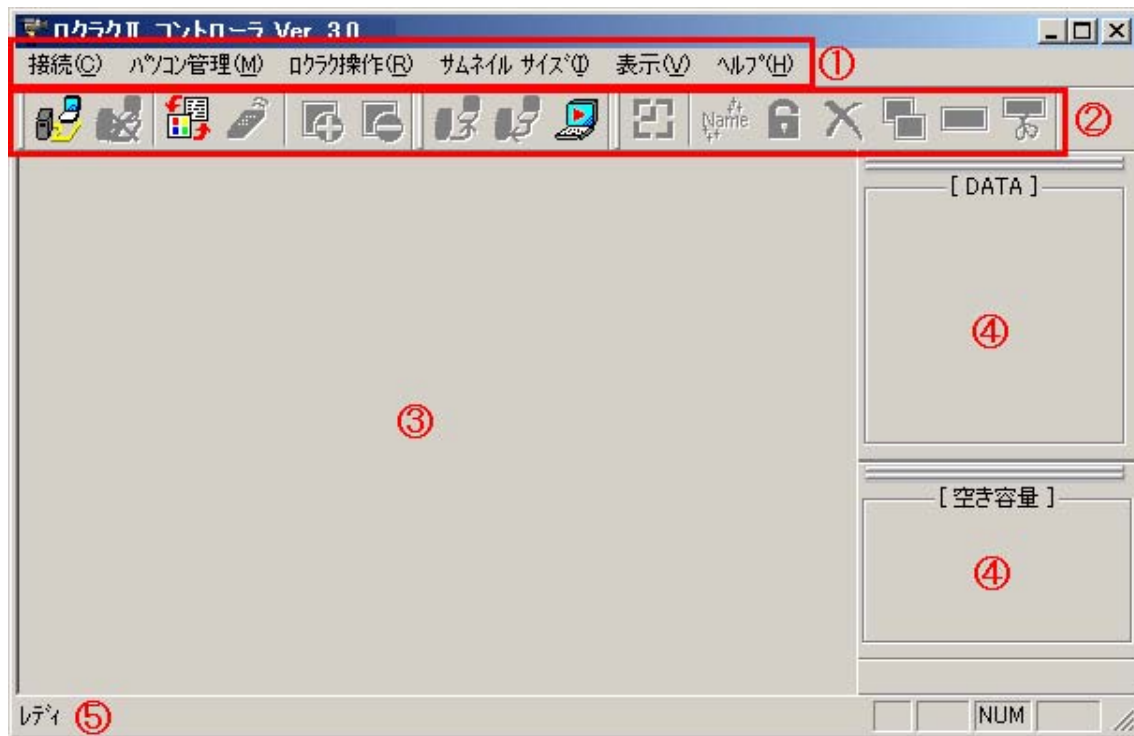


図 13 ロクラク・コントローラ メイン画面

メニュー	ロクラク・コントローラが行える機能が項目別に整理されているメニューです。この中から、行いたいメニューをクリックすることで操作を行うことができます。
ツールバー	ロクラク・コントローラで主に使う機能をまとめてあります。この中でカラーになっているボタンを押すことで操作を行うことができます。また、非表示にしたり、好きな場所へ移動させたりすることが可能です。
一覧表示	「ロクラク」に接続した時に、「ロクラク」が保存している記録映像ファイルの一覧をここに表示します。サムネイル画像を表示したり、リストで表示したりすることができます。また、サムネイル画像やリストをクリックすることで、指定した記録映像が選択状態になります。

- ダイアログバー 「ロクラク 」についての情報を表示します。[DATA]には記録映像ファイルの情報が、[空き容量]には「ロクラク 」のハードディスクの情報が表示されます。このダイアログバーは非表示にしたり、好きな場所に移動させたりすることが可能です。
- ステータスバー メニューやツールバーにマウスカーソルを移動させた時、そのメニューやツールバーのボタンをクリックした場合に、どのような操作を行うことができるかを説明する簡単なメッセージが表示されます。このステータスバーは非表示にすることができます。

「ロクラク」との接続・切断方法

ロクラク・コントローラは、「ロクラク」本体とPCをUSBケーブルで接続し、「ロクラク」本体とPCとの間で記録映像ファイルを転送したり、PCから「ロクラク」をリモートコントロールしたりするソフトウェアです。ここでは、「ロクラク」本体とロクラク・コントローラの通信接続手順と通信切断手順を説明します。

「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、ロクラク・コントローラで「ロクラク」と接続することができません。また、ロクラク・コントローラで接続中に「ロクラク」を本体のボタンやリモコンで操作すると正常に動作しない場合がありますので、ロクラク・コントローラで接続中は「ロクラク」の本体のボタンやリモコンを操作しないでください。

1. 「ロクラク」と接続するには

- a. 「ロクラク」とPCの電源を入れます。
「ロクラク」が起動するまで5～6秒お待ちください(「ロクラク」のロゴ表示中、「録画ファイルデータ取得中」というメッセージが表示中の場合は、ロクラク・コントローラの操作はしないでください)。
- b. PCと「ロクラク」をUSBケーブルで接続します⁵。
- c. ロクラク・コントローラを起動します。(p.19)
- d. メニューの「接続」()から、「接続」()をクリックするか、ツールバーの のボタンをクリックします。



図 14 ロクラク との接続

⁵ 初回のみ、ハードウェアウィザードが起動して、USBドライバをインストールします。インストール方法につきましては、付属CD-ROMに収録されております、「USBドライバインストール」マニュアルをよくお読みください。

接続が成功しますと、「ロクラク」に記録されている映像ファイルの情報と、サムネイル表示用の画像を取得します。取得中は、下図のような進捗状況を表すダイアログが表示されます。このダイアログが表示されている間は、ロクラク・コントローラの操作はできません。

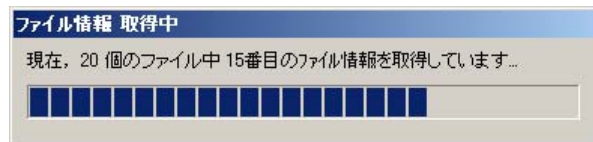


図 15 ファイル情報取得中 ダイアログ

映像ファイルの情報とその画像をすべて読み込むと、上図のダイアログが自動で消え、下図のように「ロクラク」から取得した情報を一覧表示画面に表示します⁶。

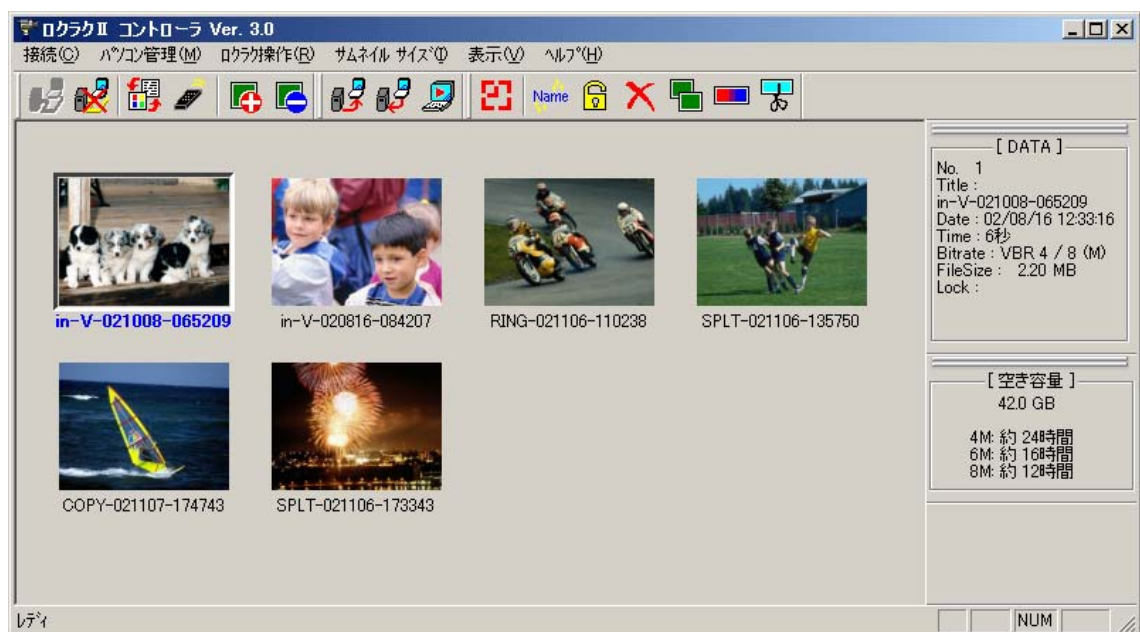


図 16 接続完了

このとき、「ロクラクとの接続できませんでした。」というメッセージボックスが表示された場合には、一旦「ロクラク」の電源を切って、再度 a. の手順からやり直してください。また、ロクラク・コントローラが複数起動されている場合は、1 つのロクラク・コントローラだけしか「ロクラク」との接続はできません。この時は、接続されているロクラク・コントローラを使用してください。

「ロクラク」のデータを更新する場合には、「再取得」メニューを選択してください。再度「ロクラク」から記録されている映像ファイルの情報と、サムネイル表示用の画像を取得します。

⁶ 「ロクラク」に映像ファイルが無い場合、一覧表示画面に何も表示されませんが、エラーではありません。

2. 「ロクラク II」との接続を切断するには

メニューの「接続」()から、「切断」()をクリックするか、ツールバーの のボタンをクリックします。



図 17 ロクラク II との切断

切断すると、ロクラク II コントローラを起動した時と同じように、一覧表示部分に何も表示されなくなります。

メニューの使い方

ロクラク・コントローラの様々な操作はメニューを選択することで行います。メニューは常にロクラク・コントローラのタイトルバー下に表示されるメニューと、右クリックをすることで表示されるコンテキストメニューの2種類があります。ここでは、メニューの選択方法と、それぞれのメニューの説明をします。

1. メニューの選択方法

・ロクラク・コントローラの上部に表示されているメニューの場合

ロクラク・コントローラには、常に下図のようなメニューが表示されています。



図 18 ロクラク・コントローラ メニュー

「接続」や「パソコン管理」など、これらのメニューにマウスカーソルを移動させると、ボタンのように立体表示されます。この時にクリックすると、さらに下にメニューが表示されます。

この中から、行いたい操作のメニューをクリックすることで、その操作を行うことができます。



図 19 サブメニュー

・コンテキストメニューの場合

ロクラク・コントローラは、右クリックをすることで、その時にできる操作の一覧をメニューとして表示します。また、一覧表示画面で、記録映像ファイルのサムネイル上やリスト上で右クリックをすると、そのファイルを選択状態にした上で、その記録映像ファイルに対するメニューの一覧を表示することができます。メニューの選択方法は、上記のメニュー操作と同じように、行いたい操作のメニューをクリックすることで、その操作を行うことができます。

2. 各メニューの説明

各メニューは、次のような機能を実行することができます。詳しい操作に関しては、それぞれ説明をしているページをお読みください。

ロクラク・コントローラの状況に応じて、使用できないメニューが灰色で表示され、選択できなくなります。

■ 接続

接続	「ロクラク」とロクラク・コントローラ間の USB 通信路を確定します。(p.23)
再取得	「ロクラク」の最新のファイル情報を取得します。(p.25)
切断	「ロクラク」とロクラク・コントローラ間の USB 接続を切断します。(p.25)
ロクラク II コントローラの終了	ロクラク・コントローラを終了します。

■ パソコン管理

受信	「ロクラク」上の記録映像ファイルを、PC に転送します。(p.37)
送信	PC 上の記録映像ファイルを、「ロクラク」に転送します。(p.40)
複数一括受信	「ロクラク」上の複数の記録映像ファイルを、順次 PC に転送します。(p.44)
複数一括送信	PC 上の複数の記録映像ファイルを、順次「ロクラク」に転送します。(p.50)
PC で再生	「ロクラク」から PC に転送した記録映像ファイルを、PC で再生できるようにストリーム(形式)変換します。変換後、変換を行った PC 上の MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアで再生します ⁷ 。(p.55)
破損ファイル修復	「ロクラク」から PC に受信中に、受信を中断したファイルなど、そのままでは「ロクラク」に送信できないファイルを検索して修復を行います。(p.57)
ディレクトリ設定	送受信の時に主に使用するディレクトリの設定や、「PC で再生」時に再生を行うソフトウェアを設定します。また、受信中に、PC 側の MPEG2 再生ソフトウェアで再生できる形式に同時変換するなどといったロクラク・コントローラの設定を行うことができます。(p.35)

⁷ 「ディレクトリ設定」機能で、再生する MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアを指定していない場合、変換のみ行います。

■ ロクラク操作

リモコン表示	「ロクラク」で再生・停止・早送りなどのリモート操作を行うことができる「ロクラク リモートコントローラ」を表示します。(p.60)
ファイル操作	選択ファイルに対して、リネーム、ロック、削除、コピー、結合、映像編集を行う時に選択します。これらの機能については、下の表をご覧ください。
録画予約	録画予約を行います。現在の録画予約の追加・変更・削除を行うことができます。(p.94)
パススルー	「ロクラク」の外部入力端子(S ビデオ端子/ ビデオ端子)からの(番組)映像を、「ロクラク」ビデオ出力に接続されるテレビにてご覧になれます。(p.103)

ファイル操作に関しては、更に次のメニューが表示されます。この操作は、ロクラク リモートコントローラで現在選択されている記録映像ファイルに対して行います。

リネーム	「ロクラク」上の記録映像ファイルのファイル名を変更します。 (p.67)
ロック	「ロクラク」上の記録映像ファイルの保護設定を設定又は解除します。(p.68)
削除	「ロクラク」上の記録映像ファイルを削除します。(p.69)
コピー	「ロクラク」上の記録映像ファイルのコピーを作成します。 (p.70)
結合	「ロクラク」上の記録映像ファイルの 2 つを結合します。現在選択されているファイルと、もう一つのファイルを選択して、結合を行います。(p.72)
映像編集	「ロクラク」上の記録映像ファイルに対して、切詰、分割、カット、移動を行います。(p.74)
複数結合	複数の「ロクラク」上の記録映像ファイルを 1 つの記録映像ファイルにまとめて結合します。(p.89)

■ サムネイルサイズ

一覧表示画面で、サムネイルを表示させている場合、そのサイズを変更することができます。表示される 5 つの大きさから 1 つを選択して下さい。

選択が可能なサイズは、「80×60」、「100×75」、「120×90」、「160×120」、「200×150」の 5 つです。例えば、「80×60」サイズを選択した場合、横が 80 ピクセル、縦が 60 ピクセルでサムネイルを表示します。

■ 表示

ビュー切替	一覧表示画面で、サムネイル画像を表示するか、ファイル情報の一覧リストを表示するかの切替を行います。(p.34)
ツールバー	ツールバーの表示/ 非表示を設定します。(p.30)
ダイアログバー	ダイアログバーの表示/ 非表示を設定します。(p.32)
ステータスバー	ステータスバーの表示/ 非表示を設定します。

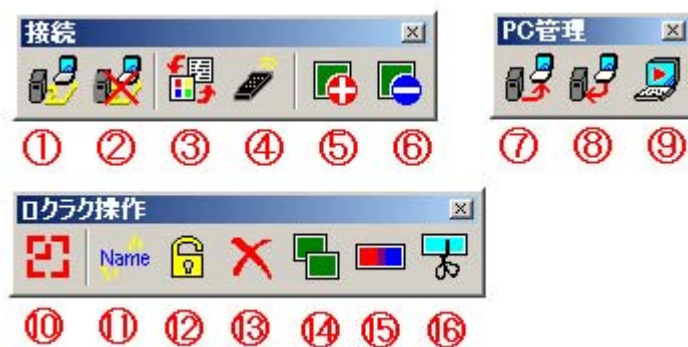
■ ヘルプ

ロクラク コントローラのバージョン情報を表示します。

ツールバーメニューの使い方

ツールバーは、ロクラク・コントローラでよく使うメニューをまとめたものです。このツールバーのボタンを押すことで、通常のメニューを選択するのと同じ機能を実行することができます。また、通常のメニューと同様、実行することができない機能は灰色で表示され、選択できないようになります。

ツールバーには、下図のように、3 つあります。



各ボタンに対応するメニューは以下の通りです。

■ 接続

接続

切断

ビュー切替

リモコン表示

サムネイルを大きく表示

サムネイルを小さく表示

このうち、、 は、サムネイルのサイズを一回り大きくしたり、小さくしたりできます。メニューの「サムネイルサイズ」で選択可能な 5 つの大きさから順番に大きくしたり小さくしたりします。

■ PC 管理

受信

送信

PC で再生

■ ロクラク操作

録画予約

リネーム

ロック

削除

コピー

結合

映像編集

また、ツールバーはお好みの位置に移動することができます。ロクラク・コントローラを初めて起動した時には、通常のメニューの下にくっついて表示されています。このツールバーをドラッグすることで、好きな位置へ移動させることができます。また、これを、ロクラク・コントローラのウィンドウの上下左右どちらにでもくっつけることができます。ツールバーはまとめて左に置いておく、といったような使い方も可能です。

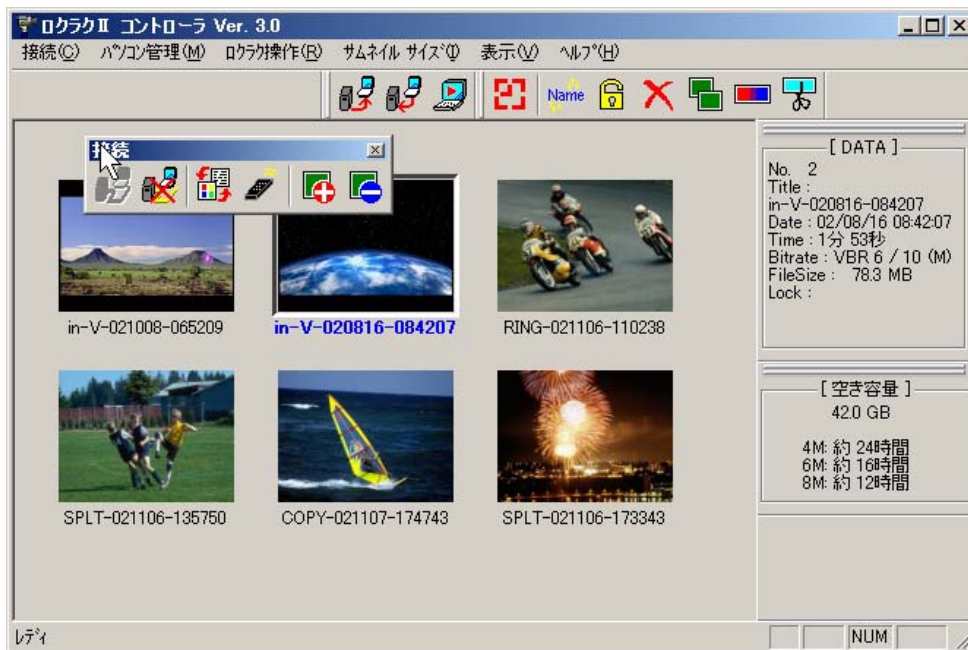


図 20 ツールバーのフローティング



図 21 ツールバーを左にまとめる

普段使わないツールバーは非表示にしておくことができます。表示/ 非表示の切替は、メニューの「表示」の「ツールバー」から、表示/ 非表示にしたいツールバーをクリックしてください。表示されていた場合には非表示に、非表示にされていた場合には表示されるようになります。

ダイアログバーの使い方

ダイアログバーは、「ロクラク」についての情報を表示します。それぞれの記録映像ファイルのデータを表示する[DATA](データ表示)ダイアログバーと、[空き容量]ダイアログバーの2種類があり、ここにデータが表示されます。

ダイアログバーも、ツールバーと同様に、ドラッグすることでフローティングさせて好きな位置に移動したり、左右どちらかのウィンドウの枠にはりつけて表示させたりすることができます。

表示/非表示の切替も行うことができます。メニューの「表示」の「ダイアログバー」から、表示/非表示にしたいツールバーをクリックしてください。表示されていた場合には非表示に、非表示にされていた場合には表示されるようになります。



図 22 ダイアログバーのフローティング

ロクラク・コントローラ 操作方法

ロクラク・コントローラは、様々な機能が搭載されています。本節では、それぞれの機能についての操作方法について記載します。

一覧表示方法 [サムネイルタイプ]と[リストタイプ]

ロクラク・コントローラの一覧表示方法には[サムネイルタイプ]と[リストタイプ]の2種類の画面タイプがあります。ここでは、2つのタイプの画面について説明します。

1. サムネイルタイプ

記録映像ファイルのサムネイル画像とそのタイトル(ファイル名)を表示することができるタイプです。ロクラク・コントローラ起動時は、このタイプが表示されています。

サムネイル画像は、画面左上から右へ順番に表示されます。画面からはみ出る場合には、一段下に折り返して表示されます。画面に入りきらない場合には、垂直スクロールバーが表示されます。垂直スクロールバーの やつまみを操作することで画面をスクロールすることができます。

サムネイル画像にマウスカーソルを移動させると、ダイアログバーの[DATA]表示部分に、マウスカーソルがあるサムネイル画像のファイル詳細情報が表示されます。

サムネイル画像をクリックすると、そのサムネイル画像に枠が表示され、タイトルが青く表示されます。これが、現在の選択ファイルになります。



図 23 サムネイルタイプ

サムネイルが見にくい場合、サムネイル画像をダブルクリックすることで、拡大した画像を表示したダイアログが表示されます。このダイアログで、サムネイル画像を確認してください。このダイアログは、大きさを変えることもできます。

拡大画像から元のメイン画面に戻るには、拡大画像をクリックします。

2. リストタイプ

[リストタイプ]では、サムネイル画像を表示する代わりに、録画日時、録画時間、ビットレートといった情報を一覧で表示します。

リストの上部に表示されている「Lock」、「タイトル」、「録画日時」などの項目ボタンをクリックすると、その項目名で整列させることができます。

ファイルの選択方法は、選択したいファイルの行をクリックすることです。選択されると、その行が反転されて表示されます。

現在のウィンドウサイズでは、リストの情報が入りきらない場合、垂直スクロールバーや、水平スクロールバーが表示されます。このスクロールバーを操作することで、画面をスクロールさせることができます。また、項目ボタンと項目ボタンの間をドラッグすることで、それぞれの項目の横幅を調整することができます。

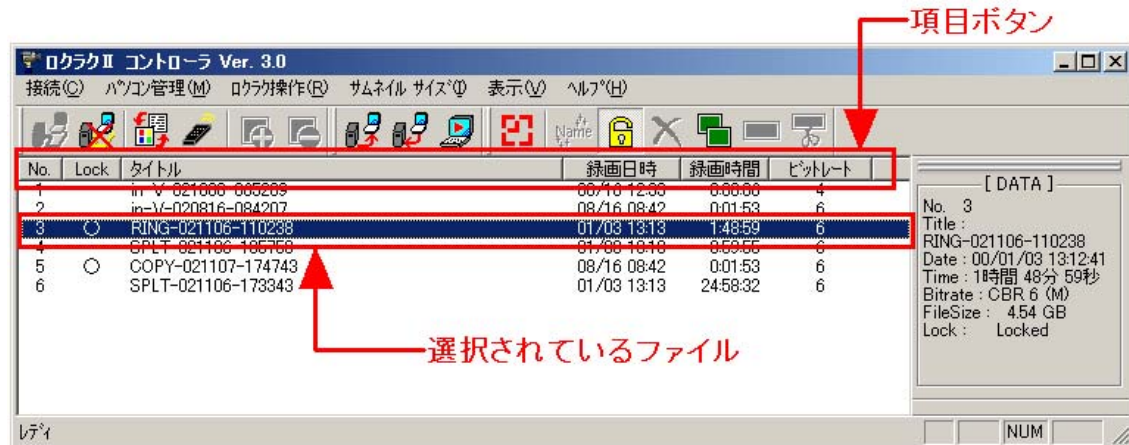


図 24 リストタイプ

3. ビューの切り替え

[サムネイルタイプ]の画面と[リストタイプ]の画面を変更するには、「表示」メニューの「ビュー切替」を選択します。または、ツールバーから、「ビュー切替」ボタンを選択して下さい。

ディレクトリを設定する

ロクラク コントローラをより使いやすくお使いいただくために、最初に「ディレクトリ設定」を行うことをお勧めします。

ロクラク コントローラの設定を行います。この設定を行うと、PC のファイルを選択する時などに最初に表示されるフォルダや、「PC で再生」機能で使用する、MPEG2 ビデオ再生ソフトウェア、受信時の同時ストリーム変換機能などを設定することができます。

1. 「パソコン管理」の「ディレクトリ設定」メニューを選択します(コンテキストメニューで「ディレクトリ設定」メニューでも同様の操作ができます)。選択すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。



図 25 ディレクトリ設定ダイアログ

2. 「ロクラク ファイルを操作する時に最初に表示させるフォルダ」には、「ロクラク 」とのファイルを送受信する時に主に使用するフォルダ名を指定してください。PC のファイル名を指定する場合、まずこのフォルダを参照します⁸。
3. 「PC で再生」時に使用するアプリケーションの実行ファイル」には、「PC で再生」機能を使用したときに、ストリーム変換後、PC で再生する MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアの実行ファイルを指定してください⁹。

⁸ 例えば、Cドライブの My Document に Rokuraku というフォルダがあり、その中にファイル名を格納したい場合は、【参照】ボタンを押して、Rokuraku フォルダを探して設定するか、直接エディットボックスに以下のように入力します。

C:\My Document\Rokuraku

⁹ 「PC で再生」機能を実行するには、MPEG2 ビデオを再生するためのアプリケーションソフトが PC で実行できる必要があります。MPEG2 ビデオ再生アプリケーションにつきましては、お客様にてあらかじめ、PC にインストールしておいてください。また、このアプリケーションの実行ファイルがあるフォルダが分からない場合には、MPEG2 ビデオ再生アプリケーションのインストール手引書、取扱説明書などをご確認ください。

4. 「受信(ロクラク→PC)時に.mpg 形式ファイルを同時作成」とかかれたチェックボックスをチェック(☑)すると、受信を行う時に、受信した「ロクラク」映像記録ファイル(トランスポートストリーム、TS 形式)を同時に MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアで再生できる形式(プログラムストリーム、PS 形式)に変換を行います。¹⁰
5. 4.の「同時作成」チェックボックスがチェック(☑)されていた場合、さらに「1 つのファイルのみ受信した場合は受信後 PC で再生を行う」チェックボックスを選択することができます。このチェックボックスをチェックしておくと、PC への受信が終了すると、3.で設定したアプリケーションで PS 形式ファイルを再生します。
6. 【OK】ボタンを押すと、設定が完了します。

¹⁰ 受信中に、PS 形式への同時変換を行うと、行わない場合に比べ転送速度が落ちますが、同時変換をしながら受信する場合にかかる時間と、受信を行ってから PS 形式に変換する場合にかかる時間では、同時変換をしながら受信する場合のほうが短い時間で行うことができます。また、同時変換を行う場合、PC 側のハードディスクは、転送するロクラク ファイルの約 2 倍強の空き容量が必要です。大きなサイズのファイルを同時変換で受信する場合は、PC 側ハードディスクの空き容量にお気をつけ下さい。

「ロクラク」のファイルを PC に保存する

「ロクラク」の録画済み記録映像ファイルは、PC に転送することができます。この PC への転送方法を記載します。PC に転送した記録映像ファイルは、ストリーム変換(「パソコン管理」の「PC で再生」メニューを選択)(p.55)することにより、PC 上でご覧いただけます(受信中同時にストリーム変換を行うこともできます)。ただし、ストリーム変換して作成されたファイルを再生するには、MPEG2 ビデオファイルを再生可能なソフトウェアが必要です。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

1. PC に送りたいファイルを選択した上で、「パソコン管理」の「受信」メニューを選択します(ツールバーメニューの受信や、コンテキストメニューでの受信メニューでも同様の操作ができます)。
2. 保存先を指定するダイアログが表示されます。保存場所と保存名を入力して、【保存】ボタンを押します。この時、「ディレクトリ設定」(p.35)を行っていた場合、最初に表示されるディレクトリは指定されたディレクトリになります。

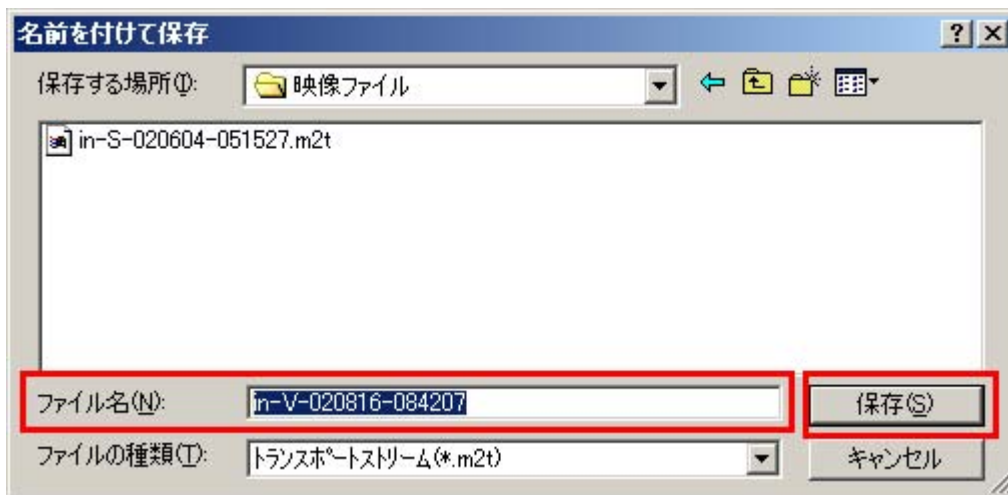


図 26 保存先指定ダイアログ

3. 【保存】ボタンを押すと、転送が開始します。ここで、「ディレクトリ設定」(p.35)で「受信中に同時変換を行う」機能を有効にしていた場合、2.で指定したファイル名(*.m2t)の「m2t」の部分「mpg」となったファイルを作成し、変換を行った PS 形式(PC の MPEG2 再生ソフトウェアで再生できる形式)のデータをファイルに保存します。この時、すでに同名の PS 形式ファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

4. 転送が開始されると、進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。PC に転送中は、プログレスバーと%表示で進捗状況を表示します¹¹。また、転送が終了するまでの残りの時間の目安が表示されます。

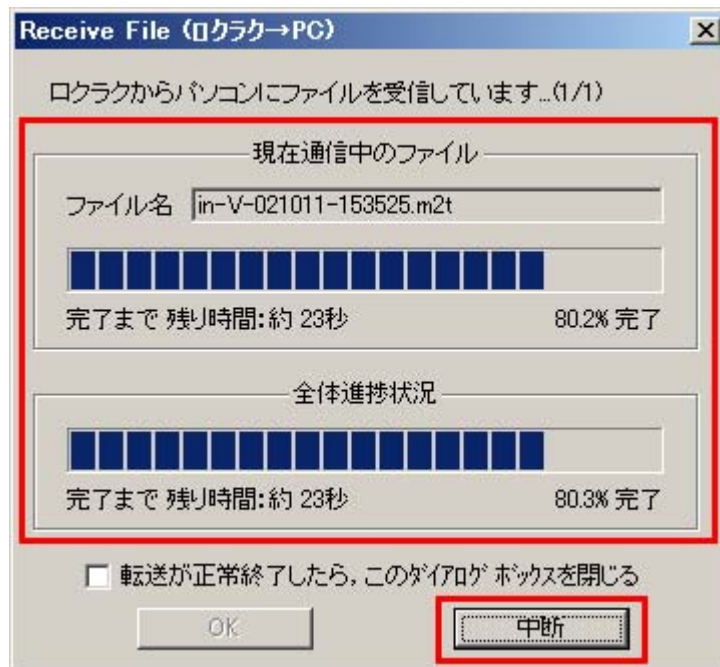


図 27 受信 進捗状況ダイアログ(経過)

5. 中断するときは、【中断】ボタンを押すことで転送を中断します。また、「転送が正常終了したら、このダイアログボックスを閉じる」チェックボックスをチェックしておくと、次の 6.がなくなります。
6. PC への転送が終了すると、ダイアログボックスには完了したというメッセージが表示されます。また、【OK】ボタンが黒色で表示され、選択できるようになります。【OK】ボタンを押すことで、ダイアログボックスが消え、メイン画面を操作できるようになります。

¹¹ 完了までの残り時間は目安です。また、「現在通信中のファイル」と「全体進捗状況」の進捗表示が若干ずれる場合がありますが、これは残り時間の計算が「現在通信中のファイル」と「全体進捗状況」とで異なるためです(複数のファイル転送に対応したため)。異常ではありません。

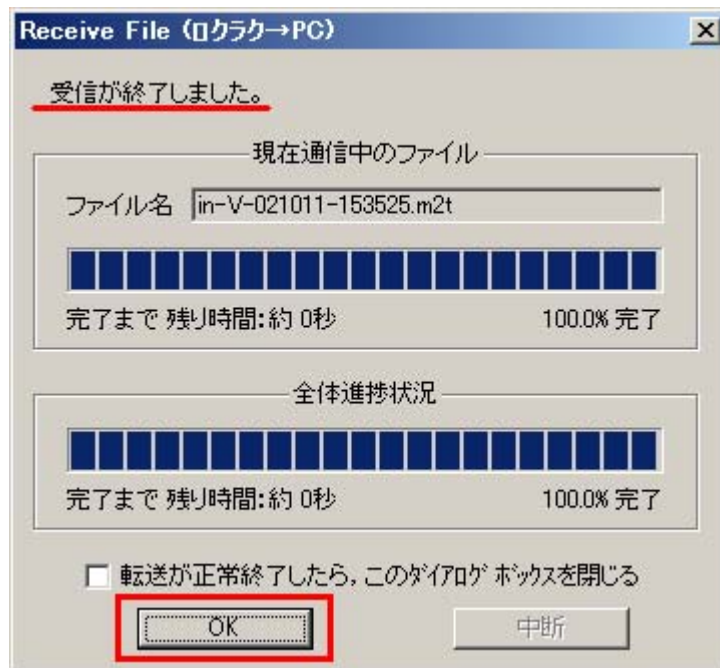


図 28 受信 進捗状況ダイアログ(完了)

7. 「ディレクトリ設定」(p.35)で、「受信後 PC で再生を行う」機能を有効にしていた場合、「ディレクトリ設定」で指定された MPEG2 再生ソフトウェアで PS 形式ファイルを再生します。

「ロクラク」の記録映像ファイルは TS 形式(拡張子が m2t)です。同時変換をしている場合、PS 形式(拡張子が mpg)のファイルも作成されますが、これは「ロクラク」へ送信することはできませんので、注意してください。

ドラッグによる受信に対応しています

PC に転送したいファイルをドラッグして、ロクラク・コントローラのウィンドウの外にマウスカーソルを動かすと、マウスカーソルが禁止マークから変化します。この時に、マウスの左ボタンを離すと、PC にファイルを受信することができます。この時、受信される場所は、デスクトップになります。また、ファイル名は「受信するロクラクのファイル名」に拡張子「.m2t」が付加されたものになります。

受信ダイアログの終了の仕方は、上に書かれている通りです。

PC に保存した映像ファイルを「ロクラク」へ送る

PC に保存した記録映像ファイルを「ロクラク」に転送する方法を記載します。「ロクラク」に転送した記録映像ファイルは「ロクラク」で再生することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

1. 「パソコン管理」の「送信」メニューを選択します(ツールバーメニューの送信や、コンテキストメニューでの送信メニューでも同様の操作ができます)。
2. PC にある記録映像ファイルを選択するダイアログが表示されます。「ロクラク」へ送信するファイル名を選択して[開く]ボタンを押します。この時、「ディレクトリ設定」(p.35)を行っていた場合、最初に表示されるディレクトリは指定されたディレクトリになります。

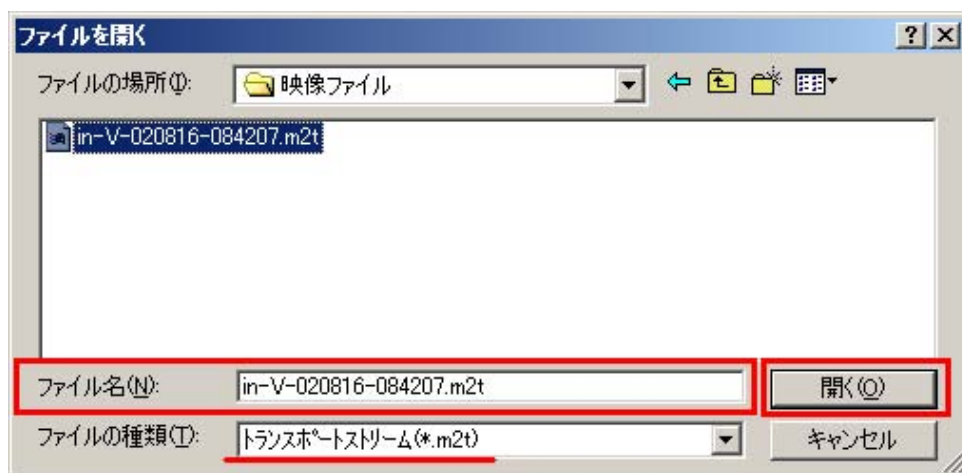


図 29 送信ファイル指定ダイアログ

3. [開く]ボタンを押すと、更に「ロクラク」に保存する時のファイル名を入力するダイアログが表示されます。ファイル名は 31 文字までで空白、既に「ロクラク」に保存されているファイル名は入力できません。入力できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、「+」、「-」、「*」、「_」(アンダーバー)、「.(ピリオド)」、「\$」、「/」で、すべて半角文字です。

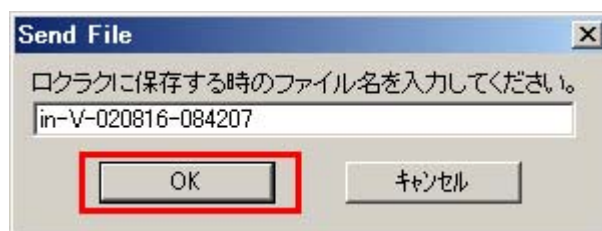


図 30 ロクラク 保存時のファイル名指定

4. 【OK】ボタンを押すと、進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。ただし、送信するファイルが壊れていた場合は、送信することができません。ただし、修復可能なファイルである場合、修復確認メッセージボックスが表示されます。「はい」ボタンを押すと、修復を行ってから¹²、送信を開始します。修復中に「キャンセル」をして処理を中断することができます(中断すると送信は行いません)。

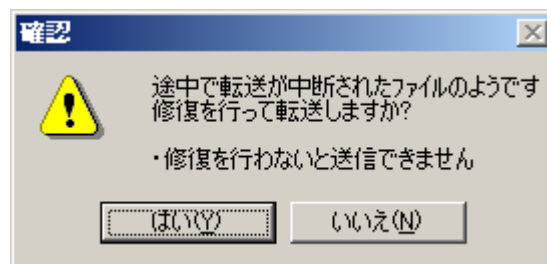


図 31 修復確認メッセージ



図 32 修復中の進捗ダイアログ

5. 「ロクラク」に転送中は、プログレスバーと%表示で進捗状況を表示します。また、転送が終了するまでの残りの時間の目安が表示されます。中断するときは、【中断】ボタンを押すことで転送を中断します。

¹² 修復にかかる時間は、ファイルサイズが大きいほど時間がかかります。これは、ファイルに存在している映像がどれだけの秒数記録されているかを調べているためです。

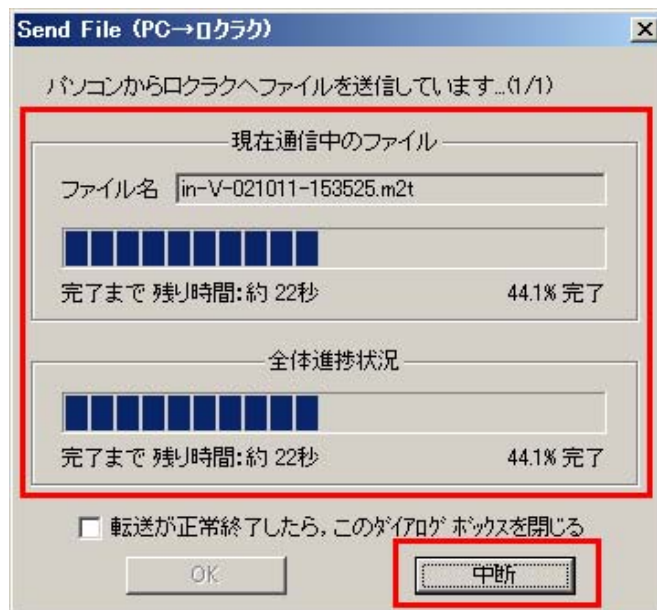


図 33 送信 進捗状況ダイアログ(経過)

6. 「ロクラク」への転送が終了すると、ダイアログボックスには完了したというメッセージが表示されます。また、[OK] ボタンが黒色で表示され、選択できるようになります。[OK] ボタンを押すことで、ダイアログボックスが消え、メイン画面を操作できるようになります。

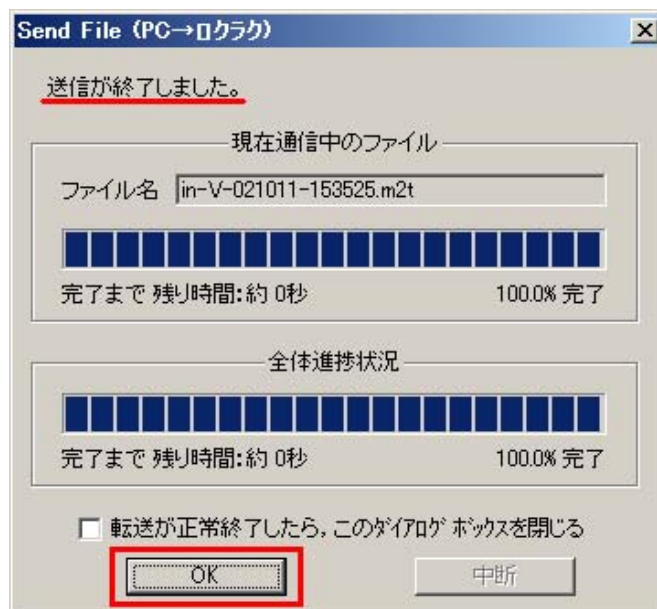


図 34 送信 進捗状況ダイアログ(完了)

「ロクラク」に転送可能なファイルは、「ロクラク」記録映像ファイル(拡張子が m2t)に限られておりますので、ご注意ください。

エクスプローラーなどからのドラッグ&ドロップに対応しています

エクスプローラーなどから拡張子が「m2t」のファイルをドラッグし、ロクラク・コントローラでマウスを放すと、そのファイルを「ロクラク」に送信することができます。

ただし、エクスプローラーなどから、直接ロクラク・コントローラへドラッグ&ドロップを行うのは、1つのファイルのみに対応しています。もし、複数のファイルを送信したい場合は、「複数一括送信」(p.50)メニューを選んでいただき、その時表示されたダイアログに「ドラッグ&ドロップ」をしてください。この場合は、複数のファイルのドラッグ&ドロップに対応しております。

「ロクラク」から複数ファイルを PC に一括受信する

複数の「ロクラク」の録画済み記録映像ファイルを一括して PC に受信する方法を記載します。PC に転送した記録映像ファイルは、ストリーム変換(「パソコン管理」の「PC で再生」メニューを選択)(p.55)することにより、PC 上でご覧いただけます。ただし、MPEG2 ビデオファイルを再生可能なソフトウェアが必要です。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

1. 「パソコン管理」から「複数一括受信」メニューを選択します。メニューを選択すると、次のようなダイアログが表示されます。このダイアログは表示中でもメイン画面を操作することができます。

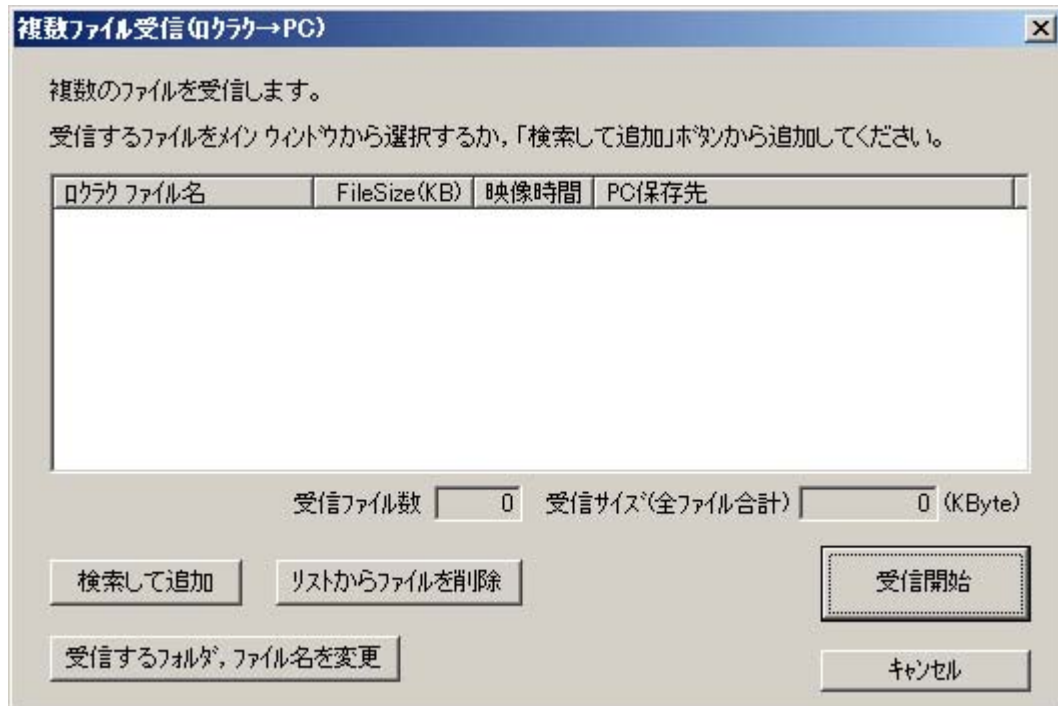


図 35 複数ファイル受信ダイアログ

2. 受信するファイルを選択します。

受信するファイルは、ダイアログ中央のリストに表示されます。受信するファイルを選択すると、このリストに受信する「ロクラク」のファイル名、ファイルサイズ、映像時間、PC への保存先が追加されます。この時に、デフォルトの保存先は、「ディレクトリ設定」(p.35)で設定されたフォルダに受信する「ロクラク」のファイル名と拡張子「m2t」を付けたものになります¹³。もし、同名のファイルが存在する場合には、確認メッセージが表示されます。

○ 受信リストへの追加方法

受信リストへの追加は次の 2 つの方法があります。

(1) メインウィンドウから選択する

このダイアログ表示中はメイン画面を操作することができます。このメインウィンドウで、サムネイル又はリストをクリックすると、選択状態に変化します¹⁴。受信したいファイルをすべて選択状態にしてください。選択状態になったファイルは、このダイアログの受信リストに追加されています。また、メイン画面はキーボードによる操作も行うことができます。カーソルは点線の枠で表示されています。この時、スペースキーを押すと、点線枠で囲まれているファイルが選択されます。

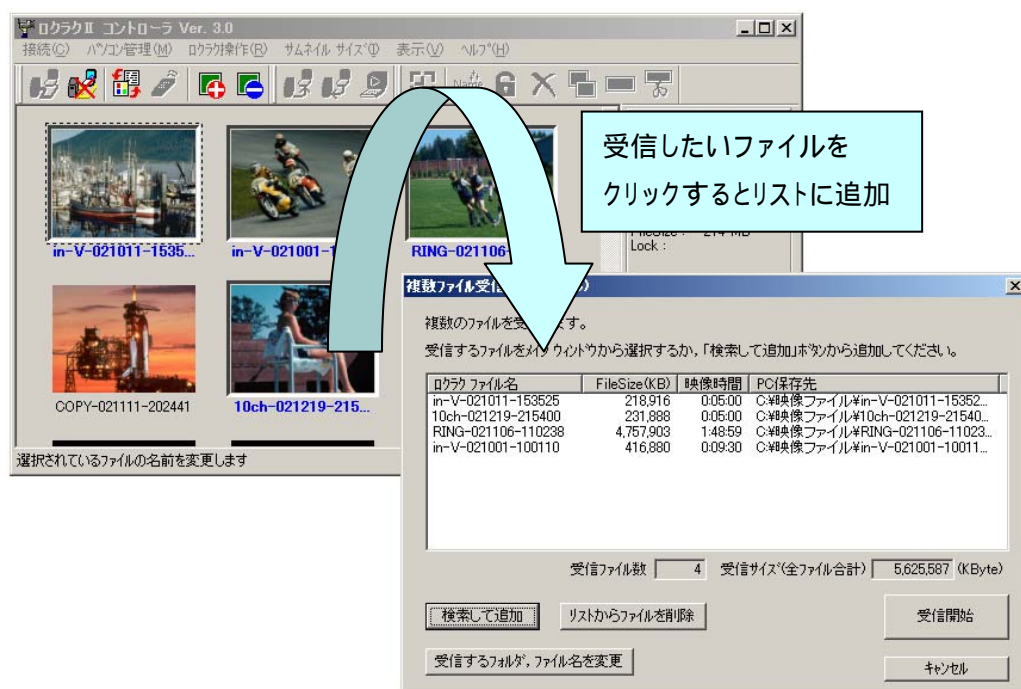


図 36 メインウィンドウから選択

¹³ 例えば、「ディレクトリ設定」でフォルダ名の設定を「c:\¥My Document¥Rokuraku」としておき、「ロクラク」から、「10ch-021218-215400」を受信リストに追加した場合、PC に保存される時のデフォルトのファイル名は、「c:\¥My Document¥Rokuraku¥10ch-021218-215400」になります。

¹⁴ 選択状態とは、サムネイルタイプの画面ではサムネイルの周りに枠が表示されてタイトルが青字で表示されている状態のことです。リストタイプの画面では、行が反転して表示されます。

(2) 「ロクラク」に保存されているファイルを検索して追加する

このダイアログの【検索して追加】ボタンを押すと、さらに「検索して追加」ダイアログが表示されます。検索したい項目の左側にあるチェックボックスをチェックして、検索する項目を指定してください。

図 37 検索して追加ダイアログ

- ・「録画日時から検索」は、録画された日付の範囲を指定することで、録画されたファイルを検索します。
- ・「録画チャンネルから検索」は、録画されたチャンネルを指定することで、録画したファイルを検索します¹⁵。
- ・「ロクラクのファイル名から検索」は、検索文字列がタイトルに含まれているファイルを検索します。

¹⁵ 「録画チャンネルから検索」は、録画ファイルのタイトルで検索を行います。「ロクラク」では、録画したときの標準のタイトルが「チャンネル名-録画日時-録画時間」となるように設定されます。「録画チャンネルから検索」ではこの「チャンネル名」を検索します。例えば、TVの6チャンネルを検索すると、「ロクラク」に保存されているタイトル名の先頭が「06ch」で始まるファイルを検索します。

検索方法は、全ての検索条件に合うファイルを検索する方法と、どれか 1 つの条件に合うファイルを検索する方法の 2 つから選択することができます。

「検索結果を表示してからリストに加える」チェックボックスを有効にしておくと、検索結果が表示されます。この時にリストに追加するかしないかの選択をすることもできます。

「OK」ボタンを押すと、検索を行い、結果をリストに追加します。

(1)、(2)両方の方法で、リストに受信ファイルを追加する時に、デフォルトの PC 保存先が設定されます。この時、既に PC に同名のファイルが存在する時は、以下のようなメッセージボックスが表示されます。この時、「上書き」するか「受信しない」か、「ファイル名変更」を行うかを選択することができます。(2)の方法でファイルを複数追加する場合で PC に存在するファイルがある場合、「全て上書き」と「全て受信しない」を選択することができます。これらを選択すると、同名のファイルが存在する全てのファイルに適用されます。

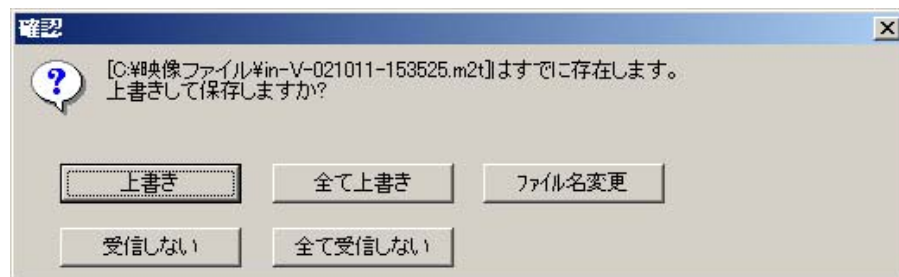


図 38 上書き確認ダイアログ

○ 受信リストからの削除方法

削除したいファイルをリストから選択します(複数の選択はできません)。青色に反転したことを確認して、[リストから削除]ボタンを押せばリストから削除されます。

また、メイン画面で選択されているファイルをもう一度クリックすると、選択が解除されます¹⁶。この時にリストからも選択されたファイルが削除されます。キーボードでも、選択されているファイルにカーソルを合わせ、スペースキーを押すことで選択が解除できます。

○ 受信するファイルの PC 保存先変更方法

受信リストからの削除と同様に、PC 保存先を変更したいファイルをリストから選択して、[受信するフォルダ、ファイル名を変更]ボタンを押します。

ボタンを押すと「PC 保存先変更」ダイアログが表示されますので、保存したいフォルダ・ファイル名を設定して「保存」ボタンを押してください。

¹⁶ 選択が解除されたファイルは、黒い点線枠が表示され、タイトルが黒い太字で表示されます。これは、現在のカーソル位置を示しているもので、選択されているという意味ではありません。

3. 「受信開始」ボタンを押すと、受信を開始します。この時に、「ディレクトリ設定」(p.35)で「受信時に同時変換を行う」機能を有効にしている場合、既に PS 形式のファイルが PC に保存されていないかをチェックします。PC に保存される PS 形式のファイルは、PC に保存する「ロクラク」用映像ファイルの拡張子が「m2t」から「mpg」になったものです。もし、既に PC に同名のファイルが存在する場合には、上書きするか、同時変換を行わないかの選択をすることができます¹⁷。
4. 受信を開始すると、進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。PC に転送中は、転送ファイルの総数と現在転送中のファイル名、プログレスバーと%表示による進捗状況、転送が終了するまでの目安の時間が表示されます。この進捗状況と終了するまでの目安は現在転送中のファイルのものと、全体のものを見ることができます。

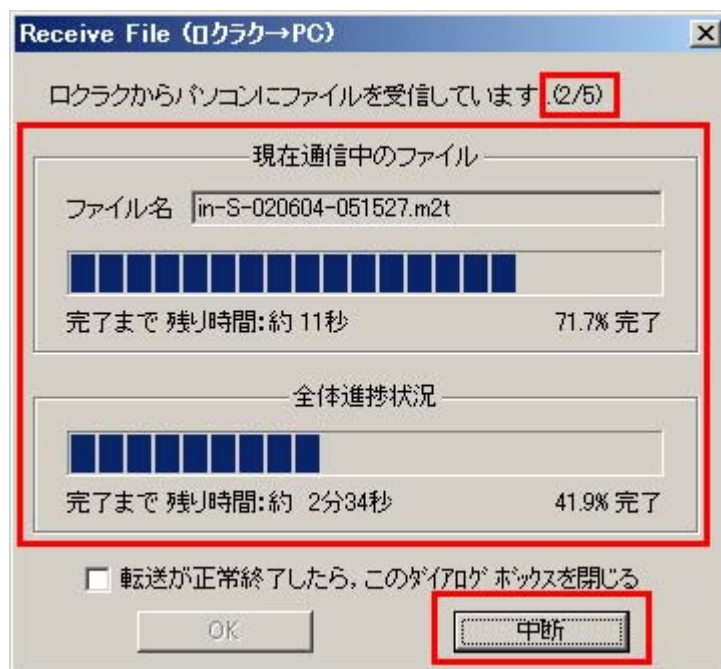


図 39 複数受信中 進捗ダイアログ

5. 中断するときは、【中断】ボタンを押すことで転送を中断します。また、「転送が正常終了したら、このダイアログボックスを閉じる」チェックボックスをチェックしておくと、転送が正常に終了した場合、次の 6. がなくなります。

¹⁷ 「ディレクトリ設定」で同時変換を行って転送を終了したあとに PC で再生を行う機能を有効にしてある場合でも、「複数一括受信」メニューから受信を行った場合、(1 つのファイル受信であっても)PC で再生は行いません。

6. PC への転送が終了すると、ダイアログボックスには完了したというメッセージが表示されます。また、[OK] ボタンが黒色で表示され、選択できるようになります。[OK] ボタンを押すことで、ダイアログボックスが消え、メイン画面を操作できるようになります。

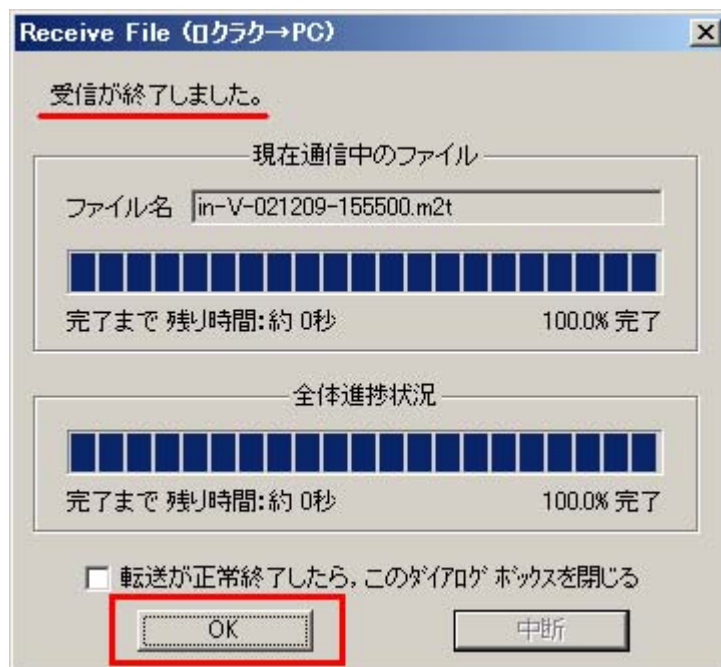


図 40 複数受信ダイアログ(完了)

PC に保存した複数のファイルを一括して「ロクラク」へ送る

PC に保存した複数の記録映像ファイルを「ロクラク」に一括して転送する方法を記載します。
「ロクラク」に転送した記録映像ファイルは「ロクラク」で再生することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

1. 「パソコン管理」から「複数一括受信」メニューを選択します。メニューを選択すると、次のようなダイアログが表示されます。

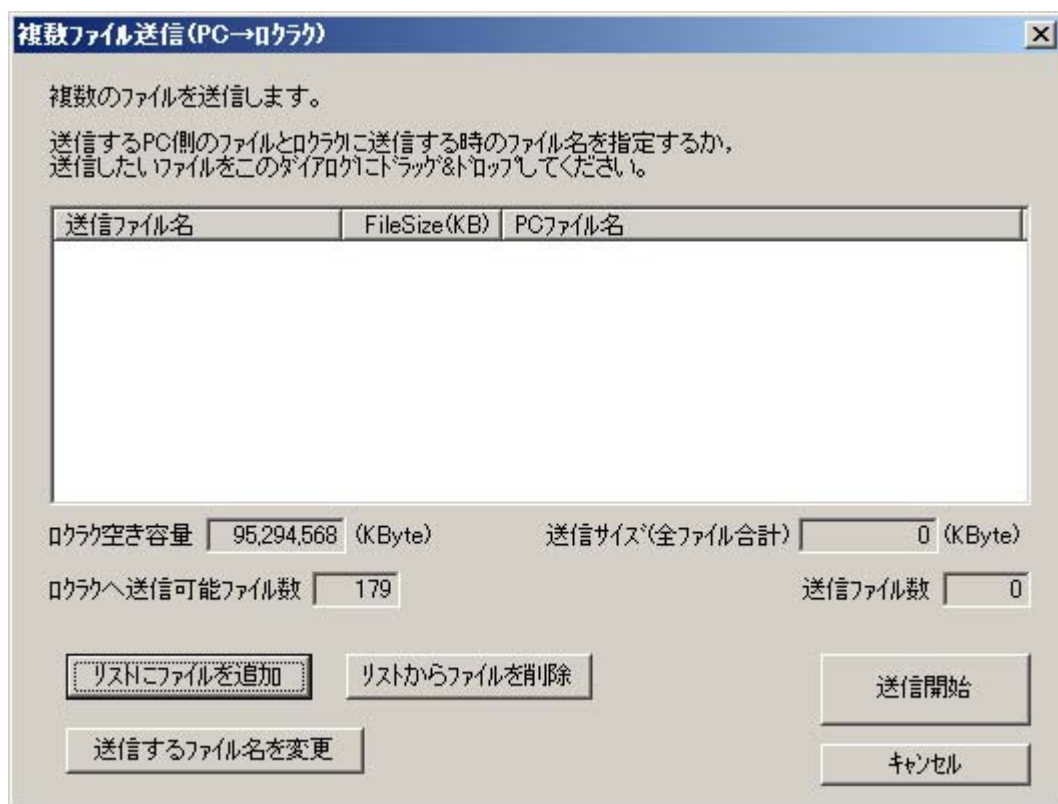


図 41 複数ファイル送信ダイアログ

2. 送信するファイルを選択します。

送信するファイルは、ダイアログ中央のリストに表示されます。送信するファイルを選択すると、このリストに送信した時「ロクラク」に保存するファイル名、ファイルサイズ、送信する PC のファイル名が追加されます。この時に、デフォルトの「ロクラク」に保存するファイル名は、PC のファイル名(拡張子「.m2t」をとったもの)になります。もし、同名のファイルが存在する場合には、確認メッセージが表示されます¹⁸。また、修復可能な(受信時に途中中断したなど)のファイルは、修復するかどうかの確認メッセージが表示されます¹⁹。

○ 送信リストへの追加方法

(1) 【リストにファイルを追加】ボタンを押して追加する

【リストにファイルを追加】ボタンを押すと、「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。このダイアログから、送信したいファイルを選び、「開く」ボタンを押してください。このダイアログはファイルの複数選択が可能です²⁰。

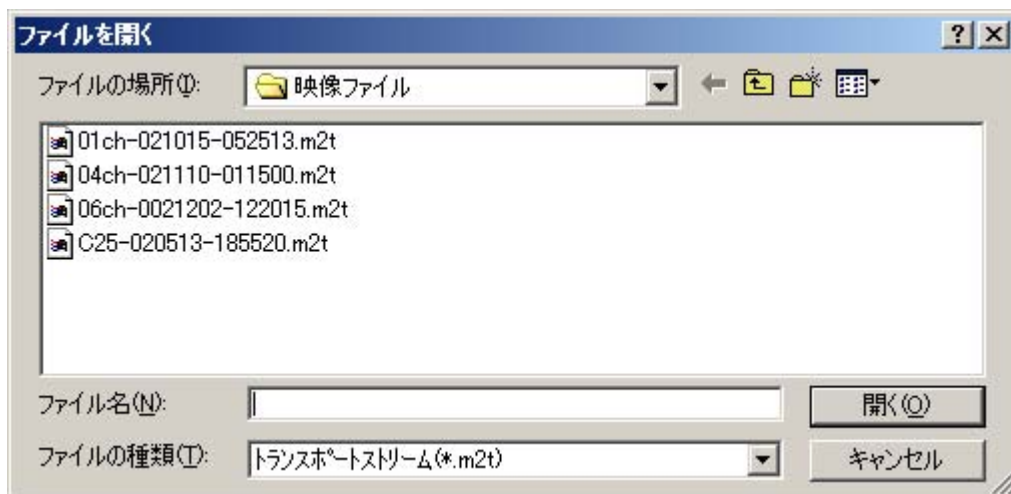


図 42 ファイル選択ダイアログ

¹⁸ 同名のファイルが存在する時は「上書き」を指定できます。この上書きは、転送前に「ロクラク」に存在するファイルを一旦削除してから転送を開始します。このため、上書き転送中に【中断】ボタンを押されると、そのファイルを削除したような結果になります。これは、「ロクラク」側では転送中断したファイルは再生できないので削除するためです。「上書き転送」でのファイル中断はくれぐれも注意してください。

¹⁹ 「修復する」を選択すると、送信リストに追加する前に修復を行います。修復中にキャンセルすると送信リストには追加されません(送信できません)。

²⁰ 「ファイルを開く」ダイアログで、複数のファイルを選択するには、マウスで操作する場合、Ctrl キーを押しながら選択したいファイルをクリックすると選択されます。Shift キーを押しながらクリックすると直前にクリックするなどしたファイルから範囲で指定することができます。キーボードで操作する場合は、Ctrl キーを押しながらカーソルキーで移動し、送信したいファイルでスペースキーを押します。Shift キーを押しながらカーソルキーで移動させると範囲が選択されます。これらは、一般的な Windows の操作方法と同じです。

(2) エクスプローラーなどからファイルをドラッグ&ドロップする

エクスプローラなどから、送信したいファイルを選び、ドラッグ&ドロップでこのダイアログ上でマウスを放すと、送信リストに追加することができます。送信が可能なファイルがドラッグされているときは、マウスカーソルの右下に「+」マークが表示されます(送信できないファイルの場合、マウスカーソルは⊖マークになります)。

ドラッグ&ドロップが可能なファイルは拡張子が「m2t」のファイルです。もし、ドラッグされているファイルに「m2t」ファイルがあるものの、他の拡張子のファイルがある場合は、「m2t」ファイルはリストに登録されますが、それ以外のものはメッセージを表示して登録しません。

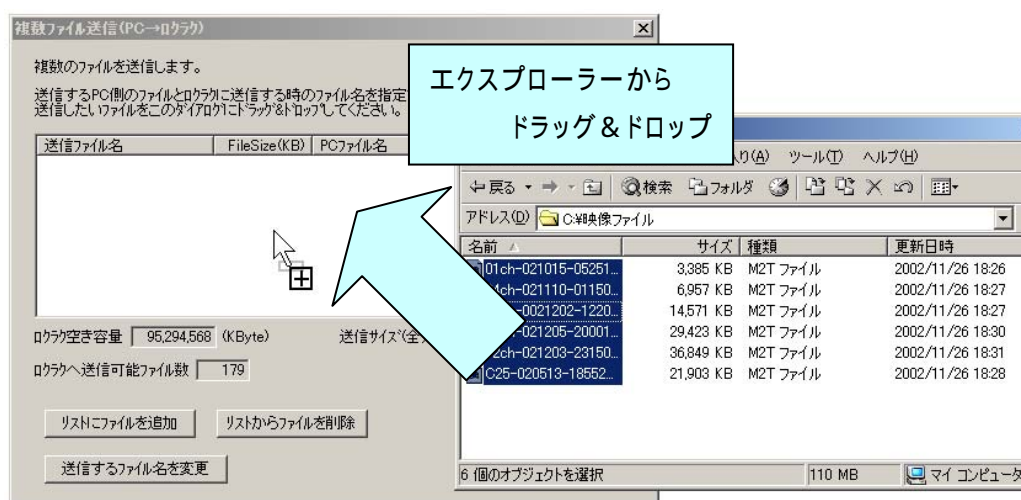


図 43 送信リストのドラッグ&ドロップ

○ 送信リストからの削除方法

削除したいファイルをリストから選択します(複数の選択はできません)。青色に反転したことを確認して、[リストから削除]ボタンを押せばリストから削除されます。

また、メイン画面で選択されているファイルをもう一度クリックすると、選択が解除されます²¹。この時にリストからも選択解除されたファイルは削除されます。キーボードでも、選択されているファイルにカーソルを合わせ、スペースキーを押すことで選択が解除できます。

²¹ メイン画面で選択が解除されたファイルは、黒い点線枠が表示され、サムネイル表示ではタイトルが黒い太字で表示されます。これは、現在のカーソル位置を示しているもので、選択されているという意味ではありません。

○ 送信するファイル名の変更方法

送信リストからの削除と同様に、変更したいファイルをリストから選択して、[送信するファイル名を変更] ボタンを押します。

ボタンを押すと「File Rename」ダイアログが表示されますので、保存したいファイル名を設定²²して「リネーム」ボタンを押してください。このとき、既に「ロクラク」にあるファイル名やリストに追加されているファイル名には変更することができません。

3. 「送信開始」ボタンを押すと、送信を開始します。送信を開始すると、進捗状況を示すダイアログボックスが表示されます。「ロクラク」に転送中は、転送ファイルの総数と現在転送中のファイル名、プログレスバーと%表示による進捗状況、転送が終了するまでの目安の時間が表示されます。この進捗状況と終了するまでの目安は現在転送中のファイルのものと、全体のものとを見ることができます。

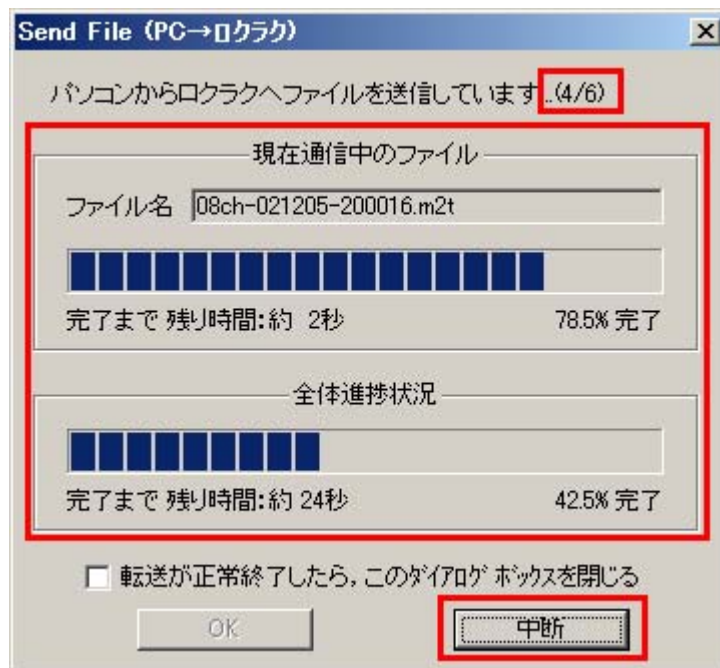


図 44 複数ファイル送信 進捗ダイアログ

4. 中断するときは、[中断] ボタンを押すことで転送を中断します。また、「転送が正常終了したら、このダイアログボックスを閉じる」チェックボックスをチェックしておくと、転送が正常に終了した場合、次の 5. がなくなります。

²² 入力できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、「+」、「-」、「*」、「_ (アンダーバー)」、「. (ピリオド)」、「\$」、「/」で、全て半角文字です。

5. 「ロクラク」への転送が終了すると、ダイアログボックスには完了したというメッセージが表示されます。また、[OK] ボタンが黒色で表示され、選択できるようになります。[OK] ボタンを押すことで、ダイアログボックスが消え、メイン画面を操作できるようになります。

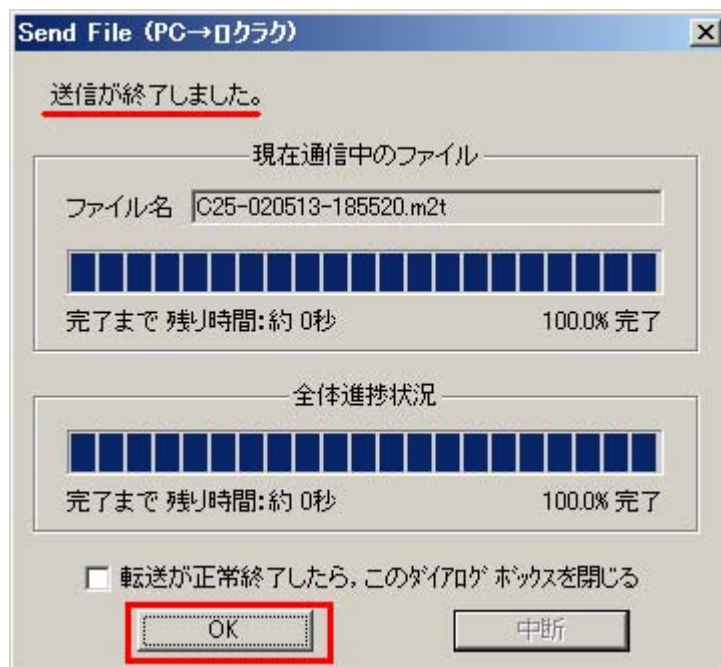


図 45 複数ファイル送信 完了

「ロクラク」から受信したファイルを PC で再生する

「ロクラク」から PC に転送した記録映像ファイルをストリーム(形式)変換し、再生します。この機能を使用するにあたって、「ディレクトリを設定をする」(p.35)にて MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアを設定しておく必要があります。

1. 「パソコン管理」の「PC で再生」メニューを選択します(ツールバーメニューの「PC で再生」や、コンテキストメニューでの「PC で再生」メニューでも同様の操作ができます)。
2. PC にある記録映像ファイルを選択するダイアログが表示されます。再生したいファイルを選び、[開く]ボタンを押します²³。

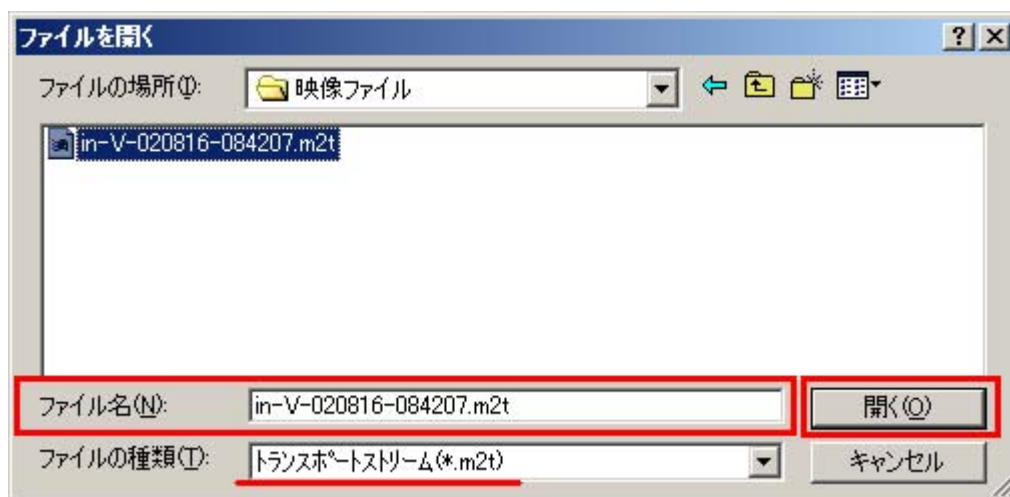


図 46 変換ファイル指定ダイアログ

3. 「ロクラク」記録映像ファイルをストリーム変換します。変換中は、進捗状況を示すダイアログが表示されます。



図 47 ファイル変換 進捗ダイアログ

²³ 既にファイルが存在する場合、「上書きしてもよろしいですか?」というメッセージボックスが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、ストリーム変換したデータをファイルに上書きします。

4. 変換が完了すると、「ディレクトリ設定」で指定されたアプリケーションで再生します。²⁴ ²⁵ ²⁶

²⁴ 「ロクラク」の記録映像ファイルは TS 形式(拡張子 m2t)で、MPEG2 ビデオ再生ソフトウェア用ファイルは PS 形式(拡張子 mpg)です。

²⁵ 再生するファイルの大きさにより、ファイル変換にかかる時間が違います。

²⁶ この機能を実行すると、MPEG2 再生ファイルを作成します。拡張子が[m2t]のファイルとほぼ同じ大きさの拡張子が[mpg]ファイルが作成されますので、PC の空き容量にご注意ください。また、次回 PC からファイルを再生したい場合には、MPEG2 再生アプリケーションから、作成された MPEG2 再生ファイルを直接指定することで再生することができます。作成した MPEG2 ファイルは、受信した TS 形式ファイルと同じフォルダの中にあります。

「ロクラク」から受信中断したファイルを修復する

「ロクラク」からPCへの受信機能を用いて受信したファイルの中で、受信中に中断したファイル(破損ファイルと呼びます)は、「ロクラク」でそのままでは再生できないため、このようなファイルをPCから「ロクラク」に送信することはできません。しかし、この機能を使うことによって、破損ファイルを探して、「ロクラク」で再生可能になるように修復をすることができます。

1. 「パソコン管理」の「破損ファイル修復」メニューを選択します。
2. メニューを選択すると、まず、破損ファイルを検査するフォルダを指定します。このフォルダに含まれるロクラク用映像記録ファイルを検査して、破損ファイルがあるかないかを検査します。この時、指定したフォルダの中にさらにフォルダが含まれている場合、そのフォルダの中も検査するかを指定できます。検査する場合は「指定フォルダに含まれる全てのフォルダを検査する」チェックボックスをチェックしてください²⁷。

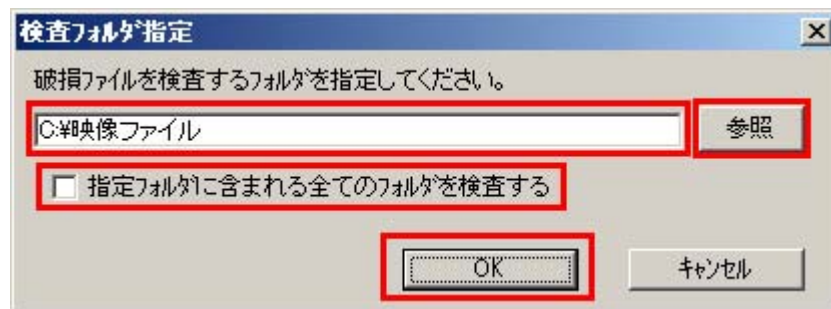


図 48 監査フォルダ指定ダイアログ

3. 「OK」ボタンを押すと、以下のようなダイアログが表示されます。この時、まず拡張子が「.m2t」のファイルを探します。「.m2t」ファイルがない場合は、メッセージが表示されてメイン画面に戻ります。



図 49 TS 形式ファイル(拡張子「.m2t」)なし

²⁷ 例えば、C:\My Documents\Rokuraku フォルダの中に、Sports フォルダと Music フォルダが存在する場合、「指定フォルダに含まれる全てのフォルダを検査する」チェックボックスをチェックすると、Rokuraku フォルダの中の拡張子が「.m2t」ファイルの検査に加え、Sports フォルダと Music フォルダも検査を行います。チェックボックスをチェックしないと、Rokuraku フォルダの中は検査しますが、Sports フォルダや Music フォルダなどのフォルダは検査しません。

4. 3.で探した「.m2t」拡張子のファイルの中で、「ロクラク」に送ることができない破損ファイルを探します。破損ファイルが無い場合、メッセージが表示されてメイン画面に戻ります。



図 50 破損ファイルなし

5. 4.で探した破損ファイルの中で、修復が可能なファイルを探します。修復できるファイルがない場合は、メッセージが表示されてメイン画面に戻ります。



図 51 修復可能ファイルなし

6. 修復可能ファイルが「修復可能ファイル」リストに表示されます。この中で、修復したいファイルをリストから選択して[選択したファイルを修復]ボタンを押すと、選択したファイルのみを修復します。[全て修復]ボタンを押すと、リストに表示されているファイルを全て修復します。また、これまでに「修復可能ファイル検出後、確認せずに全て修復する」チェックボックスをチェックしておくと、これらのボタンを押さずに修復を行います。

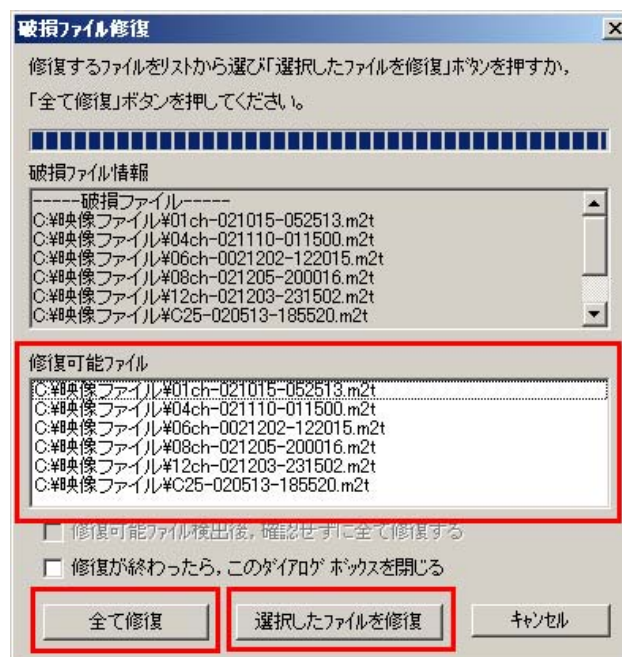


図 52 修復ファイル選択

7. 修復が完了すると、完了したメッセージが表示されます。ただし、「修復が正常終了したらこのダイアログボックスを閉じる」チェックボックスをチェックしておいた場合は表示されずにメイン画面に戻ります。



図 53 修復完了メッセージ

ロクラク リモートコントローラで「ロクラク」ファイルを再生する

ロクラク リモートコントローラでは、再生やトリック再生が、1 つのダイアログにまとまった「ロクラク リモートコントローラ」で行うことができます。ここでは、この「ロクラク リモートコントローラ」ダイアログの使い方を記載します。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

この機能を使用するときは、「ロクラク」のビデオ出力端子とテレビ・モニタを接続した上で、操作してください。

「ロクラク リモートコントローラ」は、再生・停止・早送りなどの、ロクラクのリモート操作に特化したダイアログです。このダイアログは、メインウィンドウと連動します。メインウィンドウでファイルを選択した場合、「ロクラク リモートコントローラ」でリモートコントロールするファイルは選択されたファイルに変更されます。また、「ロクラク リモートコントローラ」で選択ファイルを変更することができますが、この時はメインウィンドウの選択ファイルが変更されます。

メインウィンドウを最小化しても、「ロクラク リモートコントローラ」と一緒に最小化されることはありません。そのため、「ロクラク リモートコントローラ」だけを画面に表示させることが可能です。この「ロクラク リモートコントローラ」は、常に手前に表示されるようになっています。

1. ロクラク リモートコントローラの表示の仕方

「ロクラク リモートコントローラ」を表示するには、「ロクラク操作」の「リモコン表示」メニューを選択します(ツールバーメニューの「リモコン表示」や、コンテキストメニューでの「リモコン表示」メニューでも同様の操作ができます)。

2. ロクラク リモートコントローラの各ボタンの機能

「ロクラク リモートコントローラ」を表示させると、次の画面が表示されます。この画面のボタンを押すことで、「ロクラク」の再生・録画・停止などの操作を行うことができます。以下に、「ロクラク リモートコントローラ」の各ボタンの機能を記載します。

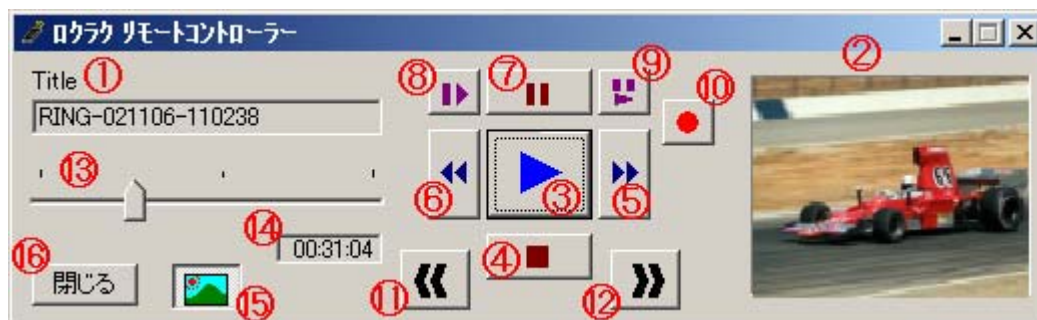


図 54 ロクラク リモートコントローラ

現在選択されている、リモート制御するファイル名が表示されます。

現在選択されている、リモート制御するファイルのサムネイル画像が表示されます。

「再生」ボタンです。選択されている記録映像ファイルを「ロクラク」で再生します。また、トリックモード再生中の場合は、ノーマル再生に戻すために使用します。

「停止」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルの再生あるいは録画を停止します。

「早送り」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの早送り再生をします。

「巻戻し」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの巻戻し再生をします。

「一時停止」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの一時停止をします。一時停止中に再度このボタンを押すとコマ送りをします。「再生」ボタンを押すと、一時停止した続きの映像から再生します。

「スロー」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルのスロー再生をします。

「スチル」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの一時停止映像を表示します。「再生」ボタンをクリックすると、スチルした時間だけ後の映像から再生表示します。

「録画」ボタンです。「ロクラク」に外部入力で接続された映像機器からの入力映像を録画します。

メインウィンドウで1つ前に表示されているファイルに選択ファイルを変更します。

メインウィンドウで1つ後に表示されているファイルに選択ファイルを変更します。

再生中の経過時間を表すゲージです。再生前にスライドバーを移動させると、再生開始位置を変更することができます。また、再生中にスライドバーをドラッグすると、再生位置を変更することもできます。

再生経過時間、または、スライドバーで選択されている時間を表示します。

サムネイル画像の表示/非表示を切り替えることができます。

「ロクラク リモートコントローラ」ダイアログを終了します。

3. 「ロクラク」のファイルを再生する

【再生】ボタンを押すと、再生が開始されます。停止する時は【停止】ボタンを押してください。また、再生前にスライダーを動かして、再生開始位置を指定することができます。

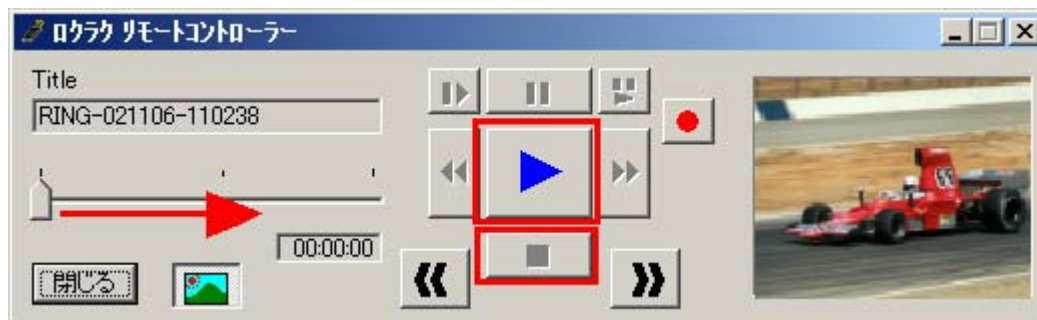


図 55 再生と停止

4. 「ロクラク」のファイルをトリック再生する²⁸

再生中は、【再生】、【早送り】、【巻戻し】、【スロー】、【スチル】、【一時停止】ボタンを使うことによって、いろいろな速度で再生を楽しむことができます。【早送り】、【巻戻し】、【スロー】、【スチル】、【一時停止】で変化させた再生速度は、【再生】ボタンで通常のスピードで再生します。また、再生中にスライドバーのつまみをクリックすると、その位置で再生ファイルは一時停止をします。さらに、ドラッグをして再生したい位置にスライドバーのつまみを移動させ、マウスのボタンを離すと、そこから再生を開始することもできます。

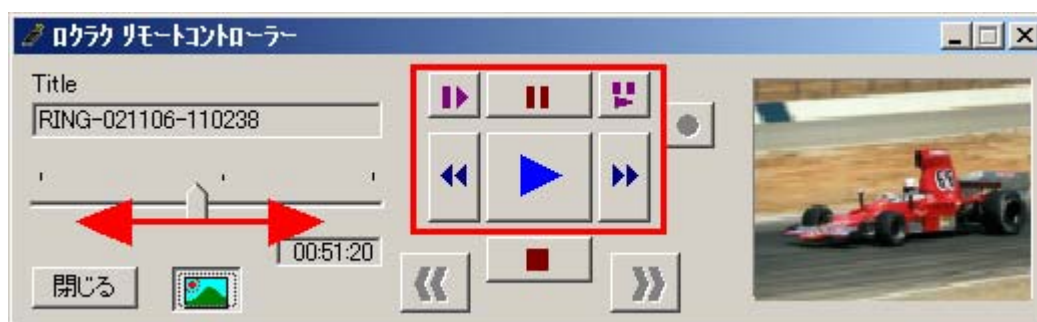


図 56 トリック再生

²⁸ 【早送り】、【巻戻し】は選択するごとに 2 倍の速さになり、最大 999 倍速までです。【スロー】は選択するごとに 1/2 倍の速さになり、最大 1/32 倍速までです。【スチル】は、表示映像は同じ場面が繰り返し表示されていますが、画面の経過時間は更新しつづけます。

5. リモート操作する「ロクラク」のファイルを変更する

「ロクラク リモートコントローラ」でリモート制御するファイルを変更することができます。変更される順番はメインウィンドウで表示されている順番です。

再生・録画の停止中に、【前のファイル】、【次のファイル】ボタンを押すと、タイトル名とサムネイルが変更されます。この2つのボタンで再生したいファイルを選択して下さい。

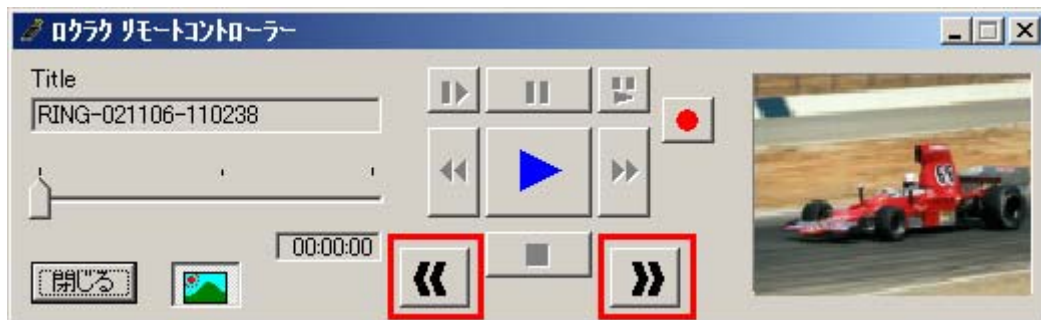


図 57 リモート操作するファイル変更

6. 「ロクラク」に録画をする

「ロクラク」の外部入力(Sビデオ/ビデオ端子)からの映像を「ロクラク」に録画します。

- a. 「ロクラク リモートコントローラ」から、【録画】ボタンをクリックします。

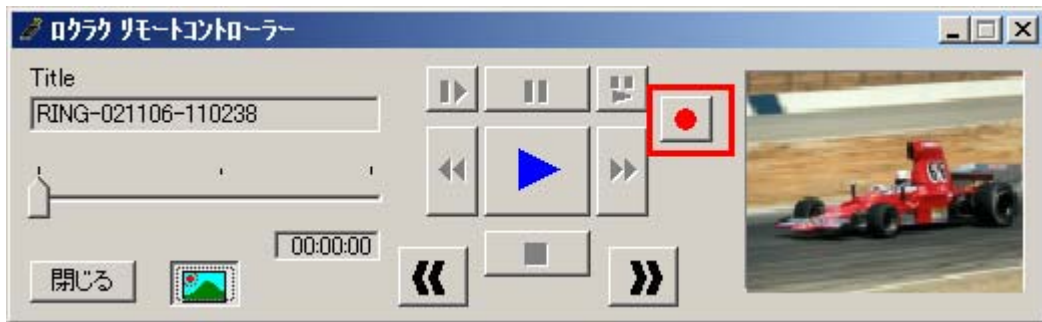


図 58 外部入力映像の録画

- b. 【録画】ボタンをクリックすると、録画設定ダイアログが表示されます²⁹。

- c. 【録画ファイル名】を入力します³⁰。

【録画ファイル名】は 31 文字までで空白、既に「ロクラク」に保存されているファイル名は入力できません。入力できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、「+」、「-」、「*」、「_」（アンダーバー）、「.」（ピリオド）、「\$」、「/」で、すべて半角文字です。

- d. 録画したい時間が決まっている場合には、【録画時間】の設定をします。録画時間を設定せずに 0 秒とした場合には、【停止】ボタンを押すまで録画します。



図 59 録画設定ダイアログ ファイル名と録画時間設定

²⁹ メインウィンドウ側に録画設定ダイアログが表示されます。

³⁰ 録画設定ダイアログを表示した時に最初に表示されている録画ファイル名は、「NewRecord-yyyymmdd-hhmm」（yyyymmdd は西暦年月日、hhmm は録画設定ダイアログを表示させた時間）です。「ロクラク」に登録できるファイル名であれば、好きなファイル名に変更して録画することができます。

e. [ビットレート]の設定をします。

初期値は CBR 6Mbps です。その他のビットレートで録画したい場合は、コンボ・ボックスからお好みのビットレートを選択して下さい³¹。

コンボ・ボックスは、「▼」ボタンをクリックすると、選択できるリストが、表示されます。その中から、お好みのビットレートを選択して下さい。



図 60 ビットレート選択

f. [録画解像度]の設定をします。

初期値は「標準」です。その他の解像度で録画したい時は、コンボ・ボックスからお好みの解像度を選択して下さい。

標準	: 720 × 480 画素
1 / 2	: 352 × 240 画素
1 / 4	: 176 × 112 画素



図 61 録画解像度選択

³¹ VBR の場合、常にビットレートは変化しますが、ここで指定した値を平均値として録画を行います。ただし、可変するビットレートの最大値は 12Mbps です。

- g. [入力ポート]を選択します³²。

録画する映像入力を「S 端子」あるいは「ビデオ」入力端子から選択して下さい。

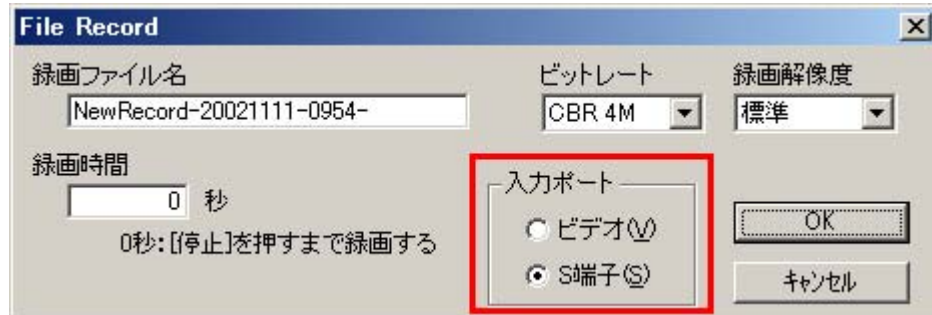


図 62 入力ポート選択

- h. [OK] ボタンをクリックすると、録画を開始します³³。

録画が開始されると、「ロクラク リモートコントローラ」のタイトル名表示が、録画中のファイル名となり、サムネイル画像が表示されなくなります。また、「ロクラク」をリモート操作するボタンのうち、[停止] ボタン以外はすべて選択できないようになります。

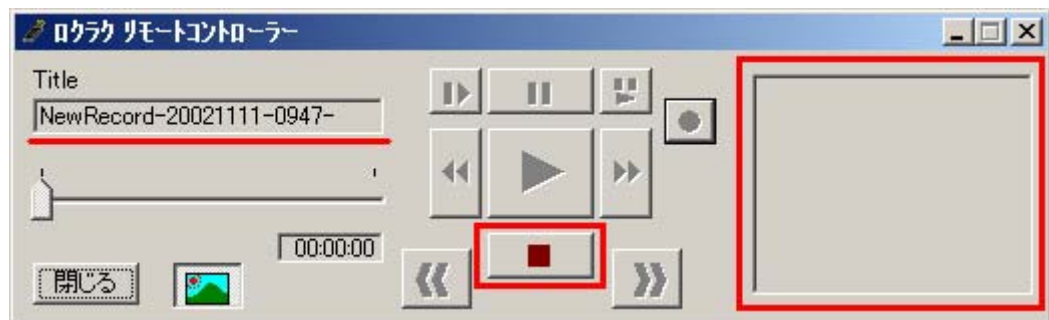


図 63 録画中のロクラク リモートコントローラ

³² 映像信号の自動検出は行いません。入力を間違えないようにご注意ください。

³³ [録画時間]を 0 秒に設定した場合、[停止] ボタンを押すまで録画を続けます(録画停止をお忘れないようにご注意ください)。

「ロクラク」のファイル名を変更する

「ロクラク」に保存されている任意の記録映像ファイルのファイル名を変更することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

また、ファイルに保護設定(ロック)がされているファイルはファイル名を変更することができません。(保護設定については p.68 をご覧下さい)

1. 名前を変更したいファイルを選択した上で、「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「リネーム」メニューを選択します(ツールバーメニューの「リネーム」や、コンテキストメニューでの「リネーム」メニューでも同様の操作ができます)。
2. 変更後の新しいファイル名を入力します。
新しいファイル名は 31 文字までで空白、既に「ロクラク」に保存されているファイル名は入力できません。入力できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、「+」、「-」、「*」、「_」(アンダーバー)、「.(ピリオド)」、「\$」、「/」で、すべて半角文字です。
3. [リネーム] ボタンを押すと、リネームされます。

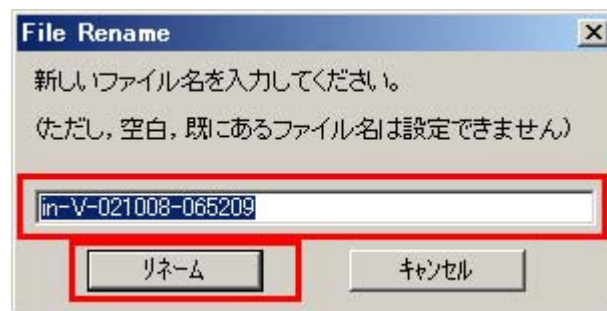


図 64 リネームダイアログ

「ロクラク」のファイルの保護設定を変更する

「ロクラク」に保存されている任意の記録映像ファイルの保護設定を変更することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

1. 保護設定の変更をしたいファイルを選択した上で、「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「ロック」メニューを選択します(ツールバーメニューの「ロック」や、コンテキストメニューでの「ロック」メニューでも同様の操作ができます)。
2. 保護が設定されている(ロックされている)場合は、保護(ロック)を解除し、保護が設定されていない場合は、保護を設定します(ロックします)。

保護設定がされている場合、メニューの「ロック」の頭に、「✓」マークが付いています。また、ツールバーでは、「ロック」のボタンがへこんだ状態になっています。



図 65 ロック設定状態

保護設定がされていない場合は、メニューの「ロック」の頭には何も表示されません。また、ツールバーでは、「ロック」のボタンは他のボタンと同じような状態(へこんでいない状態)で表示されます。

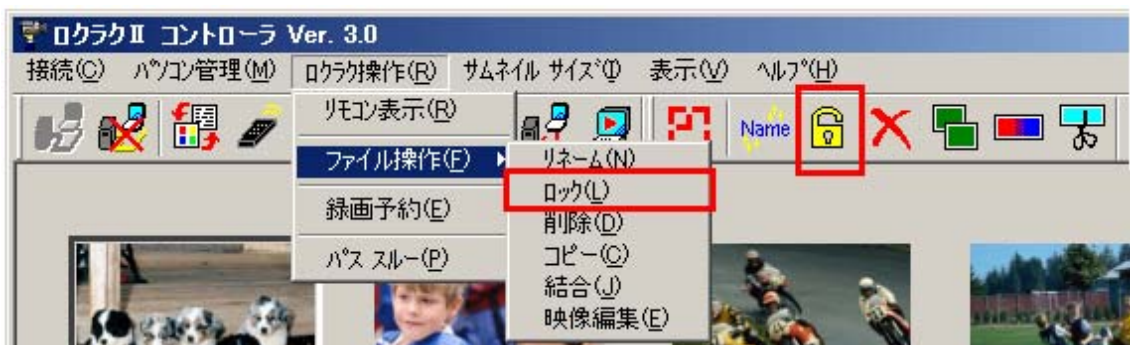


図 66 ロック未設定状態

「ロクラク」のファイルを削除する

「ロクラク」に保存されている任意の記録映像ファイルを削除することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

また、ファイルに保護設定(ロック)がされているファイルは削除することができません。(保護設定については p.68 をご覧下さい)

1. 削除したいファイルを選択した上で、「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「削除」メニューを選択します(ツールバーメニューの「削除」や、コンテキストメニューでの「削除」メニューでも同様の操作ができます)。
2. 「[削除するファイル名]を本当に削除して宜しいですか?」という確認メッセージボックスが表示されます。
3. 本当に削除する場合は、【OK】を、削除しない場合には【キャンセル】をクリックしてください。

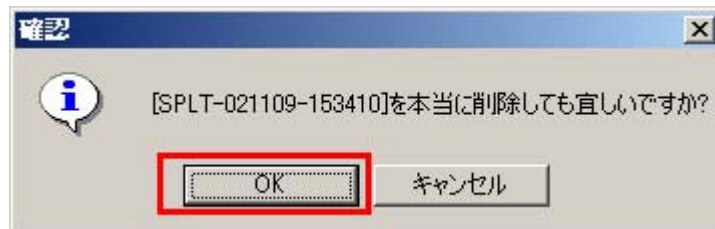


図 67 削除確認メッセージ

「ロクラク」のファイルをコピーする

「ロクラク」に保存されている任意の記録映像ファイルのコピーを「ロクラク」内に作成することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

コピー中は、ロクラク・コントローラ、ロクラク本体の操作が共にできませんので、注意してください。

1. コピーしたいファイルを選択した上で、「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「コピー」メニューを選択します(ツールバーメニューの「コピー」や、コンテキストメニューでの「コピー」メニューでも同様の操作ができます)。
2. コピーを行うことによって、新しく作成されるファイルの名前を設定するダイアログが表示されます。ファイル名を入力して³⁴、【コピー作成】ボタンを押してください。

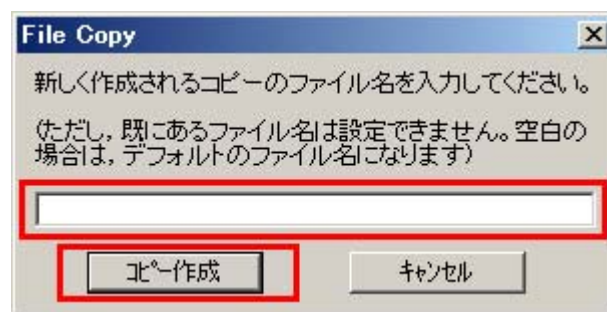


図 68 コピーファイルの名前入力

3. コピーが開始されると、進捗状況を表示するダイアログが表示されます。完了するまでお待ちください。
4. 完了すると、「ファイルのコピーが完了しました」というメッセージが表示されます。【OK】ボタンを押してください。

³⁴ ファイル名は 31 文字まで、既に「ロクラク」に保存されているファイル名は入力できません。入力できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、「+」、「-」、「*」、「_」(アンダーバー)、「.」(ピリオド)、「\$」、「/」で、すべて半角文字です。空白(指定しない)場合は、「ロクラク」本体でコピーを行った時に付けられるタイトル名「COPY-XXXXXX-XXXXXX」(X は数字)が新しく作成されるファイルの名前になります。



図 69 ファイルコピー 進捗状態ダイアログ

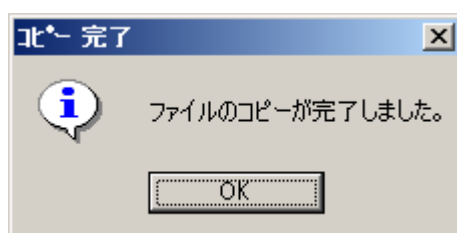


図 70 ファイルコピー 完了メッセージ

「ロクラク」の2つのファイルを結合する

「ロクラク」に保存されている任意の記録映像ファイル2つを結合させることができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

また、ファイルに保護設定(ロック)がされているファイルは結合させることができません。(保護設定については p.68 をご覧下さい)

1. 結合する時、前になるファイルを選択した上で、「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「結合」メニューを選択します(ツールバーメニューの「結合」や、コンテキストメニューでの「結合」メニューでも同様の操作ができます)。
2. メニューを選択すると、ファイル結合ダイアログが表示されます³⁵。ダイアログの上側のファイル情報が、結合する時に前になるファイル情報です(「結合」メニューを選んだ時に選択されていたファイルです)。

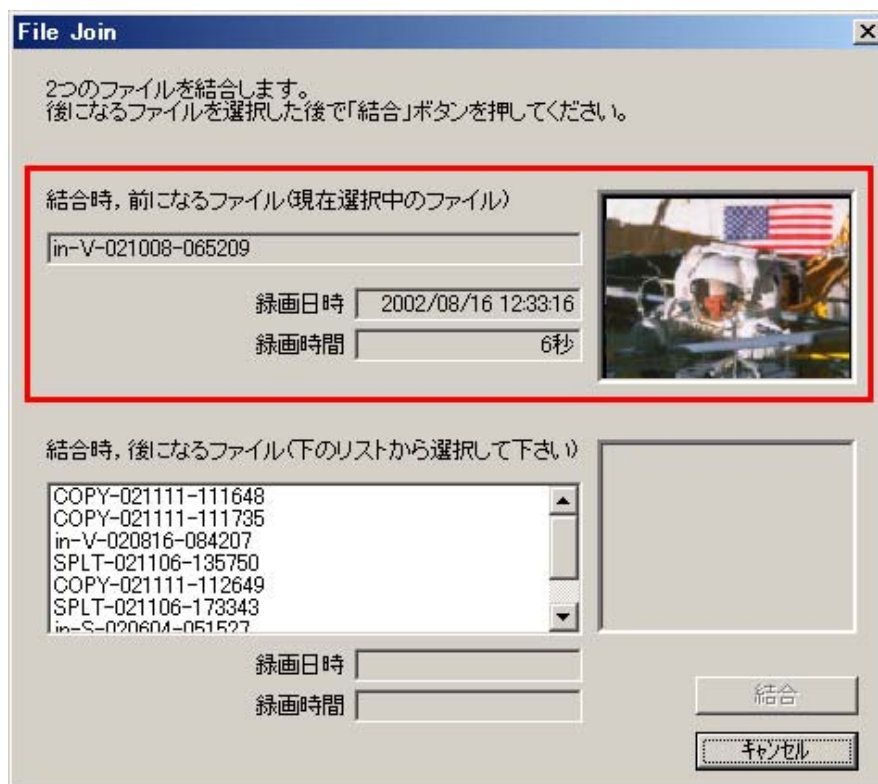


図 71 ファイル結合ダイアログ

³⁵ 結合は、保護設定されていない(ロックがかかっていない)記録映像ファイル2つを結合します。もし、「ロクラク」に結合可能なファイルが無い場合は、エラーメッセージが表示されて結合を行うことができません。

3. ファイル結合ダイアログの下側には、結合可能なファイルのリストが表示されます³⁶。この中から、結合したいファイルを選んで、【結合】ボタンを押してください。

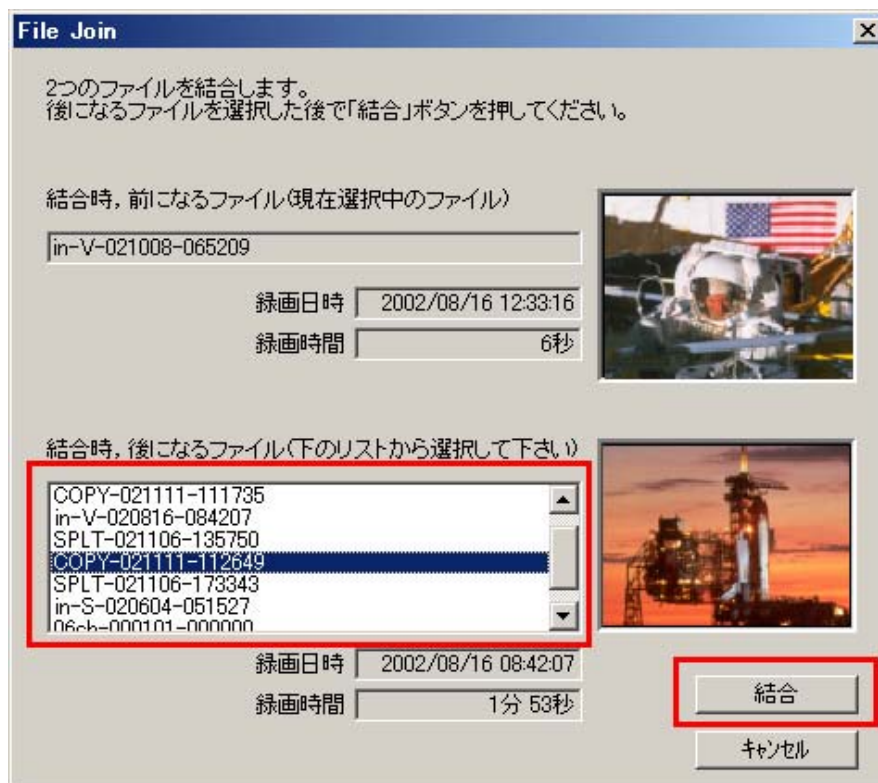


図 72 ファイル結合 後ろにくるファイル選択

4. 結合が完了すると、「ファイルの結合が完了しました」というメッセージが表示されます。【OK】ボタンを押してください。

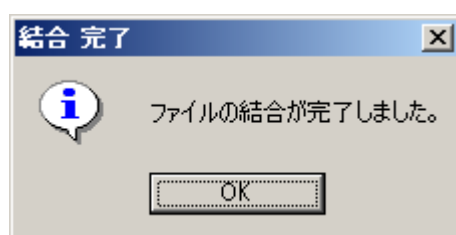


図 73 ファイル結合 完了

³⁶ 保護設定(ロック)されているファイルはリストに表示されません。結合したいファイルがリストの中に無い場合は、一旦【キャンセル】をして、結合したいファイルに保護設定がされていないか確認をしてください。

「ロクラク」のファイルを編集する

「ロクラク」に保存されている任意の記録映像ファイルの切詰、分割、部分削除(カット)、部分移動、複数分割を行うことができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

また、ファイルに保護設定(ロック)がされているファイルは編集することができません。(保護設定については p.68 をご覧下さい)

編集する位置を設定するために、ファイルの再生やトリック再生を行うことができます。この機能を利用するためには、「ロクラク」のビデオ出力端子とテレビ・モニタの接続して、操作してください。

1. ファイル編集ダイアログの表示の仕方

映像を編集したいファイルを選択した上で、「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「映像編集」メニューを選択します(ツールバーメニューの「映像編集」や、コンテキストメニューでの「映像編集」メニューでも同様の操作ができます)。

ファイル編集ダイアログが表示されると、選択された映像ファイルのマーカー情報を取得して、その位置の画像データを順番に「ロクラク」から取得します³⁷。画像データを取得している間は、映像ファイルの再生や停止、マーカー位置の設定はできません。



図 74 ファイル編集ダイアログ 画像データ取得中

切詰・分割・指定範囲削除・指定範囲移動、マーカー全削除に関しては、画像取得中でも行うことができます。詳しくは、それぞれの説明をお読みください。

³⁷ マーカー情報が設定されていない記録映像ファイルの場合、画像が何も表示されませんが、エラーではありません。

2. ファイル編集ダイアログの各ボタンの意味

ファイル編集ダイアログを表示させると、次の画面が表示されます。この画面のボタンを押すことで、「ロクラク」のファイル編集を行うことができます。以下に、ファイル編集ダイアログの各ボタンの機能を記載します。



図 75 ファイル編集ダイアログ

編集を行うファイル名が表示されます。

マーカーが設定された時間ごとの画像が表示されます。

「再生」ボタンです。選択されている記録映像ファイルを「ロクラク」で再生します。また、トリックモード再生中の場合は、ノーマル再生に戻すために使用します。

「早送り」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの早送り再生をします。

「巻戻し」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの巻戻し再生をします。

「一時停止」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルの一時停止をします。一時停止中に再度このボタンを押すとコマ送りをします。「再生」ボタンを押すと、一時停止した続きの映像から再生します。

「スロー」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルのスロー再生をします。

「停止」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルの再生あるいは録画を停止します。

「マーカー」ボタンです。「ロクラク」で再生中の記録映像ファイルにマーカーを設定します。

再生中の経過時間を表すゲージです。再生前にスライドバーを移動させると、再生開始位置を変更することができます。また、再生中にスライドバーをドラッグすると、再生位置を変更することもできます。

再生経過時間、または、スライドバーで選択されている時間を表示します。

「マーカー全削除」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルに記録されているマーカー情報を全て削除します。

「マーカー削除」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルに記録されているマーカー情報の1つを削除します。

「マーカー設定」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルに新しくマーカーを設定します。

「切詰」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルに、選択されたマーカー位置以降の映像を切り捨てます。

「分割」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルに、選択されたマーカー位置で2つの記録映像ファイルに分割します。

「指定範囲削除」ボタンです。「ロクラク」の記録映像ファイルに、選択された範囲の記録映像ファイルを消去します。

「マーカー位置全分割」ボタンです。現在設定されているマーカーの位置全てでファイルを分割します。

「閉じる」ボタンです。ファイル編集ダイアログを終了します。

また、コンテキストメニューを利用できます。任意の場所でマウスを右クリックした場合、その時に操作できるメニューが表示されます。その時に表示されるメニューは、ダイアログ上でボタンを押した時と同様に機能します。

時間ごとの画像表示は、時間が表示されているすぐ下にその時間の画像が表示されます。下図の場合は、0分0秒、1分0秒、2分0秒の画像が表示されています。



図 76 画像に対する時間

3. マーカーの選択方法

ファイル編集ダイアログでは、切詰や分割、指定範囲削除の位置を決めるために、注目したい位置をピックアップすることができます。この位置のことを、マーカーと呼びます³⁸。このマーカーを利用して、切詰や分割の位置を決めたり、指定範囲の削除や移動を行ったりします。

マーカーの選択状態には 1 つのマーカーを選択している状態と、2 つ以上のマーカーの間を選択している状態があります。ここでは、この 2 つの選択について、選択方法を説明します。

a. 1 つのマーカーを選択する方法

選択したいマーカー位置の画像をクリックします。クリックすると、時間を表示している部分に赤い線が表示されます。



図 77 単一選択

b. 2 つ以上のマーカーを範囲選択する方法

一方の端になる(先頭位置か終了位置)マーカー位置の画像をクリックします。すると、その位置に赤い線が表示されます。この位置で良かった場合、そのままマウスをドラッグします。ドラッグして、もう一方の端(先頭位置か終了位置)までドラッグします。この時、選択された範囲の背景が反転します。このように反転されている範囲が選択されている範囲を表します。もし、画面に範囲の端になるマーカーが表示されていない時は、表示したい方のダイアログの端にドラッグしているマウスカーソルを動かせば、自動的にスクロールします。

³⁸ 「ロクラク」で使われるマーカーと同じものです。「ロクラク」本体でのマーカーの設定方法は「ロクラク」の取扱説明書をお読みください。「ロクラク」本体と同じマーカーですので、「ロクラク」本体で記録映像をお楽しみいただきながらセットしたマーカーは、ロクラク・コントローラの映像編集において利用することができます。

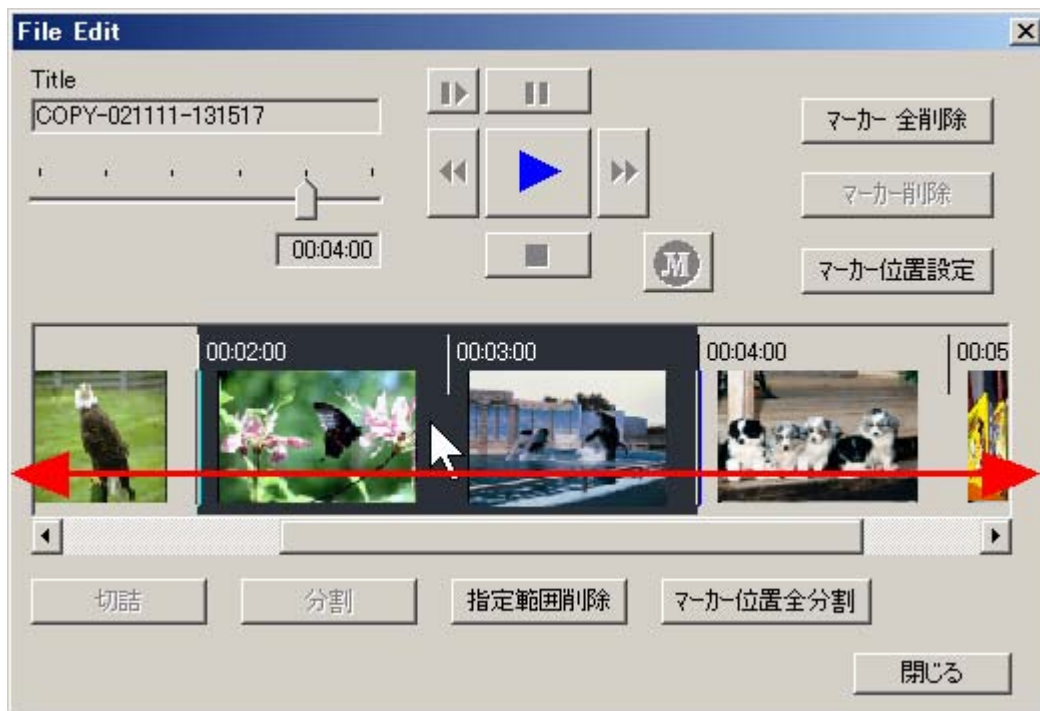


図 78 複数選択

この時、上の図では、2分0秒と4分0秒の間が反転されているので、この範囲が選択されていることを意味します。

4. マーカーの設定方法

ここでは、マーカーの設定方法を説明します。

- 映像ファイルを再生しながら、マーカーをセットする

選択された映像ファイルは、「ロクラク リモートコントローラ(p.60)」と同様に再生・トリック再生・停止などを行うことができます。これらの操作方法は、「ロクラク リモートコントローラ」と同様ですので、操作方法がわからない場合は、そちらをご覧ください。

再生中に【マーカー(M)】ボタンを押すと、その位置にマーカーがセットされます。マーカーがセットされると、「ロクラク」本体ではLED表示(数回、回転するような表示)を行います³⁹。この操作は、トリック再生中でも行うことができます。

記録映像ファイルの再生を停止させると、新しく設定したマーカーの位置を取得し、その位置の画像を表示します。

³⁹ 「ロクラク」のビデオ出力端子とテレビ・モニタを接続している場合で、「ロクラク」本体側でガイド表示をONにしている場合は、「PLAY」や「FAST」などと再生状態を表示する部分(画面左上)に、一瞬「MARK」と表示されず。



図 79 再生中のマーカー設定

- 指定した範囲で等間隔にマーカーをセットする。
再生しながら、マーカーを設定する方法の他に、等間隔で幾つかのマーカーを設定することもできます⁴⁰。
- a. 【マーカー位置設定】ボタンを押すと、マーカー位置設定ダイアログが表示されます。
 - ・「xx:xx:xx を基準にマーカーを設定」と表示されますが、この時間(xx:xx:xx)は、現在のスライドバーの位置です。スライドバーを動かしてから、【マーカー位置設定】ボタンを押すと、この位置を基準としたマーカー設定を行うことができます。
 - ・マーカーの範囲選択(p.77)が行われている状態で【マーカー位置設定】ボタンを押すと、基準の時間(xx:xx:xx と表示される時間)が範囲選択の開始位置が表示され、「xx:xx:xx から yy 秒間」という選択肢の yy の秒数が、範囲選択の開始位置から終了位置までの秒数となって表示されます。
- b. マーカーの設定方法を選択します。
 - ・「ファイル全体にマーカー設定」は、映像の先頭から、映像の最後まで、等間隔にマーカーを設定します。
 - ・「xx:xx:xx を基準にマーカーを設定」の場合は表示されている基準位置からマーカーを設定します。映像の先頭から、映像の最後まで、指定秒数間の 3 種類の方法があります。

⁴⁰ 設定可能なマーカーの数は、「ロクラク」本体と同様で 120 個までです。それ以上のマーカーは設定できません。

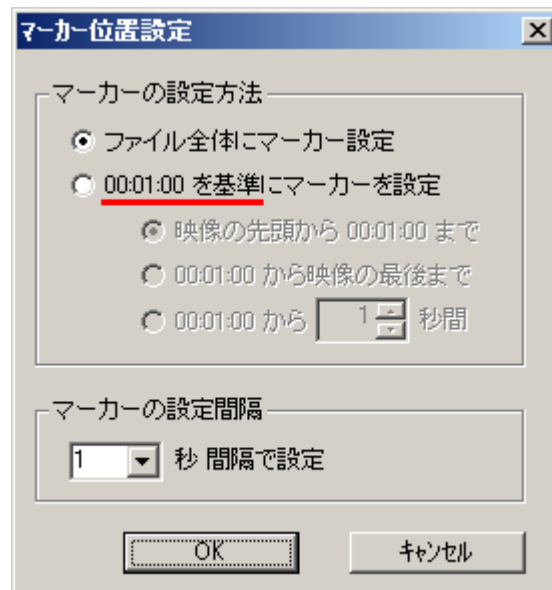


図 80 スライダーを 1 分 00 秒に合わせて [マーカー位置設定] を選択

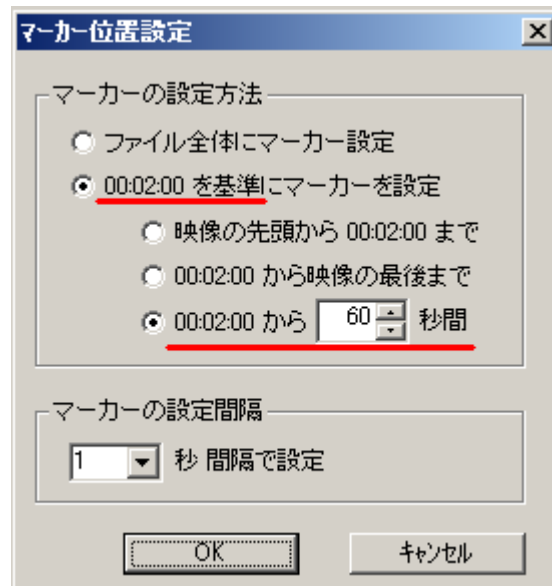


図 81 2 分から 3 分までの範囲を選択して [マーカー位置設定] を選択

- c. マーカーの設定間隔を選択します。

「マーカーの設定間隔」の部分のコンボ・ボックスで設定したい間隔をリストから選択するか、キーボードから設定間隔を入力してください。

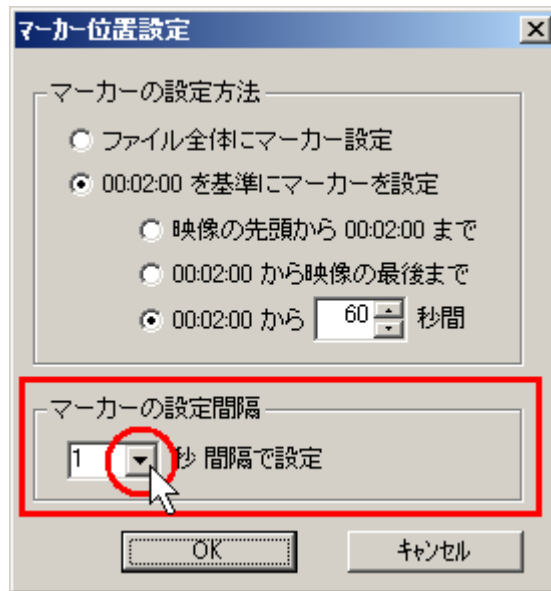


図 82 マーカー設定の間隔

- d. 【OK】ボタンを押します。

ダイアログが消え、指定された間隔でマーカーが設定されます。そして、その位置の画像データを取得・表示します。

ただし、入力値がおかしい場合や、マーカーの設定個数が最大値⁴¹を超えた場合は、メッセージが表示されます。

5. マーカーの削除方法

不要なマーカーは削除することができます。マーカーを削除する方法を説明します。

- 全てのマーカーを削除する場合

【マーカー全削除】ボタンを押してください。映像の先頭である 0 分 0 秒の位置を除く、全てのマーカーが削除されます。

- 1つのマーカーを削除する場合

削除したいマーカーの画像をクリックして選択して下さい(選択すると、赤い線が表示されます)。この時に、【マーカー削除】ボタンを押すと、その位置のマーカーが削除されます。

⁴¹ 1つの記録映像ファイルに対して、マーカーは 120 個設定できます。

6. ファイルの切詰

- a. 切詰めたい位置のマーカースelectionします(p.77)
- b. 【切詰】ボタンを押します。

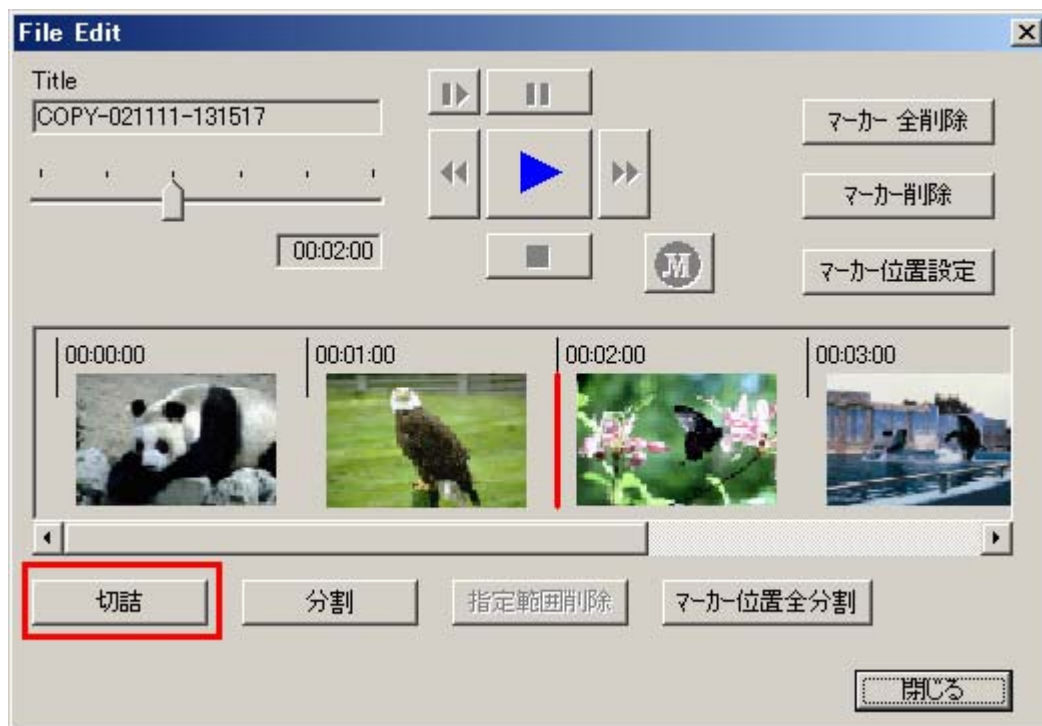


図 83 ファイル切詰

- c. 確認メッセージが表示されますから、確認後【OK】ボタンを押します。

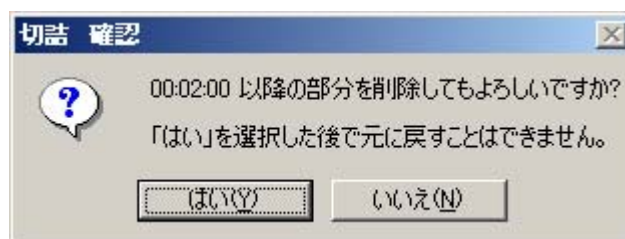


図 84 切詰 確認

- d. 完了すると、メッセージが表示され、ファイル編集ダイアログが終了します。

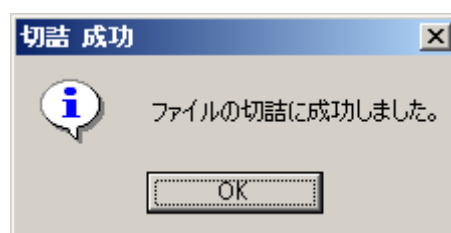


図 85 切詰 成功

7. ファイルの分割

- a. 分割したい位置のマーカーを選択します(p.77)
- b. 【分割】ボタンを押します。



図 86 ファイル分割

- c. 確認メッセージが表示されますから、確認後【OK】ボタンを押します。

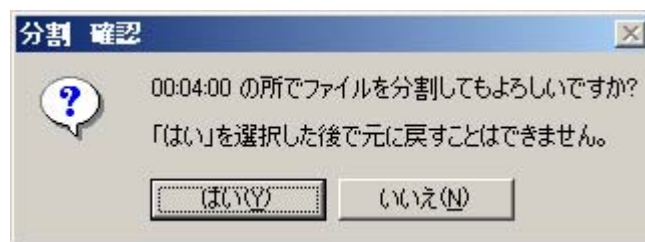


図 87 分割 確認

- d. 完了すると、メッセージが表示され、ファイル編集ダイアログが終了します。分割されたファイルの名前は、「SPLT-XXXXXX-XXXXXX」(X には数字で現在日時)になります。

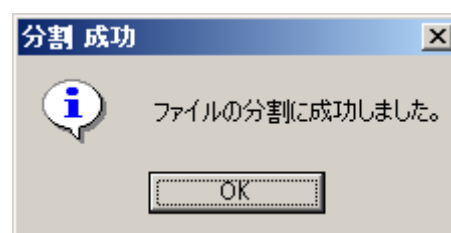


図 88 分割 成功

8. ファイルの指定範囲削除(カット)

- a. 削除したい範囲を選択します(p.77).
- b. 【指定範囲削除】ボタンを押します。



図 89 指定範囲削除

- c. 確認メッセージが表示されますから、確認後 [OK] ボタンを押します。

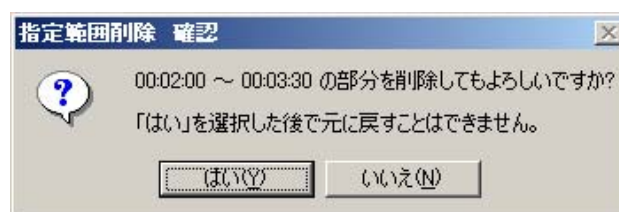


図 90 指定範囲削除 確認

- d. 完了すると⁴²、メッセージが表示されて、削除されたマーカー部分が前詰されて表示されます。

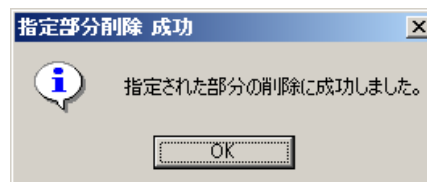


図 91 指定範囲削除 成功

⁴² 「ロクラク」のビデオ出力端子とテレビ・モニタを接続している場合、指定範囲削除中にテレビ・モニタの画面が1回変化して、もとに戻ります。異常ではありません。

9. ファイルの指定範囲移動

- a. 移動したい部分の範囲を選択します(p.77).
- b. 移動先を決めます。まず、選択した範囲(反転している部分)をクリックします。ボタンをそのまま押してドラッグします。
- c. ドラッグすると、マウスのカーソルが変化します。禁止マークの部分へは移動させることができません。



図 92 移動不可能

- d. 「↑」マークになると、選択された位置が黄色い線で表示されます。このマウスカーソルが表示されている位置へは、移動させることができます。



図 93 移動可能

- e. 移動したい位置を決めたら、マウスの左ボタンを離します。離すと確認メッセージが表示されます。確認後、[OK] ボタンを押します。



図 94 指定範囲移動 確認

- f. 完了すると⁴³、メッセージが表示されます。



図 95 指定範囲移動 成功

また、ドラッグ操作をしない方法もあります。移動したい部分の範囲を選択したあと、移動したい位置のマーカーの画像を右クリックすると、その位置に黄色い線が表示され、コンテキストメニュー「ここに移動」が表示されます。このメニューを選択しても、同様の操作を行うことができます。



図 96 右クリックによる移動

⁴³ 「ロケラク」のビデオ出力端子とテレビ・モニタを接続している場合、指定範囲移動中にテレビ・モニタの画面が数回変化して、もとに戻ります。異常ではありません。

10. マーカー位置全分割

映像編集ダイアログで表示されているマーカーの位置全てでファイルを分割します。一定間隔ごとにファイルを分割したい場合や、1 つのファイルでいくつかの場面に分割したい時などに有効です。

- a. 分割したい位置に全てのマーカーをセットします。マーカーの設定方法(p.78)やマーカーの削除方法(p.81)を使用して、分割したい位置を決めてください。
- b. 【マーカー位置全分割】ボタンを押します。



図 97 マーカー位置全分割

- c. 分割の確認メッセージが表示されます。

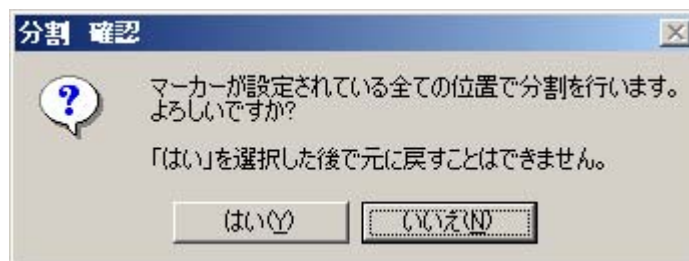


図 98 マーカー位置全分割確認

- d. 【OK】ボタンを押すと、分割が始まります⁴⁴。処理が終了すると、メッセージが表示されます。
【OK】ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

マーカー位置全分割を行うと、「ファイル編集ダイアログ」で表示されているマーカー**全て**⁴⁵を分割しますので、一度マーカーの位置を確認した後に、【マーカー位置全分割】を行うことをお勧めします。

分割中は、ロクラク のビデオ出力端子とテレビ・モニタを接続している場合、分割した回数分、画面が切り替わりますが異常ではありません。分割中は、ロクラク ・コントローラの操作はできません。また、ロクラク 本体のパネルやリモコンを操作しないで下さい。

⁴⁴ 分割後、作成されたファイルは「OldFileName-NNN」(OldFileName は分割前のファイル名、NNN は分割された順番を表す番号(000 から始まります)。例えば、「MyFile」という名前のファイルを 5 つに分割すると、「MyFile-000」から「MyFile-004」までの映像ファイルが出来上がります。また、ファイル名が長い場合は、途中で切り詰められて番号が付けられます。切り詰めた時などに同一のファイル名になる場合は、「-NNN」(N は数字)という番号の前に A ~ Z までのアルファベットが 1 文字または 2 文字付けられます。

⁴⁵ マーカー位置のうち、映像の先頭(0 分 0 秒)と映像の末尾に設定されたマーカーでは分割を行いません。

複数の「ロクラク」のファイルを1つのファイルに結合する

複数の「ロクラク」ファイルを1つのファイルに結合します。映像編集を行った時に、複数に分割したものを1つのファイルにまとめる時などに有効です。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

また、ファイルに保護設定(ロック)がされているファイルは結合させることができません。(保護設定については p.68 をご覧下さい)

1. メニューから「ロクラク操作」の「ファイル操作」の「複数結合」を選択します。選択すると、以下のようなダイアログが表示されます。このダイアログは表示中でもメイン画面を操作することができます。

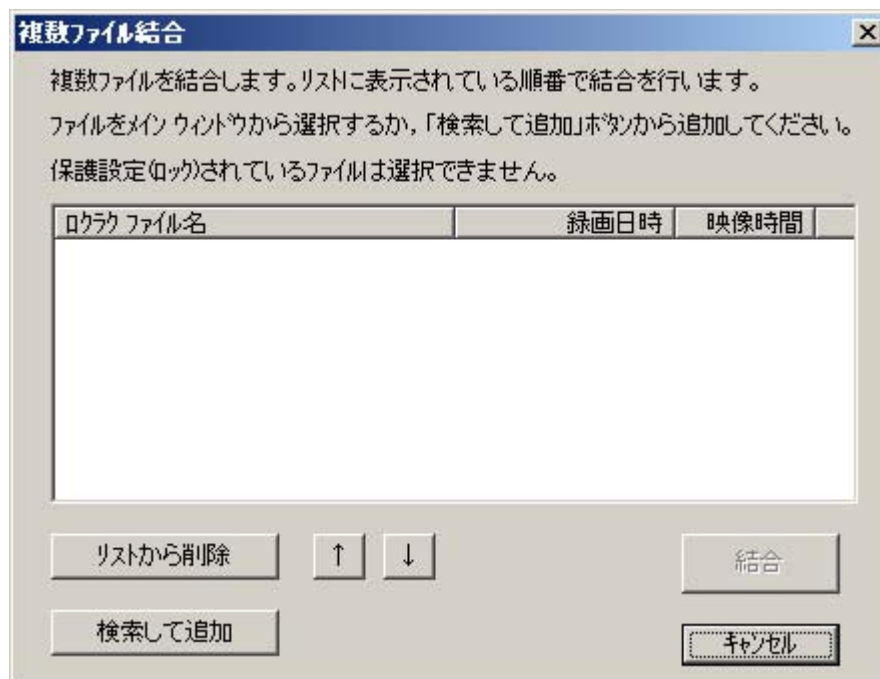


図 99 複数結合ダイアログ

2. 結合するファイルを選択します。

結合するファイルは、ダイアログ中央のリストに表示されます。結合するファイルを選択すると、このリストに「ロクラク」のファイル名、映像時間、録画日時が追加されます。

○ 結合リストへの追加方法

結合リストへの追加方法は 2 つの方法があります。

(1) メインウィンドウから選択する

このダイアログ表示中はメイン画面を操作することができます。このメインウィンドウで、サムネイル又はリストをクリックすると、選択状態に変化します。結合したいファイルをすべて選択状態にしてください。選択状態になったファイルは、このダイアログの結合リストに追加されています。また、メイン画面はキーボードによる操作も行うことができます。カーソルは点線の枠で表示されています。この時、スペースキーを押すことにより、点線枠で囲まれているファイルを選択をすることができます。

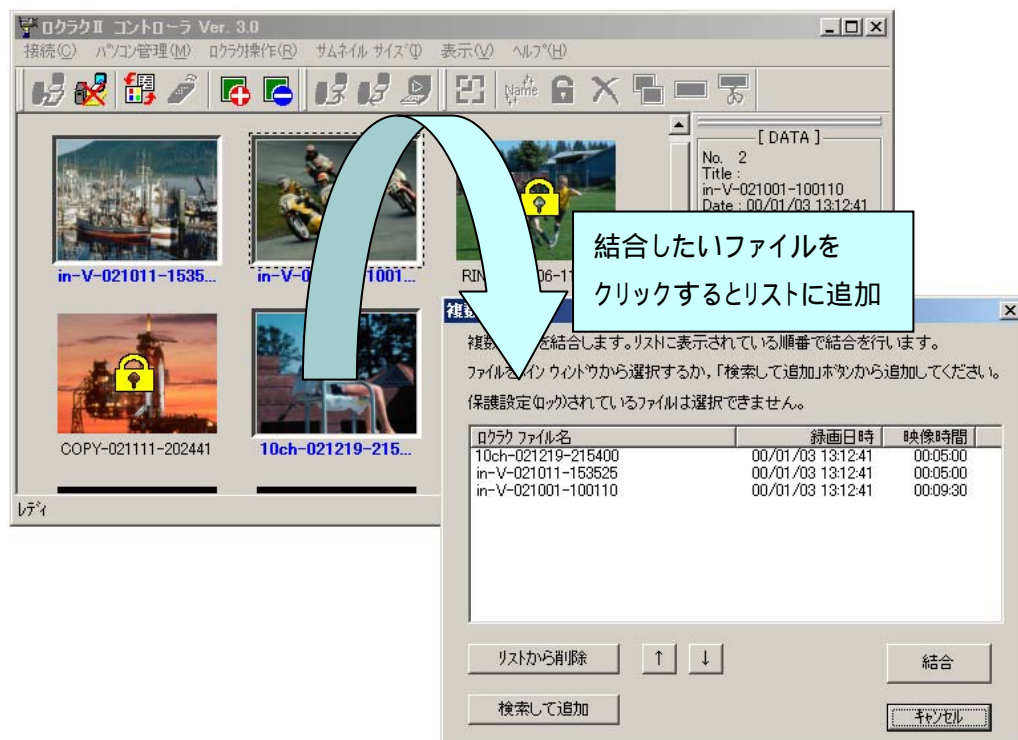


図 100 結合ファイルのメインウィンドウからの選択

この時、保護設定(ロック)されているファイルは結合できません。サムネイル画面では、サムネイル中央にロックを表すマークが表示されます。リスト画面では、Lock 欄に○が付いています。このファイルをクリックするなどして選択しようとしても、選択することはできません。



図 101 サムネイル画面のロックマーク(左) リスト画面のロック欄(右)

(2) 「ロクラク」に保存されているファイルを検索して追加する

このダイアログの[検索して追加]ボタンを押すと、さらに「検索して追加」ダイアログが表示されます。検索したい項目の左側にあるチェックボックスをチェックして、検索する項目を指定してください。

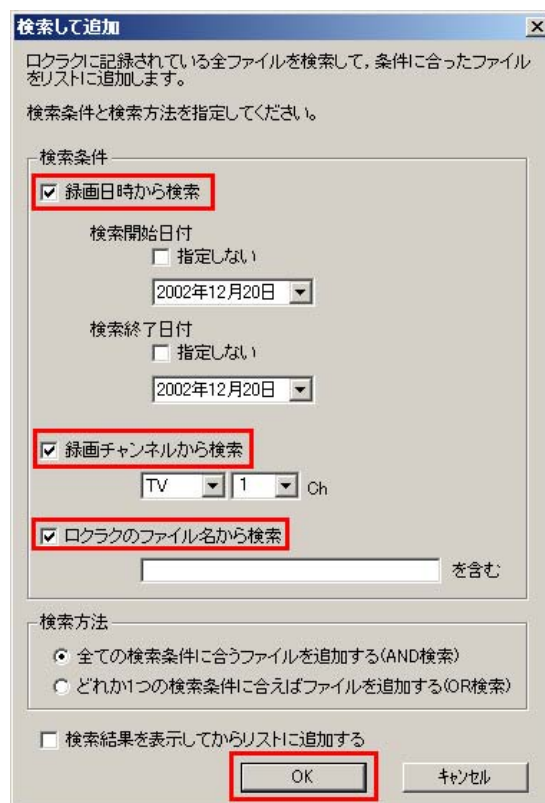


図 102 検索して追加ダイアログ

- 「録画日時から検索」は、録画された日付の範囲を指定することで、録画されたファイルを検索します。
- 「録画チャンネルから検索」は、録画されたチャンネルを指定することで、録画したファイルを検索します。
- 「ロクラクのファイル名から検索」は、検索文字列がタイトルに含まれているファイルを検索します。

検索方法は、全ての検索条件に合うファイルを検索する方法と、どれか 1 つの条件に合うファイルを検索する方法の 2 つから選択することができます。

「検索結果を表示してからリストに加える」チェックボックスを有効にしておくと、検索結果が表示されます。この時にリストに追加するかしないかの選択をすることもできます。

「OK」ボタンを押すと、検索を行い、結果をリストに追加します。

○ 結合リストからの削除方法

結合リストから削除したいファイルを選択します(複数の選択はできません)。青色に反転したことを確認して、[リストから削除]ボタンを押せばリストから削除されます。

また、メイン画面で選択されているファイルをもう一度クリックすると、選択が解除されます。この時にリストからも選択されたファイルが削除されます。キーボードでも、選択されているファイルにカーソルを合わせ、スペースキーを押すことで選択が解除できます。

○ 結合順番の変更方法

結合リスト内で結合の順番を変更する事ができます。

まず、順番を移動させたいファイルを結合リストから選択します。選択後、ダイアログの[↑]、[↓]ボタンを押すことで、選択したファイルを上下に移動させることができます。この動作を繰り返し行うことで、結合する順番を変更してください⁴⁶。



図 103 結合順番の変更

⁴⁶ [↑]、[↓]ボタンを押すと、結合リストの青色の反転が灰色に変化しますが、この状態でも[↑][↓]ボタンを押せば上下にファイルを移動させることができます。

3. 【結合】ボタンを押すと、結合を開始します。結合は、リストの先頭から順番に結合されていきます⁴⁷。

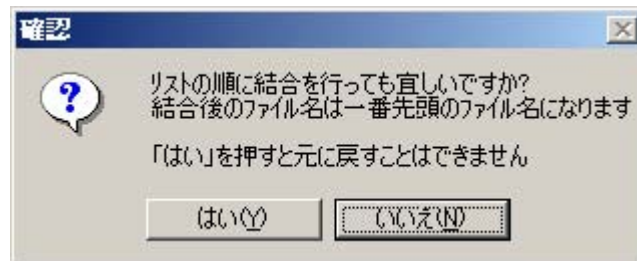


図 104 複数結合 確認

4. 結合が完了すると、メッセージが表示されます。【OK】を押すとメイン画面に戻ります。



図 105 複数結合 完了

⁴⁷ 結合後のファイル名は、結合したときに先頭になる(リストの最初の)ファイル名になります。

「ロクラク」の録画予約を確認、設定する

ロクラク・コントローラから、「ロクラク」本体に新しい録画予約を追加や、登録されている録画予約の確認や変更、削除を行うことができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしているときは、実行することができません。「ロクラク」の状態をよくお確かめの上、操作してください。

ロクラク・コントローラでロクラクと接続中に iEPG 予約をすることはできません。

1. 録画予約一覧ダイアログを表示する

録画予約に関する、全ての機能⁴⁸は、録画予約一覧ダイアログボックスから行います。

この録画予約一覧ダイアログを表示させるには、「ロクラク操作」の「録画予約」メニューを選択します(ツールバーメニューの「録画予約」や、コンテキストメニューでの「録画予約」メニューでも同様の操作ができます)。選択すると、録画予約一覧ダイアログが表示されます。

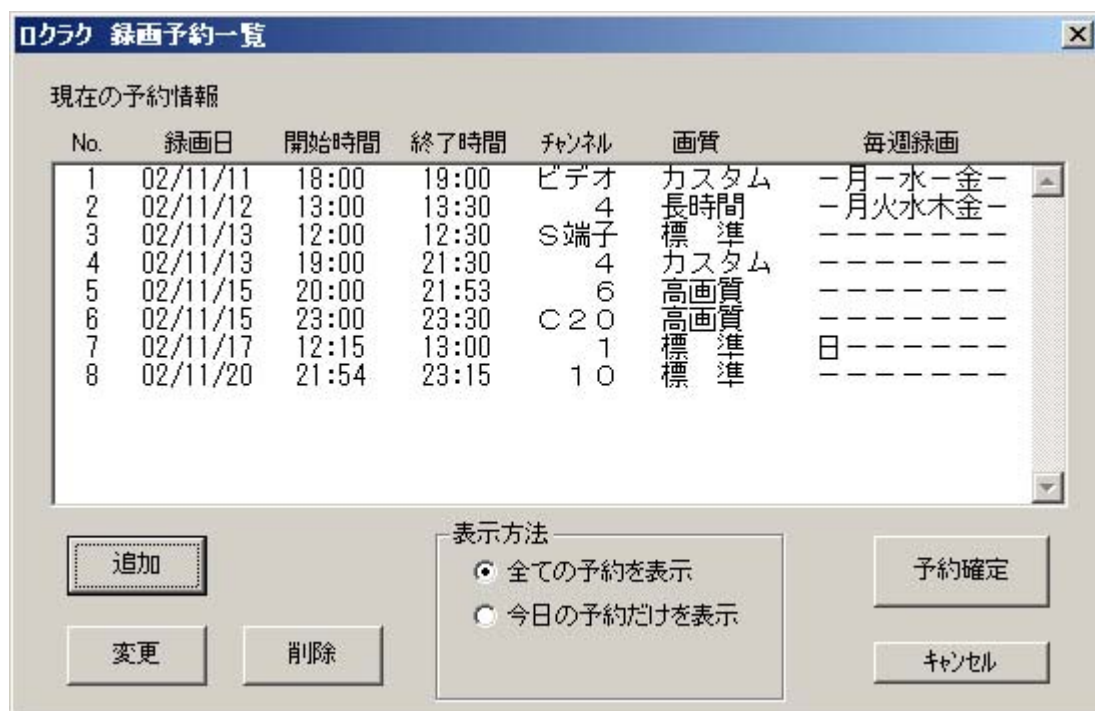


図 106 録画予約一覧ダイアログ

ダイアログが表示されると、「ロクラク」に現在登録されている録画予約の情報が一覧で表示されます⁴⁹。

⁴⁸ 「ロクラク メール予約」や「iEPG 録画予約」に関して、録画予約一覧ダイアログで予約の待ち受けや、設定することはできません。それぞれの取扱説明書をお読みください。ただし、「ロクラク メール予約」や「iEPG 録画予約」で予約された録画予約を、変更・削除することはできます。本取扱説明書の「録画予約を削除する(p.101)」「録画予約を変更する(p.102)」をお読みください。

⁴⁹ 録画予約を1件も登録していない場合、録画予約一覧は何も表示されませんが、エラーではありません。

No は、録画予約番号です。録画日・開始時間・終了時間は録画する日付と時間です⁵⁰。チャンネルは、録画するチャンネル番号です。地上波の場合はチャンネル番号のみ表示されます。CATV の場合はチャンネル番号の頭に「C」が表示されます(CATV の 20 チャンネルの場合「C20」)。外部入力の場合は「S 端子」「ビデオ」と表示されます。画質は長時間・標準・高画質・カスタムのうち、予約する時に選択した画質が表示されます。毎週録画は毎週録画が選択された場合に、何曜日に設定されているかを表示します。1 回録画の場合には「- - - - -」と表示されます。

この録画予約一覧ダイアログで追加・変更を行った予約情報は、【予約確定】ボタンを押した時に、設定・変更した予約情報が「ロクラク」に送信されます。【予約確定】ボタンを押すまでは、「ロクラク」に既に予約されている予約情報が有効ですので、ご注意ください。また、既に録画予約によって開始された録画を取り消すことはできません。**もし、録画予約一覧ダイアログを表示中に、録画予約が始まってしまった場合には、【キャンセル】ボタンを押して録画予約一覧ダイアログを終了させてください**⁵¹。

2. 録画予約を追加する

- a. 録画予約一覧ダイアログから、【追加】をクリックする。

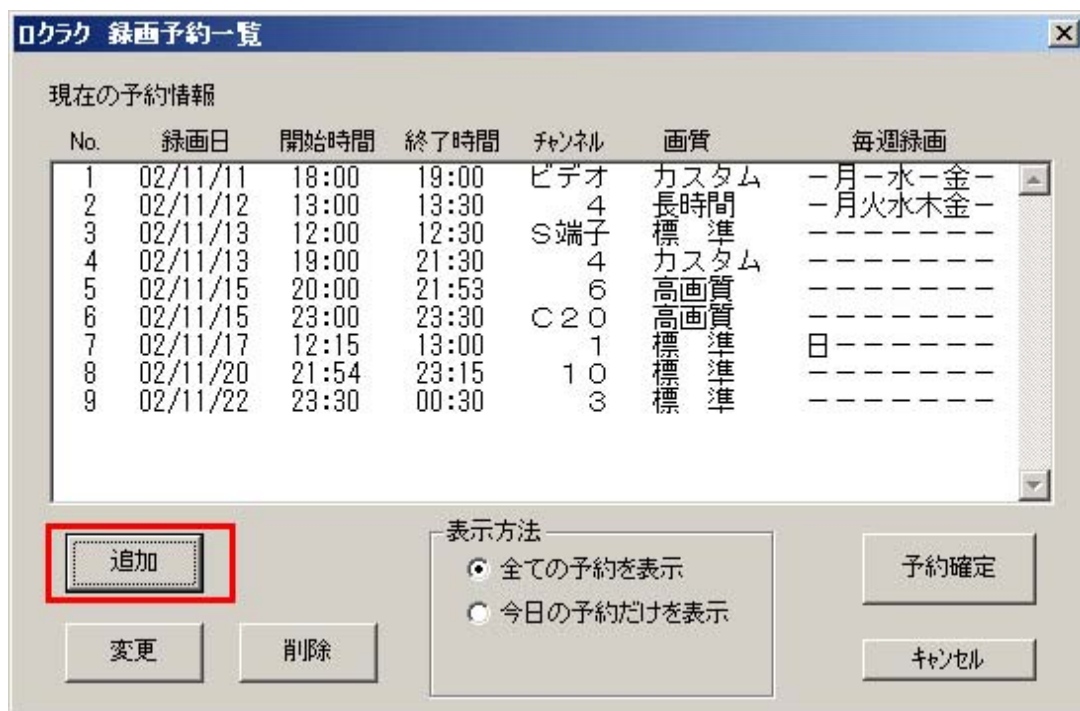


図 107 録画予約 追加

⁵⁰ 開始時間より終了時間の方が早い時間に表示されている場合、終了時間は、録画日の翌日になります。例えば、録画日が 11 月 22 日、開始時間が 23:30、終了時間が 00:30 の場合、録画されるのは 11 月 22 日 23 時 30 分から 11 月 23 日 0 時 30 分までです。

⁵¹ 録画予約を中断して、再生・録画の停止状態でメニューが表示されていない状態にすれば、【予約確定】を押しても問題なく動作します。それ以外では絶対に【予約確定】を押さないで下さい。

- b. 「追加」をクリックすると、録画予約ダイアログが表示されます。1 回録画の場合は予約する日付、毎週録画の場合には録画したい曜日を設定します。

録画予約ダイアログのスクリーンショット。予約する日付（2002年11月11日）と毎週録画の曜日（日～土）が設定されています。録画開始時間（14時42分）と終了時間（15時12分）も設定されています。録画画質（標準）と録画品質（VBR 5Mbps）も設定されています。

図 108 録画予約ダイアログ

➤ 1 回録画の場合

年・月・日をそれぞれコンボ・ボックスの中から選択して下さい。年・月・日それぞれの「▼」をクリックすると、選択可能なリストが表示されます⁵²。

録画予約ダイアログのスクリーンショット。年・月・日のコンボ・ボックスが選択可能なリスト（2002年、11月、11日）を表示しています。

図 109 予約日付設定

「カレンダー表示」をクリックすると、カレンダーが表示されます。この中から、予約する日付を選択することもできます。日付をクリックすると、カレンダーが消え、年・月・日のコンボ・ボックスにクリックした日付が表示されます。

⁵² 選択可能なのは、今日の日付から1年間です。「今日」とは、PCで設定されている日付です。「ロクラク」と異なる場合は、正常に予約ができない場合がありますのでご注意ください。「ロクラク」の時刻の設定方法につきましては、『ロクラク 取扱説明書』をお読みください。

図 110 予約日付設定 カレンダーによる設定

➤ 毎週録画の場合

録画したい曜日の左側にあるチェックボックス(□)をクリックしてください。「✓」マークが付きます。毎週録画は複数の曜日を選択することができます。録画したい曜日全部のチェックボックスをクリックして、「✓」マークを付けてください。「✓」マークが付いたチェックボックスは、もう一度クリックすることで「✓」マークを消すことができます。

毎週録画のチェックボックスに 1 つでも「✓」マークを付けていると、日付の部分が灰色になり、選択できないようになります。毎週録画をやめて、1 回録画にしたい場合には、毎週録画のチェックボックスの「✓」マークを全て消してください。

図 111 予約日付設定 毎週録画

c. 予約開始時間と終了時間を設定します。

予約したい開始時間と終了時間を入力します。スピンボタン(数字の横に表示されているボタンの)の▲を押すと値が増え、▼を押すと値が減ります。このボタンを利用して、開始時間と終了時間を設定してください。また、キーボードでも入力できます。この時は、「時」は 0～23、「分」は 0～59 の間で入力してください。

開始時間と終了時間は同一時刻にしないで下さい。また、開始時間より終了時間の方が早い場合、終了時間は翌日の時間とみなして予約を設定します。

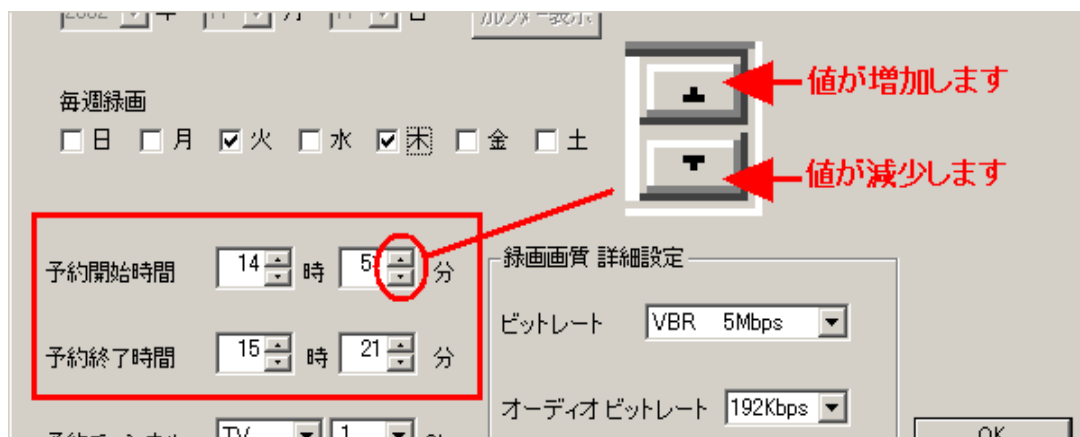


図 112 開始時間・終了時間設定

d. 録画するチャンネルを設定します。

録画したいチャンネルを設定します。左側のコンボ・ボックスでは、TV(地上波)、CATV、S 端子、ビデオといったチャンネルの種類を選択します。右側のコンボ・ボックスでは、TV や CATV の場合はチャンネル番号を選択します。S 端子やビデオが選択されている場合は、右側のコンボ・ボックスは灰色になり、選択できないようになります。

TV は 1 チャンネル～62 チャンネルまで、CATV は 13 チャンネル～63 チャンネルまで選択することが可能です⁵³。



図 113 チャンネル設定

⁵³ チャンネル番号は、「ロクラク」本体用のリモコンに設定されているリモコン番号とは異なります。リモコンの番号 1 の放送局を予約したい場合、リモコンの番号 1 に 62 チャンネルが設定されている時は、「TV」で「62」チャンネルを選択します。

e. 録画画質を設定します。

「長時間」「標準」「高画質」「カスタム」⁵⁴から、お好みの録画画質を設定します。

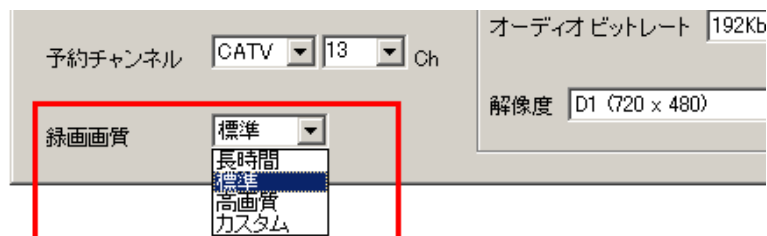


図 114 録画画質設定

f. 必要な場合、録画画質を詳細に設定することが可能です。

「長時間」「標準」「高画質」「カスタム」のそれぞれの画質に対して、録画ビットレート、オーディオ(音声)ビットレート、解像度を任意に選択することができます。

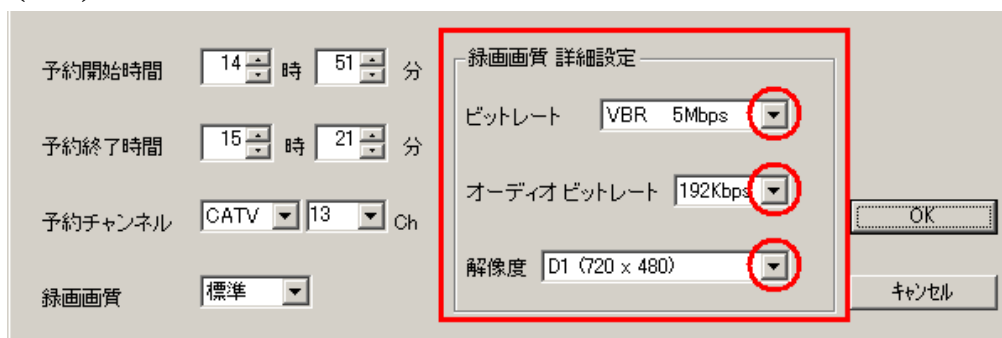


図 115 録画画質 詳細設定

ビットレートは、録画画質によって選択できるビットレートが異なります。選択できるビットレートは次のようになっています(512Kbps を除いて 1Mbps 単位で選択できます)。

長時間	VBR 512Kbps ~ 3Mbps、 CBR 512Kbps ~ 3Mbps
標準	VBR 4Mbps ~ 7Mbps、 CBR 4Mbps ~ 7Mbps
高画質	VBR 8Mbps ~ 9Mbps、 CBR 8Mbps ~ 12Mbps
カスタム	全てのビットレートを選択可能

オーディオビットレートと録画解像度はどの録画画質でも任意に設定できます⁵⁵。

オーディオビットレート	64, 96, 112, 128, 160, 192, 224, 256, 320, 384(Kbps)
録画解像度	D1、 ハーフ D1、 SIF、 QSIF

⁵⁴ 「ロケラク」本体で設定されている「長時間」「標準」「高画質」「カスタム」のビットレート、オーディオビットレート、解像度とは異なり、録画予約ダイアログの右下部分に表示されており「録画画質 詳細設定」の画質で録画予約を行います。この設定を変更する場合は、「f. 必要な場合、録画画質を詳細に設定することが可能です」をお読みください。

⁵⁵ 録画ビットレートに対して、オーディオビットレートと録画解像度には次のような制約があります。

- ・ 録画ビットレートが 512Kbps の場合 オーディオビットレートは 64Kbps 固定。画面解像度は SIF か QSIF のみ。
- ・ 録画ビットレートが 1Mbps の場合 オーディオビットレートは 64, 96Kbps のみ。画面解像度は D1 の選択不可。
- ・ 録画ビットレートが 2Mbps の場合 オーディオビットレートは 192Kbps 以下のみ選択可能

- g. [OK]を押すと、確認メッセージが表示されます。予約する場合は[OK]を押してください。

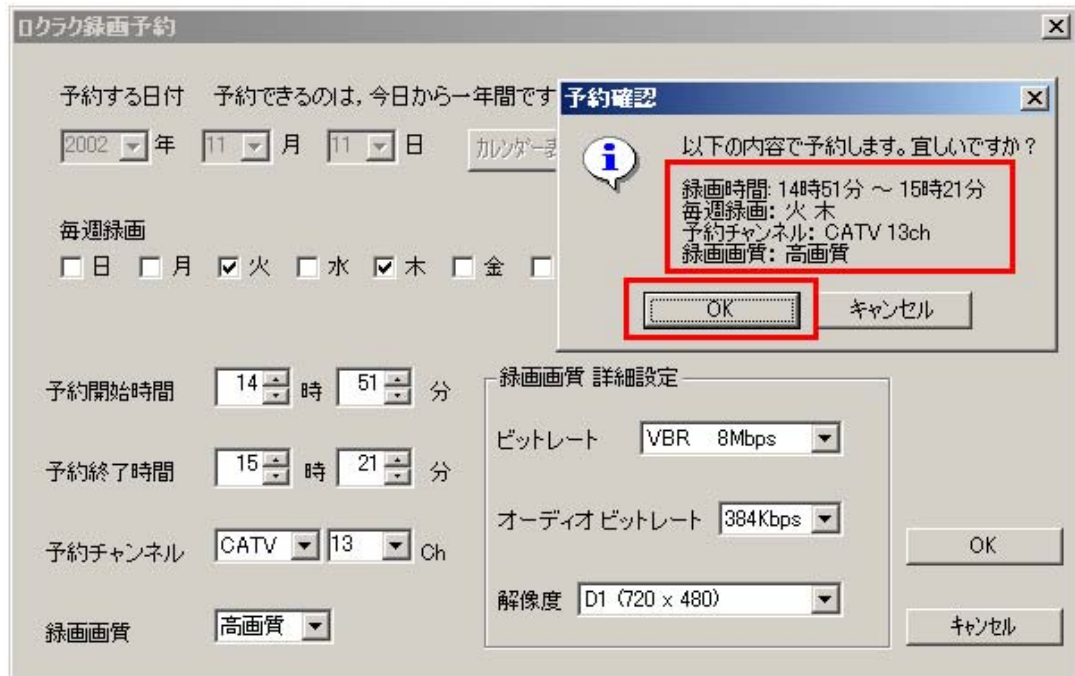


図 116 録画予約確認

この時、入力された値に対して、おかしい値がある場合は、エラーメッセージが表示されます(日付がおかしい、すでに予約開始時間が過ぎている⁵⁶、開始時刻と終了時刻の設定がおかしい、チャンネルの設定がおかしい等)。また、既に設定されている録画予約と比較して、重複する場合はメッセージが表示されます。

録画予約を行っても、録画予約一覧ダイアログで【予約確定】ボタンを押すまでは、「ロクラク」に録画予約が行われませんので、ご注意ください。

⁵⁶ 現在時刻と、入力された時刻とのチェックは、PCの時計を使用してチェックを行います。「ロクラク」とPCとの時刻が違っている場合、正常な録画予約が行えない場合があります。

3. 録画予約を削除する

設定された録画予約を削除します。

- a. 録画予約一覧ダイアログで、削除したい予約の部分をクリックします。該当する予約が反転されます⁵⁷。

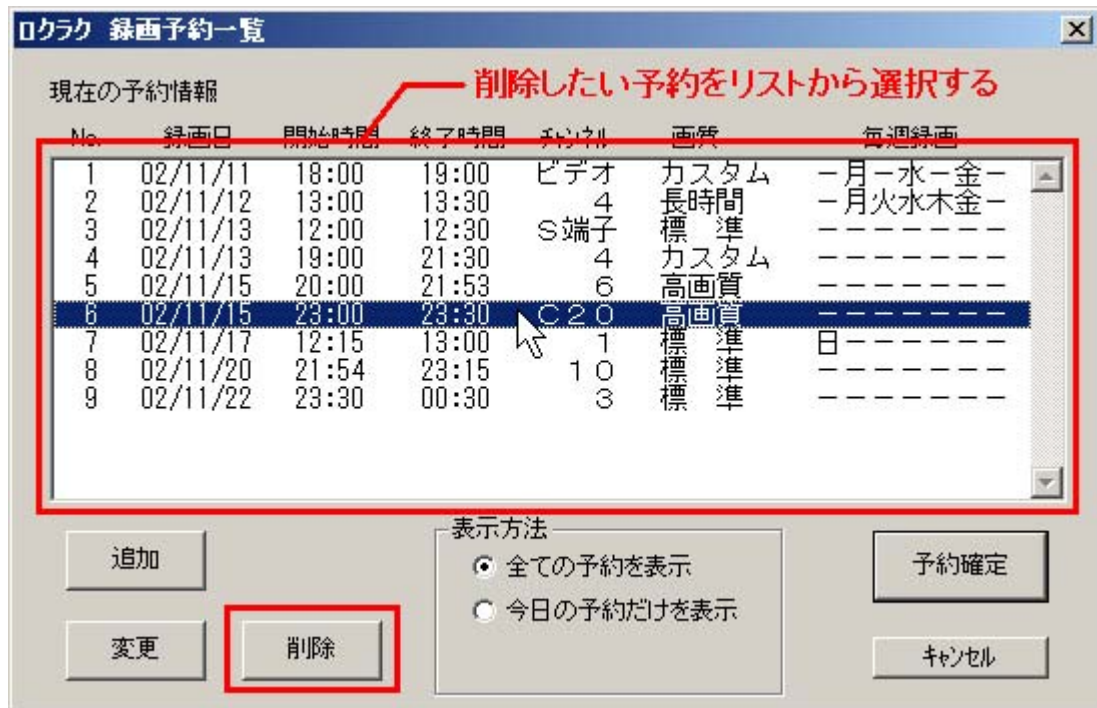


図 117 予約削除

- b. 【削除】ボタンを押すと録画予約が削除されます。

削除した予約は、【予約確定】ボタンを押すまでは、「ロクラク」に録画予約が行われませんので、ご注意ください。

間違えて、【削除】ボタンを押してしまった場合は、【キャンセル】ボタンを押して、「予約データが変更されていますが、保存しますか?」というメッセージに【いいえ】を選択して下さい。「ロクラク」に対して録画予約の変更を行いません⁵⁸。

⁵⁷ 間違ったリストを選んでしまった場合は、もう一度、削除したいリストの部分をクリックしてください。間違っただ部分が通常の状態に戻り、クリックした部分のリストが反転されます。

⁵⁸ 【キャンセル】ボタンを押して、「保存しますか?」というメッセージで【いいえ】を押した場合、録画一覧ダイアログを表示してから行った全ての操作がキャンセルされますのでご注意ください。

4. 録画予約を変更する

登録されている録画予約を変更します。

- a. 録画予約一覧ダイアログで、変更したい予約の部分をクリックします。該当する予約が反転されるので、[変更]ボタンを押します(リスト上でダブルクリックしても変更できます)。

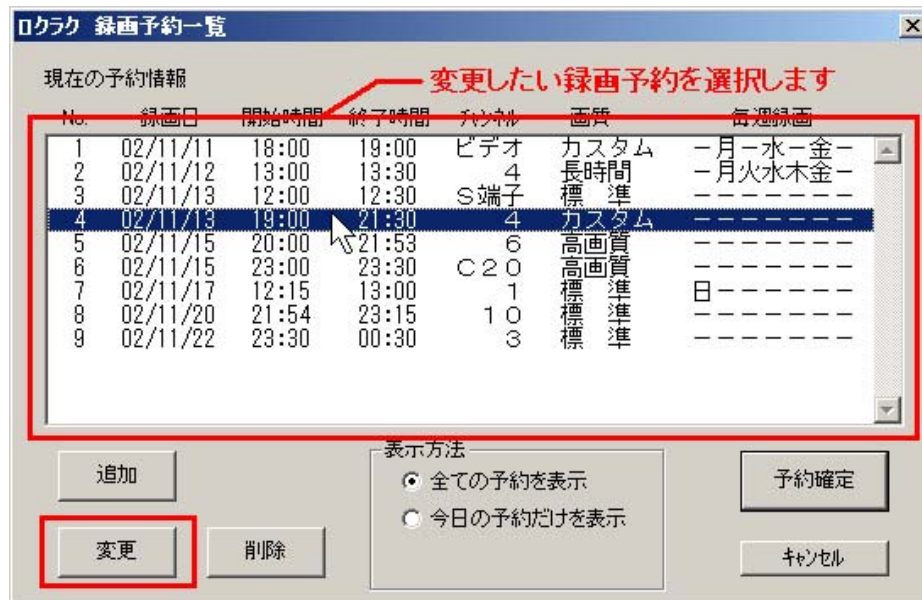


図 118 予約変更

- b. 録画予約ダイアログが表示されます。録画予約ダイアログには、変更前の状態のデータが表示されます。

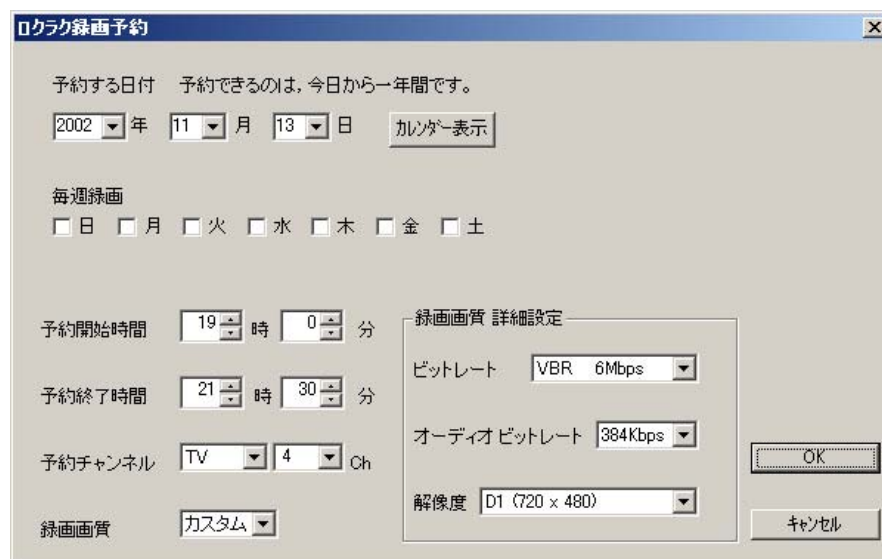


図 119 録画予約ダイアログ

- c. 変更を行います。設定の仕方は「録画予約を追加する(p.95)」と同じです

「ロクラク」の入力映像をパススルーする

パススルーの設定をすることにより、「ロクラク」の外部入力(S ビデオ/ ビデオ)端子からの映像を、「ロクラク」内部で MPEG2 エンコード/ デコードした上で、「ロクラク」のビデオ出力端子に接続したテレビ・モニタに表示します⁵⁹。

録画する前に、映像を確認したい場合などにご利用ください。

1. 「ロクラク操作」の「パススルー」メニューを選択します。パススルーダイアログが表示されます。
2. パススルーするビットレート⁶⁰をコンボ・ボックスより選択してください。「▼」をクリックするとリストが表示されます。CBR では 512Kbps、1Mbps ~ 12Mbps(1Mbps ごと)、VBR は 512Kbps、1Mbps ~ 9Mbps(1Mbps ごと)のお好きな値を設定できます。

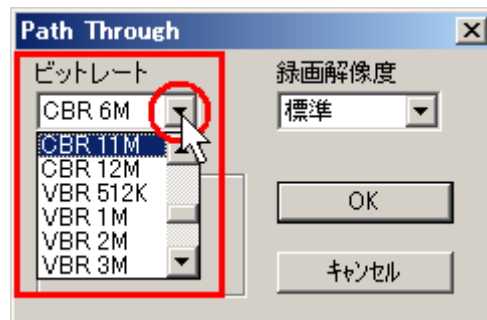


図 120 パススルー ビットレート選択

3. パススルーする解像度をコンボ・ボックスより選択してください。「▼」をクリックするとリストが表示されます。

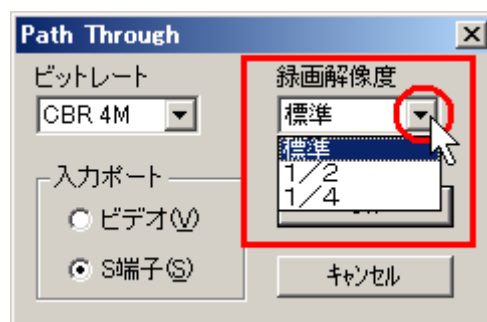


図 121 パススルー 録画解像度選択

⁵⁹ 「パススルー」:「ロクラク」のビデオ入力端子からの映像を、ビデオ出力端子に接続したテレビ・モニタで確認することができます。

⁶⁰ VBR の場合、常にビットレートは変化しますが、ここで指定した値を平均値としてパススルーします。ただし、可変するビットレートの最大値は 12Mbps です。

4. パススルーする入力ポート(S 端子かビデオ)を選択してください⁶¹。

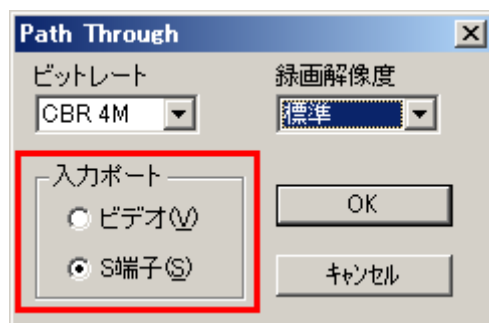


図 122 パススルー 入力ポート選択

5. 【OK】ボタンを押すと、パススルーを開始します。

⁶¹ 外部入力に対する映像信号の自動検出はしません。入力を間違えないようにご注意ください。

付録

Q & A

うまく動作しない場合は、以下の Q&A をよくご覧ください。それでもうまく動作しない場合は、サービス窓口(p.4)へご相談ください。

● 接続

Q1 「接続」メニューを選択しても、「ロクラクとの接続に失敗しました」のメッセージを表示して接続できない。

A1 以下のことをお確かめ下さい。

- a. 「ロクラク」と PC とは USB ケーブルで繋がっていますか？ 外れそうになっていませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

- b. 「ロクラク」の電源は ON になっていますか？

「ロクラク」の電源を ON にしてください。

- c. 「ロクラク」の電源コードがコンセントから抜けていませんか？

「ロクラク」の電源コードをコンセントにしっかりとさしてください。

- d. 「ロクラク」で録画、再生、裏録、メニュー表示をしていませんか？

「ロクラク」で録画・再生・裏録・メニュー表示をしている場合は、接続をすることができません。それらを停止してから、「接続」メニューをお選びください。

● 送受信

Q2 ファイルを「ロクラク」に送信できない。

A2 以下のことをお確かめ下さい。

- a. 送信で指定したファイル形式は正しいですか？

PC から「ロクラク」に送信できるファイルの形式は、「ロクラク」記録映像ファイル(拡張子が m2t)のみです、その他のファイル(拡張子が mpg 形式のファイル)を指定しても送信できません。

- b. 送信で指定したファイルサイズは、「ロクラク」本体のハードディスク空き容量と比べて小さいですか？

「ロクラク」に記録されている不必要なファイルを削除して、送信したいファイルサイズ分の空き容量を確保してください。

- c. 「ロクラク」で記録されているファイル件数が 200 件になっていませんか？

「ロクラク」で保存できるファイルの個数は 200 件までです。不必要なファイルを削除してください。

● PC で再生

Q3 「PC で再生」メニューを実行した時、ファイル変換は行われるが再生しない。

A3 以下のことをお確かめ下さい。

- a. PC に MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアはインストールされていますか？

「PC で再生」を行う場合には、PC に MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアをインストールしておく必要があります。

- b. 【ディレクトリ】の設定は間違いありませんか？

「PC で再生」を行う場合には、「ディレクトリ設定」メニューで、MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアを正しく設定しておかなければ再生できません。

Q4 毎回ファイル変換せずに PC 上で再生したい

A4 一回「PC で再生」メニューにて形式変換を行ったファイルは、「ディレクトリ設定」の「ファイルを操作する時に表示させるフォルダ」で設定したフォルダに格納されています(mpg 形式)。MPEG2 ビデオ再生ソフトウェアから、直接このファイルを指定すれば PC 上で再生することができます。

● ロクラク リモートコントローラ

Q5 ロクラク リモートコントローラを表示させると、「接続されていません」と表示されて操作できない。

A5 いったん、ロクラク リモートコントローラの【閉じる】ボタンを押してください。ファイルが存在することを確認して、再度ロクラク リモートコントローラを表示させてください。

Q6 【録画】ボタンを押しても録画できない。

A6 以下のことをお確かめ下さい。

- a. 「ロクラク」で記録されているファイル件数が 200 件になっていませんか？

「ロクラク」で保存できるファイルの個数は 200 件までです。【録画】ボタンを押しても何も行いません。「ロクラク」のビデオ出力端子に接続されているテレビには「200 件を超えて録画することはできません」のメッセージを表示します。

- b. 「ロクラク」のハードディスクがいっぱいではありませんか？

「ロクラク」のハードディスクがいっぱいの場合には、【録画】ボタンを押しても何も行いません。「ロクラク」のビデオ出力端子に接続されているテレビには、「HDD 容量不足のため録画できません」のメッセージを表示します。 unnecessary ファイルを消去するなどして、HDD 空き容量を確保してください。

- c. 「ロクラク」のビデオ出力端子に接続されているテレビに「この映像を記録することはできません」のメッセージを表示していませんか？

「ロクラク」には、著作権保護のコピーガード機能がついています。このメッセージが表示されている時は、著作権保護の信号が含まれた映像を録画しようとしていますので、録画することはできません。

Q7 録画を開始したが、途中で止まった。

A7 以下のことをお確かめ下さい。

- a. 「ロクラク」のハードディスクがいっぱいではありませんか？

「ロクラク」のハードディスクがいっぱいの場合には、【録画】ボタンを押しても何も行いません。「ロクラク」のビデオ出力端子に接続されているテレビには、「HDD 容量不足のため録画できません」のメッセージを表示します。 unnecessary ファイルを消去するなどして、HDD 空き容量を確保してください。

- b. 録画開始時に「録画時間」を指定していませんか？

「録画時間」を指定して録画を開始した場合には、その時間がくれば自動で録画は停止します。

Q8 録画はしているようだが、映像が出ない。

A8 録画時の入力ポートは正しく指定されていますか？

「ロクラク」の入力端子にどのビデオ信号(S ビデオ/ ビデオ)を入力しているかを確認してください。

● 画像・音声

Q9 「ロクラク」のビデオ出力端子に接続されているテレビに映像・音声がでない。

A9 「ロクラク」のビデオ入力端子/ 出力端子は正しく接続されていますか？ また、ケーブルの結線に問題は無いですか？

ビデオ入力端子/ 出力端子に間違いなくケーブルが接続されているか、またケーブルの結線は問題ないかを調べてください。

また、音声がでない場合は、テレビの音声出力をミュート(消音・音量ゼロ)にいませんか？

テレビの音声出力ミュートを解除してください。

● ファイル操作

Q10 指定範囲削除や移動ができずにエラーが発生する。

A10 何らかの原因で以前に指定範囲削除や移動ができなかった場合、不必要な記録映像ファイル(指定範囲削除や移動をするための作業用のファイル)が「ロクラク」中に残ってしまう場合があります。このファイルが「ロクラク」に残っていると指定範囲削除や移動ができない場合があります。指定範囲削除や移動ができず、エラーが発生した場合、[再取得]メニューで「ロクラク」の記録映像ファイル情報を更新してから、不必要なファイルを削除してください。

「指定範囲削除」や「移動」は、処理中に以下の作業用ファイルを作成します。このファイルが「ロクラク」に存在すると、処理が正常に行えないことがあります。

```
!!!!CHOICEDEL_DEFAULT_TITLE!!!!  
!!!FILE_MOVE_DEFAULT_TITLE_B!!!  
!!!FILE_MOVE_DEFAULT_TITLE_C!!!  
!!!FILE_MOVE_DEFAULT_TITLE_D!!!
```

● 録画予約

Q11 予約をしたのに、予約時間がきても「ロクラク」で録画がされていない。

A11 以下のことをお確かめ下さい。

- a. ハードディスクの空き容量はありますか？

不必要なファイルを消去するなどして、HDD 空き容量を確保してから、録画予約をしてください。

- b. すでにファイル数が最大数に達していませんか？

不必要なファイルを消去するなどして、ファイル件数を減らしてください。

- c. 「ロクラク」の日付・時刻が正しく設定されていますか？

録画予約で設定した日付は、「ロクラク」の時刻で録画を行います(PC の時刻とは関係ありません)。「ロクラク」の時刻設定方法は「ロクラク」の取扱説明書をご覧ください。

- d. 予約が重なっていませんか？

予約が重なっている場合、優先される予約を録画します。この優先順位に関しては、「ロクラク」の取扱説明書をご覧ください。

- e. 【予約確定】ボタンを押しましたか？

予約一覧ダイアログで【予約確定】ボタンを押すまでは、PC 側で設定した録画予約は「ロクラク」に送信されません。

用語解説

CBR

コンスタント・ビットレートのことです。
映像に依らず常に一定のデータ量で圧縮を行う方式です。

S ビデオ端子

ビデオ入力端子の1つ。映像信号の劣化を防ぐため輝度信号(Y)と色信号(C)に分けた信号方式の入出力用のコネクタ。ビデオ端子(コンポジット・ビデオ信号)に比べて、鮮明な画質を得ることができます。

VBR

バリエابل・ビットレートのことです。
情報量の少ない映像の場合には圧縮率を高め、情報量の多い映像の場合には圧縮率を低くして効率的に圧縮を行う方式です。

記録映像

「ロクラク」上の録画済み映像の呼称です。

MPEG2 エンコード

「ロクラク」のビデオ入力端子からの映像をデジタル信号に変換し、MPEG2 方式に基づきデジタル圧縮をする機能を指します。

解像度

縦横の画素数で表現する映像のきめ細かさや滑らかさを表す尺度をいいます。

サムネイル

複数の記録映像ファイルを静止画の小画面にて一覧表示する機能です。

MPEG2 デコード

MPEG2 方式に基づきデジタル圧縮されたデジタルデータを復号化する機能を指します。

ビデオ端子

RGB (Red、Green、Blue) の色信号や輝度信号を分離せずに送るコンポジット・ビデオ信号の入出力に用いるコネクタのことをいいます。

ビットレート

「ロクラク」は MPEG-2 形式の画像データ圧縮を行っています。その際に圧縮する1秒間あたりのデータ量をビットレートといいます。数値が高いほど画質が良く、低いほど画質が粗くなります。

トリック再生

「ロクラク」のファイルを再生中、早送り・巻戻し・スロー・スチル・フリーズの再生モードが実行でき、これらの操作のことをまとめてトリック再生といいます。

入力ポート

「ロクラク」の外部入力端子のことです。
(S ビデオ端子、ビデオ端子があります)

パススルー

「ロクラク」の外部入力端子からの映像・音声エンコード/デコードして、「ロクラク」の出力端子に接続するテレビに表示している状態をいいます。(録画を行っていない状態)

ファイル

「ロクラク」上の録画済み記録映像のハードディスク管理単位を指します。



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>